SONY

パーソナルコンピューター

VPCL12 シリーズ
取扱説明書



VAIO

SONY
VPCL12 シリーズ
VAIO

マニュアルの活用法

本機には、取扱説明書（本書）をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

紙のマニュアル

クイックセットアップガイド

VAIOの接続や準備について、イラストを見ながら知ることができます。

取扱説明書（本書）

VAIOを使えるようにするための準備や、Windowsが起動していないときの操作、トラブルの解決法、サポート情報などを記載しています。

画面で見るマニュアル

VAIO 電子マニュアル



知りたいこと・わからないことを調べる

取扱説明書（本書）に記載している情報のほか、さらに詳しい情報もたくさん記載しています。検索機能を使って、すばやく便利に目的の操作やトラブルの解決法を見つけることができます。

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO電子マニュアル］をクリックする。

VAIO ナビ



目的にあったソフトウェアを探す

目的の項目を一覧から選んでいくことで最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO ナビ］をクリックする。

重要なお知らせ



VAIOを使ううえでご覧いただきたい情報です。

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［重要なお知らせ］をクリックする。

ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

見るには

各ソフトウェアの［ヘルプ］メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

パーソナルコンピューター

VPCL12 シリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。











はじめにお読みください

本機の主な仕様については、別紙「主な仕様」をご確認ください。

このマニュアルでは、Windows 7 64ビット版での操作を説明しています。32ビット版がインストールされている場合、実際にお使いの操作とマニュアルの記載とが異なる場合があります。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。お客様の選択された商品や仕様によって、本体のデザインが異なる場合があります。

画面のデザインについて

Windows 7の画面テーマには、「Aero」や「ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。
このマニュアルで説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。
「Windows Media Center」ソフトウェアは、Windows 7 Home Premium搭載モデル、Windows 7 Professional搭載モデル、およびWindows 7 Ultimate搭載モデルにインストールされています。

このマニュアルで表記されている名称について

- **搭載モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「地上デジタルチューナー搭載モデル」と書かれているときは、地上デジタルチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **付属モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。

目次

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリック！

本機をセットアップする

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリック！

ソフトウェアを使ってみよう

HDMI／VIDEO入力機能（HDMI／VIDEO入力機能搭載モデル）

インターネット／メール

セキュリティー

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリック！

増設／バックアップ／リカバリー

困ったときは／サービス・サポート

各部名称／注意事項

安全規制について

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

アース線の接地接続について

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線モジュール及び付属のマウス、キーボードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵の無線モジュール及び付属のマウス、キーボードを分解／改造すること
- 本機内蔵の無線モジュール及び付属のマウス、キーボードに貼られている証明ラベルをはがすこと

レーザー安全基準について

本製品には、レーザーに関する安全基準（JIS C 6802:2005）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

注意

- 本製品の修理・点検が必要な場合は、必ずVAIOカスタマーリンクに依頼してください。
- ここに規定した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

搭載されている光ディスクドライブについて

注意：ここを開くとクラス3Bの可視及び不可視レーザー放射がでます。
ビームの目または皮膚への被爆は危険です。
見たり触れたりしないでください。

最大出力：390μW (λ650nm), 563μW (λ780nm), 39μW (λ405nm)
ビームの発散：0.6 (λ650nm), 0.45 (λ780nm), 0.85 (λ405nm)
パルス幅：連続波

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）について

本機内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。使用周波数は、13.56 MHz帯です。本機内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）を分解、改造したり、型式指定表示を消すと、法律により罰せられることがあります。
周囲で複数のリーダー /ライターをご使用の場合、1m以上間隔をあけてお使いください。
また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

AC電源の遮断について

不具合を感じた場合はすぐにコンセントからプラグを抜けるように、本機はコンセントの近くでお使いください。

バッテリーについて

間違ったタイプに交換すると爆発の危険があります。
使用済の電池は、取扱説明書に従って処分してください。

無線の周波数について

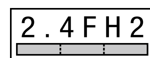
本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。



この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。



著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

使用済みコンピューターの回収について



リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピューターの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：(0570) 000-369(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。)
携帯電話やPHSでのご利用は：
(03) 3447-9100
受付時間：10:00 ～ 17:00(土・日・祝日および当社指定の休日を除く)

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたVAIOを廃棄する場合は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([サービスとサポート] − [お問い合わせ／アフターサービス] − [使用済みコンピューターの回収について] をクリックする。)

事業者のお客様へ

事業で(あるいは、事業者が)ご使用になりましたVAIOを廃棄する場合は、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ画面等に記載されている機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがあります。あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



1. 電源を切る
2. 電源コードや接続ケーブルを抜く
3. VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償については致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


注意


火災


感電

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


水ぬれ禁止


ぬれ手禁止


接触禁止

行為を指示する記号


指示


アース線を接続せよ


プラグをコンセントから抜く

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

壁に取り付ける場合は、必ず指定の取り付け金具を使用し、専門の業者に取り付けてもらう。また、設置の時は設置関係者以外近づかない。

禁止　指示

専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折などの大けがの原因となることがあります。
「本機を壁に取り付けるには」（30ページ）にしたがって、必ず専門業者に取り付けを依頼してください。

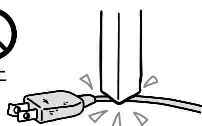
火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない



禁止



電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない



禁止

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない



水ぬれ禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

内部をむやみに開けない



分解禁止

- 本機および付属の機器（ケーブルを含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- メモリーモジュールを取り付けたり、取りはずすときは「メモリーを取り付ける／はずす」（97ページ）に従って注意深く作業してください。
  また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない


禁止

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、LANケーブル、アンテナ接続ケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

本機は日本国内専用です


指示

- 交流100Vでお使いください。
  海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。本機は国内専用です。海外で使用することを動作保証するものではありません。
- 本機のワイヤレス機能は国内専用です。
  海外で使うと罰せられることがあります。

LAN端子に指定以外のネットワーク(LAN)や電話回線を接続しない


禁止

本機のLAN端子に次のネットワーク(LAN)や回線を接続すると、端子に必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク(LAN)
- 一般電話回線
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

通電中のディスプレイ画面や通風孔に長時間触れない


禁止

通電中のディスプレイ画面や通風孔に長時間皮膚が触れていると低温やけどの原因となることがあります。通電中のディスプレイ画面や通風孔には長時間触れないでください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

特定の状況下では、ワイヤレス機能を使用しない


禁止

本機はワイヤレス機能を内蔵しています。
以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合にはただちに本機の電源を切ってください。

- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内で使用しない。
  電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 病院など医療機関内、医療用電気機器の近くで使用しない。
  電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。
  電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間継続して見ない



ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードやマウスなどを使いすぎない



キーボードやマウスなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない





ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

オプティカルマウス底面の赤い光を直接見ない



マウス底面から発せられている赤い光を直接見ると、目を傷める場合がありますので、さけてください。

接続するときは電源を切る



注意

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う



注意

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

アース線を接続する



アース線を
接続せよ

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合は、販売店にご相談ください。

通風孔をふさがない



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

通風孔からの排気に長時間あたらない



禁止

本機をご使用中、その動作状況により通風孔から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機タッチパネル表面に長時間ふれない



禁止

本機タッチパネル表面は機器の構造上、部分的に温度が上がることがありますので、長時間のご使用時はご注意ください。

不安定な場所に置かない

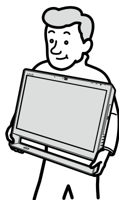


禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに置いたり設置したりしないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も充分にお確かめください。

運搬時は慎重に


注意



コンピューターを運搬するときは、側面を左右から持ち、安定した姿勢で運んでください。運搬中にバランスを崩すと落下により、けがの原因となることがあります。
また、本体を設置する際、指などを挟まないようにご注意ください。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く


プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く


注意

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

端子はきちんと接続する


注意

- 端子（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- 端子はまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- 端子に固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
- アース線のある端子には必ずアースを接続してください。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く


プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない


禁止

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

製品の設置や移動時に机の上でずらさない


注意

コンピューターを設置したり、移動させるときに机の上でずらさないでください。机が傷つく原因となります。

液晶画面に衝撃を与えない


禁止

重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない


禁止

重いものを載せる、落とす、本機の上に乗るなど、無理な力が加わると、けがや故障の原因となることがあります。

幼児の手の届かないところに置く


指示

“メモリースティック”などを誤って飲み込んだり、ケーブルを首に巻きつけたりすると、事故やけが、故障の原因となります。

電池についての安全上のご注意

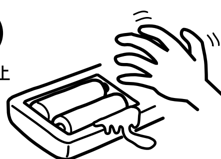
漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない


接触禁止



電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする


指示



- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く





電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない





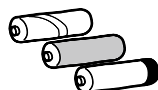
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



次の注意事項を守らないと故障の原因となることがあります。

市販のアルカリまたはマンガン電池（単三形）以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

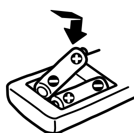




使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる

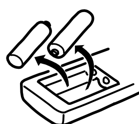




＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示にあわせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す





電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

VAIOでできる

VAIOは、インターネットや
メール、ワープロや表計算など
基本的な機能に加え、
まるでAV機器のように、
手軽に映像や音楽を楽しめる、
充実のパソコンです。

高品質な大画面で楽しむ

テレビ

(地上デジタル+BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル)

地上デジタル+BS ／ 110度CSデジタルチューナーと「Giga Pocket Digital」で、テレビ番組を自在に録る・観る・残すことができます。

デジタル放送を見る・録画する

「Giga Pocket Digital」を使用します(64ページ)。



こと 3大機能

VAIOのオリジナルソフトで楽しむ

写真／音楽／ビデオ

画面に触れて楽しむ

タッチパネル

（タッチパネル搭載モデル）

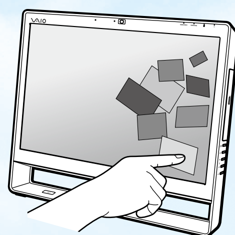
「Media Gallery」で写真／音楽／ビデオを楽しむ

詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。



直感的に操作する

「Media Gallery」などのソフトウェアを、画面に直接触れて操作できます。
詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

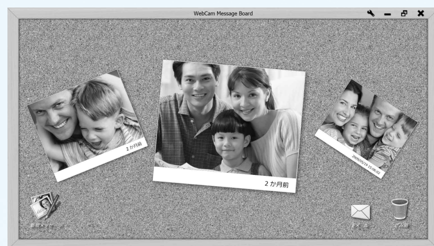


ショートムービーを作成する

「PMB VAIO Edition」を使用します（74ページ）。

手書きメッセージを作る／送る

「WebCam Message Board」を使用します。
詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。



VAIOを使うための7つ

VAIOを使い始める前に、まず7つの準備をしましょう。
このページから続く説明に従って、作業を進めてください。

まずハードウェアの設定です。

準備1 付属品を確かめる

▶ 付属品の確認

26ページ

準備2 設置する

▶ 適切な設置場所とは？

28ページ

準備3 接続する

▶ LANケーブル、
電源コードなどの接続

31ページ

準備4 電源を入れる

▶ 電源の入れかた

46ページ



の準備

ここからはソフトウェアの設定です。

準備5
Windowsを準備する
▶ ユーザー名やパスワードなどの設定
47ページ

ここからの設定にはインターネットへの接続が必要です。

準備6
カスタマー登録する
▶ カスタマー登録について
54ページ

準備7
テレビの設定を行う
▶ デジタル放送の設定
57ページ

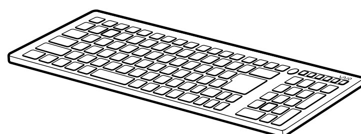
付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、商品が入っていた箱を捨てる前にVAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。
お使いの機種により、付属品が異なる場合があります。本機の主な仕様については、別紙「主な仕様」をご覧ください。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ
お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

❑ ワイヤレスキーボード

以下「キーボード」と略します。



❑ ワイヤレスマウス

以下「マウス」と略します。



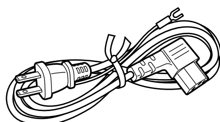
❑ リモコン

（リモコン付属モデルに付属）

❑ 単3形乾電池

- キーボード・マウス用アルカリ乾電池（4）
- リモコン用マンガン乾電池（2）（リモコン付属モデルに付属）

❑ 電源コード



！ご注意
付属の電源コードは、AC100V用です。

❑ すべり止めシート

（FeliCaプラットフォームマーク）に合わせて貼るとカードが滑りにくく、簡単に置けるようになります。

ヒント
貼り付けかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた] – [FeliCa] – [FeliCaカードを使う]をクリックする。）

❑ クリーニングクロス

（タッチパネル搭載モデルに付属）

説明書・その他

❑ 取扱説明書（本書）

❑ クイックセットアップガイド

❑ 主な仕様

❑ B-CASカード

（地上デジタル＋BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデルに付属）
台紙に貼付されています。
テレビを視聴するためには、B-CASカードを本機に挿入する必要があります（33ページ）。

❑ **保証書**

修理の際に必要になります。

❑ **VAIOカルテ**

修理の際に必要になります。

❑ **「Microsoft® Office Personal 2007*」プレインストールパッケージ**

（「Office Personal 2007」または「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属）

❑ **「Microsoft® Office PowerPoint® 2007*」プレインストールパッケージ**

（「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属）

❑ **「Microsoft® Office Professional 2007*」プレインストールパッケージ**

（「Office Professional 2007」プリインストールモデルに付属）

* この説明書では以降、Office Personal 2007、Office PowerPoint 2007、Office Professional 2007と略します。

❑ **その他・パンフレット類**

大切な情報が記載されている場合があります。必ず、ご覧ください。

ヒント

本機はハードディスクからリカバリーすることができるため、リカバリーディスクは付属しておりません。

詳しくは、「リカバリーする」（104ページ）をご覧ください。

Microsoft Officeのお問い合わせ先

❑ Microsoft Office Professional 2007

❑ Microsoft Office Personal 2007 with Microsoft Office PowerPoint 2007

❑ Microsoft Office Personal 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート

電話番号：東京（03）5354-4500／大阪（06）6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ：

4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。

本件について詳しくは、付属の「Office プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。

受付時間：月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜：10時～17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）

セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：

期間、回数の指定はありません。

こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。

受付時間：月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜、日曜：10時～17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

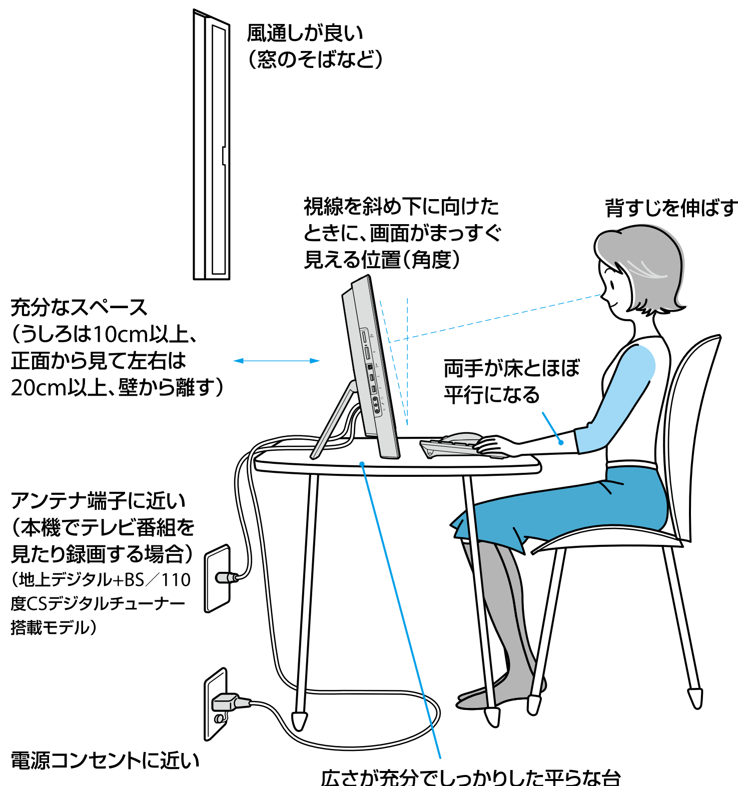
！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は付属の「Office プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

設置する

設置場所

下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。



！ご注意

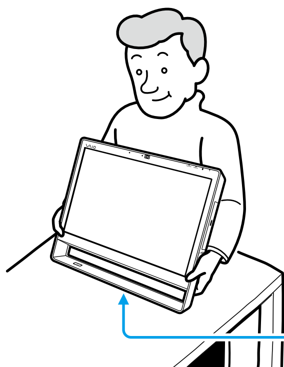
- 本機使用中は本体上部の排気口が熱くなる場合があります。これらの部分に触れるときは充分ご注意ください。
- 排気口に物を置いたり、ふさいだりしないでください。

設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

- 直射日光が当たる場所
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く
- 暖房器具の近くなど、温度が高い場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 風通しが悪い場所

設置時のご注意



本機を置くときは、
衝撃が加わらないように静かに置く。

- スタンド部を持たないでください。破損のおそれがあります。
- 本体下フレーム部分を持たないでください。
- 本機を持ち上げるとき、液晶ディスプレイのパネル部分へ衝撃を加えないようにご注意ください。
- 持ち運ぶときは、衣類やベルト等で液晶ディスプレイ等にキズがつかないようにご注意ください。
- 持ちかたによっては、転倒するおそれがありますので、本機を持つときには、本機側面の下を持って設置してください。

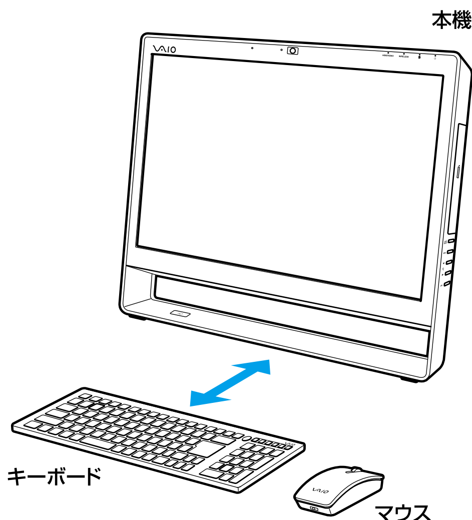
故障を避けるためにも、次のことをお守りください。

- 本機を移動するときは、必ず電源を切る。
  電源が入っている状態で移動したり、動かしたりするとハードディスクの故障の原因となります。
  移動するときは、接続ケーブルをすべて取りはずしてください。
- 本機を倒したり、ぶつけたりしない。
  小さな衝撃や振動でもハードディスクの故障の原因となります。
- 不安定な場所に設置しない。

設置の際の安全上の注意事項もご覧ください（13ページ）。

ご使用になる環境について

本機とキーボードやマウスの距離は、最長10m離して使うことができます。



！ご注意

- キーボードやマウスの上に水などをこぼさないでください。キーボードやマウスが使用できなくなる場合があります。
- 金属製の机など、キーボードやマウスの近くに金属があると、近距離（10cm以内）での通信に影響を及ぼし、キーボードのキー入力やマウスの操作が不安定になる場合があります。キーボードを金属から離し、本体との距離を離す（15cm以上）ことをおすすめいたします。

本機を壁に取り付けるには

本機は壁に取り付けて使用することもできます。壁に取り付ける場合には、壁掛け金具を使用し、専門業者に取り付けを依頼する必要があります。

本機を壁に取り付ける時のご注意

本機を壁に取り付ける場合には、必ず下記の業者へ依頼してください。
専門業者以外の人による取り付けは落下などのおそれがあり、大変危険です。

デジホームサポートデスク
電話番号：（0570）073-111（一般及び携帯電話）
（0466）38-4569（PHS・IP電話）
受付時間：10：00 ～ 18：00（年中無休　※但し、弊社指定のメンテナンス日を除く）
ホームページ：http://www.sony.co.jp/css/

接続する

本機の接続の流れ

本機の接続の流れは下記のとおりです。このあとの詳しい接続手順に従って、本機の接続を行ってください。

インターネットを利用する場合

インターネット接続用機器につなぐ 32ページ

テレビを見る場合

B-CASカードを入れる *1 33ページ

テレビを見る場合

アンテナに接続する *1 35ページ

HDMI ／ VIDEO機器を利用する場合

HDMI ／ VIDEO機器を接続する *2 39ページ

コンセントに接続する 41ページ

キーボードを準備する 41ページ

マウスを準備する 43ページ

リモコンを準備する *3 44ページ

*1　地上デジタル+BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル
*2　HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル
*3　リモコン付属モデル

1 インターネット接続用機器につなぐ

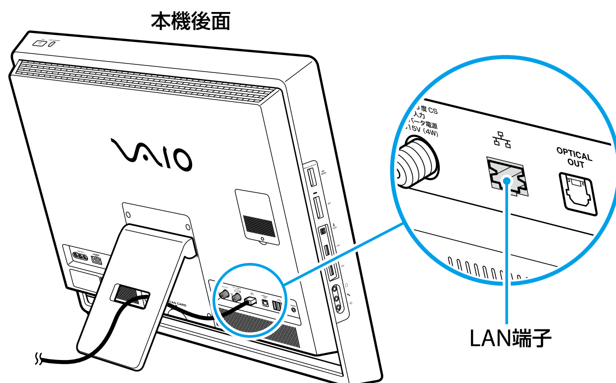
インターネットに接続するには、ADSL、FTTH（光）、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスを利用する方法や、ISDN回線を利用する方法があります。
インターネットについて詳しくは「インターネットを始める」（87ページ）をご覧ください。

！ご注意
インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ヒント
無線LANでインターネットに接続する場合は、「準備5 Windowsを準備する」のあとに無線LANの設定を行ってください。詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［コンピューター本体の使いかた］－［LAN ／無線LAN］をクリックする。）

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは

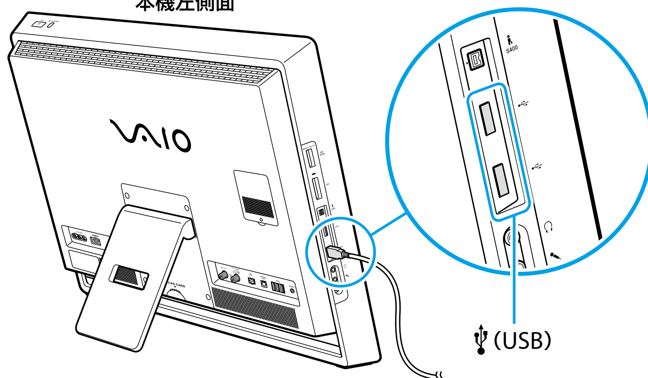
ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときはLAN端子を使用します。



！ご注意
LAN端子に接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット（Ethernet）用などと表記されているものをご使用ください。

ISDN回線を利用するときは

ISDN回線を利用するときはUSB端子を使用します。



ヒント

本機後面のUSB端子につなぐこともできます。

2 B-CASカードを入れる
(地上デジタル+BS / 110度CSデジタルチューナー搭載モデル)

本機はデジタル放送に対応しています。
デジタル放送ではB-CAS*カード(デジタル放送用ICカード)を利用したCAS(限定受信システム)が採用されています。本機でテレビを楽しむには、本機に付属されているB-CASカード(デジタル放送用ICカード)を本機に挿入する必要があります。B-CASカードを挿入していないと、スクランブルが解除できないため、デジタル放送を視聴することができません。

* B-CASは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

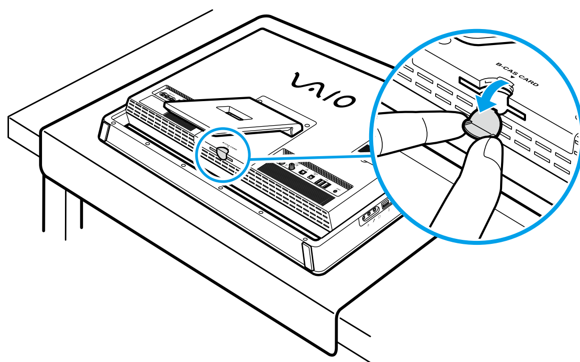
! ご注意

- B-CASカードの取り扱いの詳細は、カードが貼られている台紙の説明をご覧ください。また、台紙は大切に保管しておいてください。
- ご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター(電話番号:0570-000-250)へお問い合わせください。
- 本機に傷がつかないように布などをしいてください。

1 同梱の「ビーキャス(B-CAS)カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。

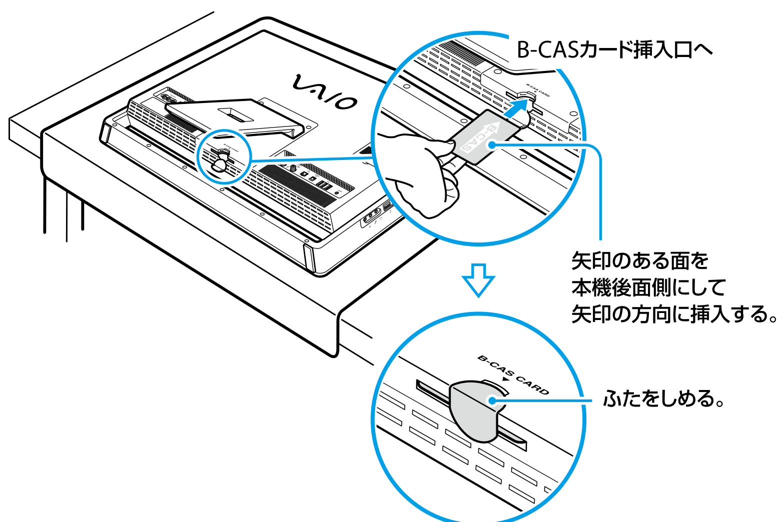
台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター(電話番号:0570-000-250)へお問い合わせください。

2 B-CASカード挿入口のふたを開ける。



3 B-CASカードを挿入する。

本機後面のB-CASカード挿入口にB-CASカードを挿入します。



！ご注意

B-CASカードは確実に奥まで挿入してください。

3 アンテナに接続する
（地上デジタル＋BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル）

テレビを見たり、録画するときは、あらかじめケーブル類などを接続しておく必要があります。

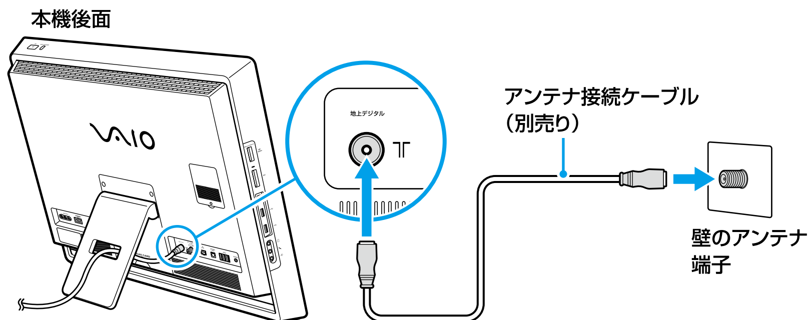
接続のしかたは、以下の場合で異なりますので、ご自分の使用環境に合わせて接続してください。

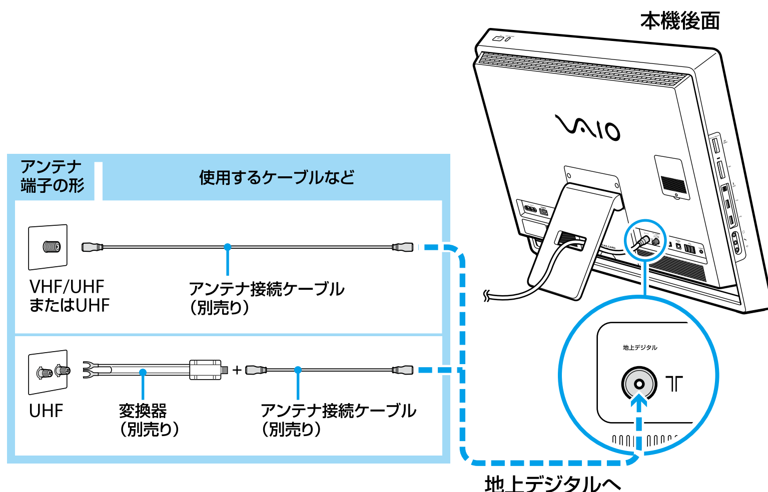
- 本機のみを壁のアンテナ端子に接続する場合
- すでにデジタルレコーダーやテレビが壁のアンテナ端子に接続されており、本機をあらたに接続する場合

本機のみを壁のアンテナ端子に接続する場合

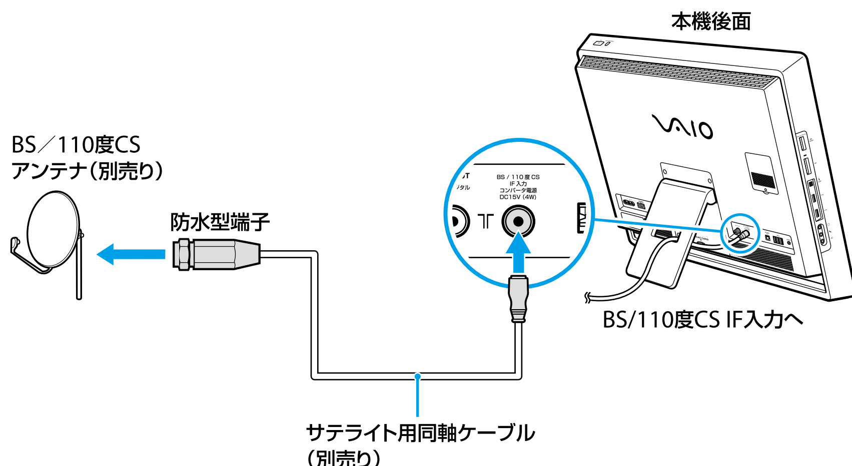
アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や使用するケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、接続してください。なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店にご相談ください。

地上波アンテナとつなぐ場合

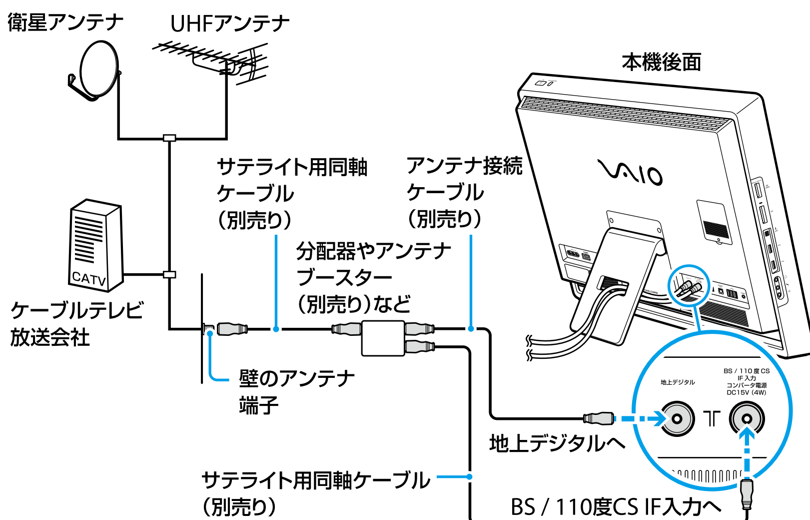




BS ／ 110度CSアンテナとつなぐ場合



地上波とBS ／ 110度CSが混合の場合



ヒント

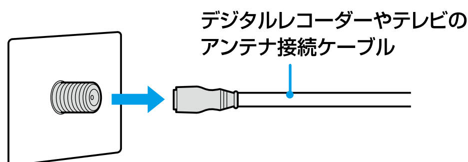
- 壁にBS ／ 110度CS用のアンテナ端子が用意されている場合は、別売りのアンテナ接続ケーブルを使用して、BS ／ 110度CS用のアンテナ端子と本機のBS ／ 110度CS IF入力端子をつないでください。
- テレビなど、他の機器も接続する場合は、より口の多い分配器またはアンテナブースターをお使いください。

！ご注意

- BS ／ 110度CSデジタル放送のアンテナを接続する場合、本機から電源を供給する必要がある場合があるので、サテライト用同軸ケーブル(別売り)で接続してください。
- BS ／ 110度CSデジタル放送のアンテナを接続する場合、本機の電源を入れたまま接続しようとすると、発火するおそれがあります。危険ですので、必ず本機の電源を切ってからアンテナを接続してください。

すでにデジタルレコーダーやテレビが壁のアンテナ端子に接続されており、本機をあらたに接続する場合

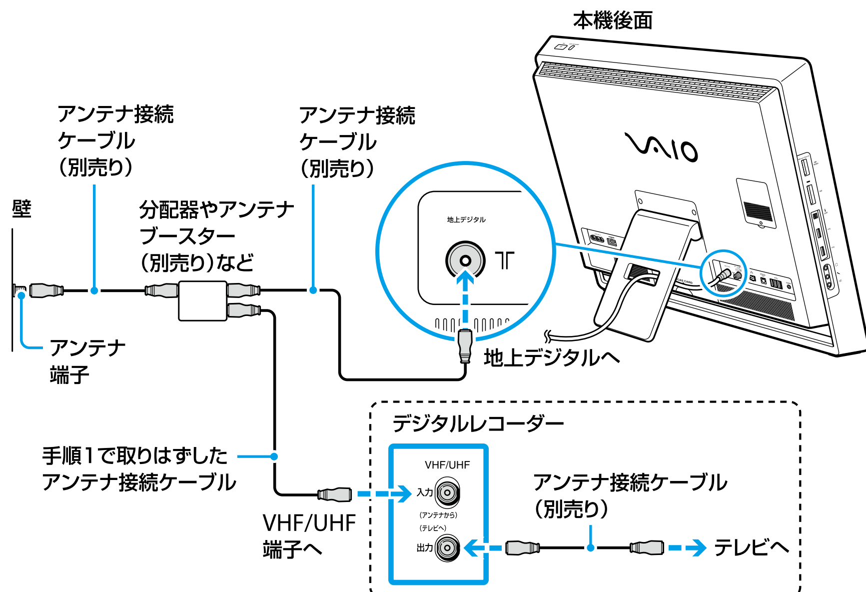
① 壁のアンテナ端子に接続されているデジタルレコーダーやテレビのアンテナ接続ケーブルを取りはずす。



② アンテナを接続する。

別売りの分配器やアンテナブースターなどを使ってアンテナを接続します。壁のアンテナ端子と分配器やアンテナブースターのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や使用するケーブルによって異なります。「本機のみを壁のアンテナ端子に接続する場合」(35ページ)に記載の例から、最も近いものを選び接続してください。

ヒント
デジタルレコーダーをつなぐなど、アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをアンテナと本機の間につないでください。



！ご注意

- 双方向サービスやコンテンツ解析（59ページ）を利用する場合には、インターネットに接続している必要があります。詳しくは「インターネット接続用機器につなぐ」（32ページ）をご覧ください。また、本機では、視聴者参加型のデータ放送など、電話回線が必要なサービスはご利用できません。
- 電話回線を使用した新規加入の申し込みはできません。ご利用の放送局やサービス会社にお問い合わせください。
- 電源を切ったままの状態やアンテナを接続していない状態が数か月間続くと、有料放送の契約が正常に更新されないことがあります。ご利用の放送局やサービス会社にお問い合わせください。

ヒント

BSデジタル／ 110度CSデジタル放送のお問い合わせ先は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた]－[テレビ／ビデオ]－[アンテナを接続する]をクリックする。）

地上デジタル放送受信機をはじめてご使用になる方へ

お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されているかご確認ください。
詳しくは、アンテナの販売店や社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp）、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（ナビダイヤル 0570-07-0101）などにお問い合わせください。
受信障害がある環境など、放送エリア内でも受信できない場合がありますのでご注意ください。

個人住宅など、アンテナで直接受信する場合

地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。VHFアンテナでは受信できません。
現在お使いのUHFアンテナでも、地上デジタル放送に対応していればそのまま使えます。ただし、対応していない場合はUHFアンテナの交換が必要です。
また、地域によっては、地上デジタル放送の送信所にあわせてアンテナの向きを変える必要がある場合があります。
詳しくは、販売店にお問い合わせください。
なお、ケーブルテレビで受信・視聴するときは、UHFアンテナは不要です。

！ご注意

地上アナログ放送は受信できません。

マンションやアパートなど、集合住宅の場合

現在の設備で地上デジタル放送が見られるか、確認が必要です。
お住まいの管理組合または管理会社にお問い合わせください。

ケーブルテレビ(CATV)について

地上デジタル放送は、ケーブルテレビでも受信・視聴できます。
お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタル放送が開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。なお、ケーブルテレビ放送会社によって送信方式が異なりますが、本機は同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式に対応しています(トランスモジュレーション方式には対応していません)。

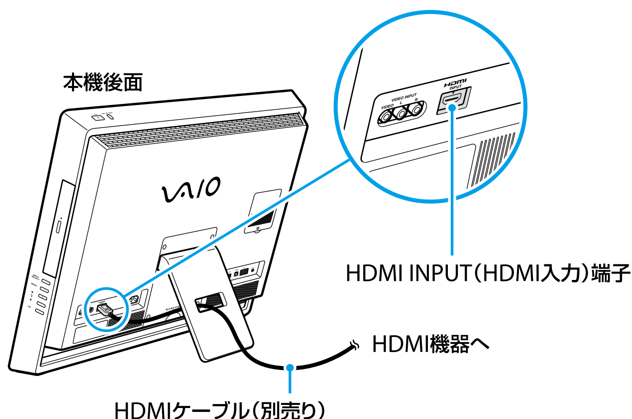
送信方式	内容
パススルー方式	受信した電波を変調方式を変えずに伝送する方式。
同一周波数パススルー方式	地上デジタル放送が使用するUHF帯の電波を、放送の周波数のままでケーブルテレビ網に再送信する方式。変換後の周波数がUHF帯以外の帯域の場合は、UHF帯以外の帯域まで受信範囲が拡大されている地上デジタル放送対応テレビまたは、外付けの地上デジタル放送対応チューナーが必要です。
周波数変換パススルー方式	受信した電波を、放送の周波数とは異なる周波数に周波数変換してケーブルテレビ網に再送信する方式。

4 HDMI ／ VIDEO機器を接続する (HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル)

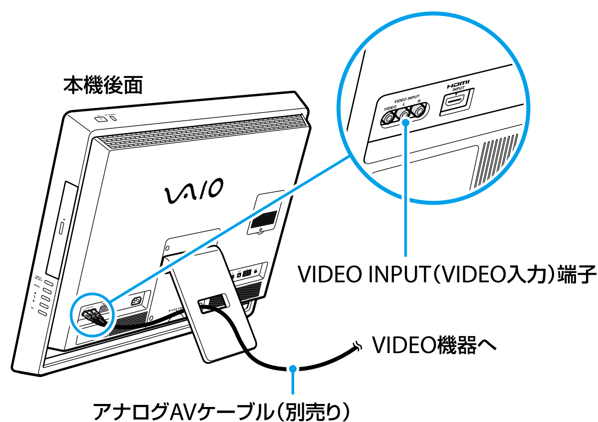
HDMI出力を持つHDDレコーダーなどの機器を本機のHDMI INPUT端子につないだり、VIDEO機器を本機のVIDEO INPUT端子につないだりして、本機で映像や音声を楽しむことができます。

HDMI INPUT端子に接続する

!ご注意
HDMIケーブルは、HDMIロゴが入っているものをお使いください。



VIDEO INPUT端子に接続する

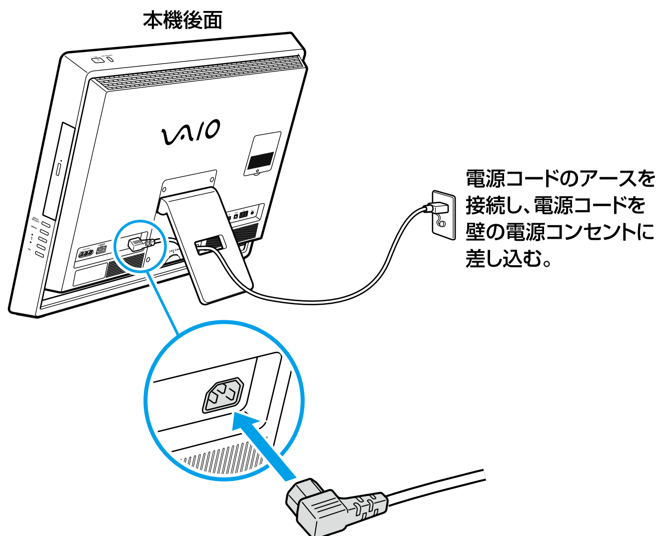




HDMI ／ VIDEO入力機能について、詳しくは「HDMI ／ VIDEO入力機能」の章（81ページ）をご覧ください。

5 コンセントに接続する

本機を電源コンセントに接続します。



！ご注意

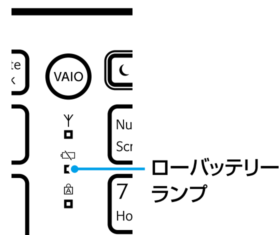
- 同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。
- 本機は日本国内専用です。交流100Vでお使いください。

6 キーボードを準備する

キーボードに単3形アルカリ乾電池を入れます。

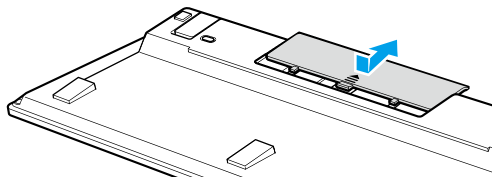
ヒント

- キーボードにあるローバッテリーランプで、キーボードの乾電池の容量が充分かどうか確認できます。ローバッテリーランプの場所について詳しくは、「キーボードの各部名称」（171ページ）をご覧ください。
- キーボードを長時間使わないときは、電源スイッチを「OFF」にすると電池寿命が延びます。

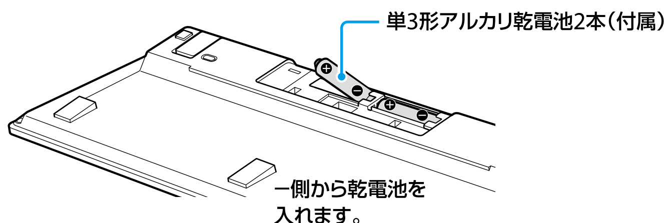


本機をセットアップする
ソフトウェアを使ってみよう
HDMI／VIDEO入力機能
インターネット／メール
セキュリティー
増設／バックアップ／リカバリー
困ったときは／サービス・サポート
各部名称／注意事項

1 **キーボードを裏返し、乾電池入れのふたの中央部分を上から押しながら、矢印の方向に引く。**



2 **＋と－の方向を確かめて、付属の単3形アルカリ乾電池を2本入れる。**



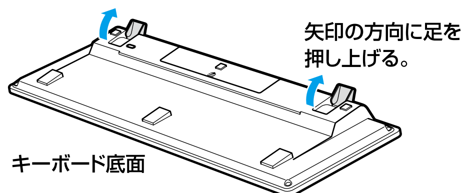
3 **乾電池入れのふたを閉める。**

！ご注意

- しばらくキーボードを使わないときは電源スイッチを「OFF」にしてください。また、長い間キーボードを使わないときは乾電池を取り出してください。
- 市販の充電式の電池には対応していませんので、乾電池をご使用ください。充電式電池を使用した場合、液もれによる事故・故障につながる可能性があります。
- 乾電池は充電しないでください。
- キーボードの乾電池には、アルカリ乾電池をご使用ください。
- 電池についての安全上のご注意について、詳しくは「電池についての安全上のご注意」（19ページ）をご覧ください。

キーボードの足を立てるには

キーボードの足を立てると、キーボードを使うときキーを打ちやすくなります。



！ご注意

キーボードの足を開閉するときに爪を折らないように気をつけてください。

7 マウスを準備する

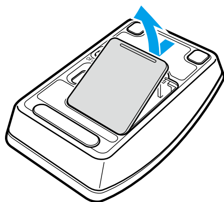
マウスに単3形アルカリ乾電池を入れます。

ヒント

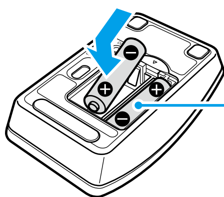


- マウスの乾電池の容量が充分でない場合には、マウスの表面にあるローバッテリーランプが点滅します。ローバッテリーランプの場所について詳しくは、「マウスの各部名称」(175ページ)をご覧ください。
- マウスを長時間使用しないときは、電源スイッチを「OFF」にすると、乾電池の寿命が延びます。

1 マウスを裏返し、乾電池入れのふたを開ける。



2 ＋とーの方向を確かめて、付属の単3形アルカリ乾電池を2本入れる。



3 乾電池入れのふたを閉める。

！ご注意

- しばらくマウスを使わないときは電源スイッチを「OFF」にしてください。また、長い間マウスを使わないときは乾電池を取り出してください。
- 市販の充電式の電池には対応していませんので、乾電池をご使用ください。充電式電池を使用した場合、液もれによる事故・故障につながる可能性があります。
- 乾電池は充電しないでください。
- マウスの乾電池には、アルカリ乾電池をご使用ください。
- 電池についての安全上のご注意について、詳しくは「電池についての安全上のご注意」(19ページ)をご覧ください。

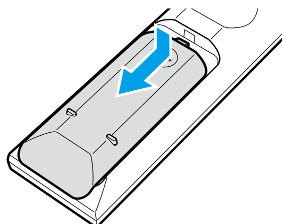
8 リモコンを準備する（リモコン付属モデル）

リモコンに単3形マンガン乾電池を入れます。

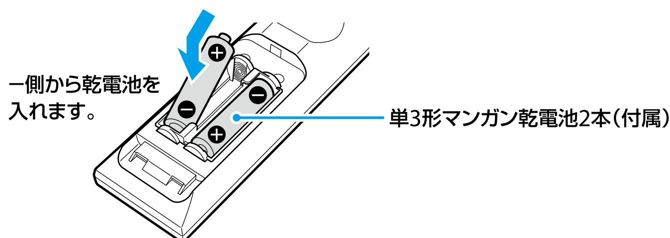
ヒント

- 本機のリモコン受光部とリモコンの発光部との間に、障害物を置かないでください。
- リモコンの使いかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた]－[リモコン]をクリックする。）

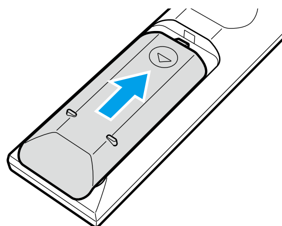
1 リモコンを裏返し、乾電池入れのふたを開ける。



2 ＋と－の方向を確かめて、付属の単3形マンガン乾電池を2本入れる。



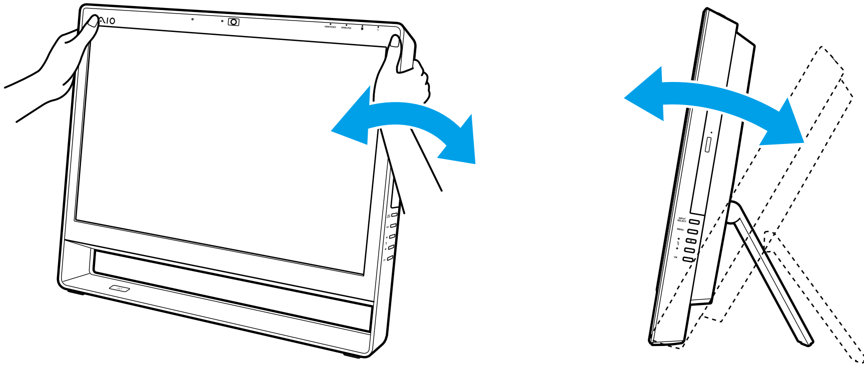
3 乾電池入れのふたをスライドさせて閉める。



!ご注意

- 長い間リモコンを使わないときは乾電池を取り出してください。
- 市販の充電式の電池には対応していませんので、乾電池をご使用ください。充電式電池を使用した場合、液もれによる事故・故障につながる可能性があります。
- 乾電池は充電しないでください。
- 電池についての安全上のご注意について、詳しくは「電池についての安全上のご注意」(19ページ)をご覧ください。

ディスプレイの角度を調整する



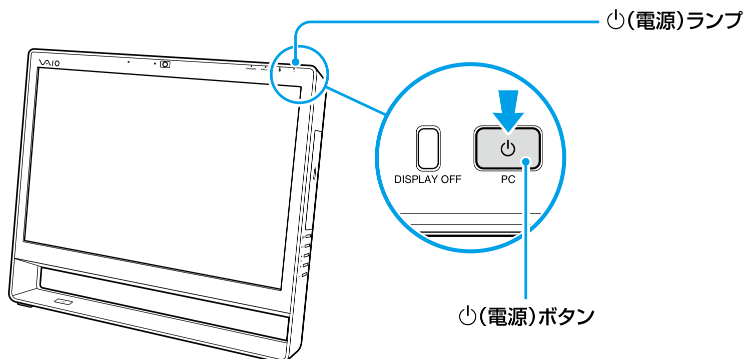
ディスプレイの上部を持ち、画面の角度を調整します。

!ご注意

角度を調整する際は、本体に強い圧力をかけすぎないようにご注意ください。強い圧力をかけすぎると破損することがあります。

電源を入れる

1 本機の⏻（電源）ボタンを押す。



本機の電源が入り、⏻（電源）ランプが緑色に点灯し、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」（47ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

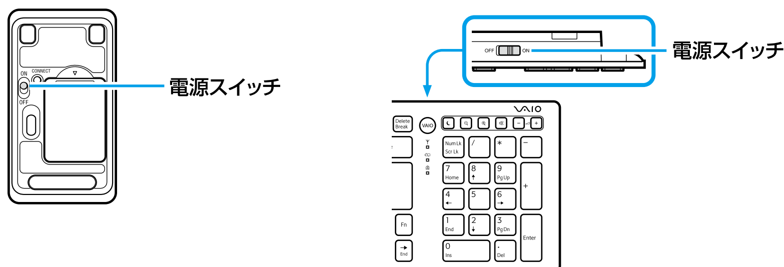
!ご注意

⏻（電源）ボタンを4秒以上押したままにすると、電源が入りません。

ヒント

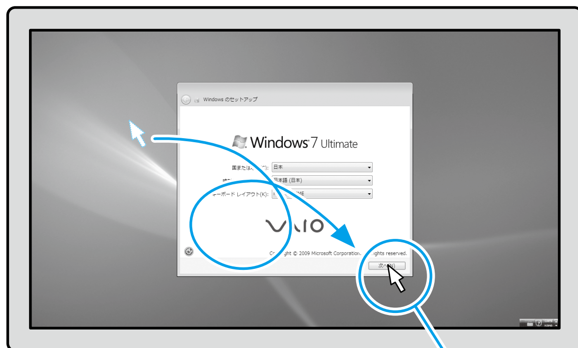
- DISPLAY OFFランプがオレンジ色に点灯している場合は、画面が表示されません。画面を表示させたい場合は、DISPLAY OFFボタンを押してください。
- 電源を入れたあと、コンピューターを操作せずにいると、省電力機能が働いて、画面の表示が消え、⏻（電源）ランプがオレンジ色で点灯します。

2 マウスとキーボードの電源スイッチを「ON」にする。



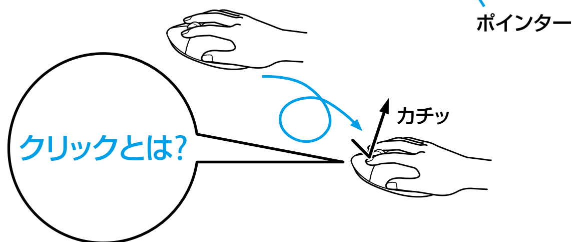
Windowsを準備する

**電源を初めて入れたら、
まずWindowsの準備をしましょう。
Windowsの準備が完了すると、
付属のソフトウェアや
いろいろな機能が使えるように
なります。**



ヒント

- Windowsの準備ではインターネットへの接続は必要ありません。
- 取扱説明書内の画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。



マウスを動かして、目的の場所の上までポインターを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。

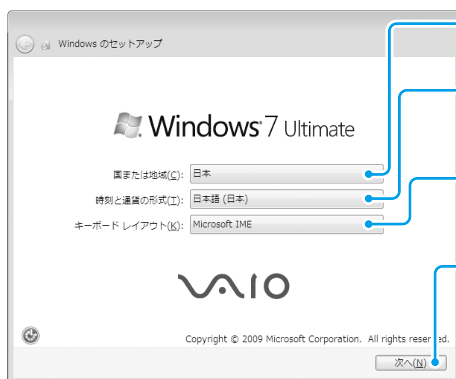
1 電源を入れる。

⏻（電源）ボタンを押し（46ページ）、「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。電源を切らずにそのままお待ちください。

！ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

2 設定を開始する。



① [国または地域]で[日本]が選択されていることを確認する。

② [時刻と通貨の形式]で[日本語(日本)]が選択されていることを確認する。

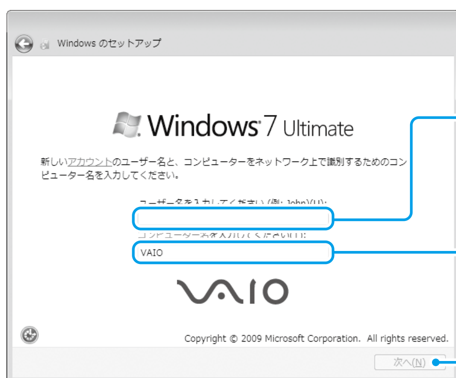
③ [キーボードレイアウト]で[Microsoft IME]が選択されていることを確認する。

④ [次へ]をクリックする。

ヒント

ご使用いただいている機種によっては、OSの名称が異なることがあります。

3 ユーザー名とコンピューター名を設定する。



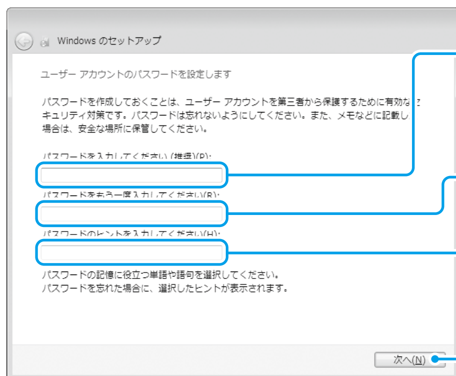
① **お使いになる方の名前などをユーザー名として入力する。**
ユーザー名には、半角英数字を使用してください。

② **コンピューター名を入力する。**
自動的に表示されますが、分かりやすい名前に変更することもできます。

③ **[次へ]をクリックする。**

ヒント
ユーザー名やコンピューター名はWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。

4 パスワードを設定する。



① **パスワードを入力する。**
パスワードを入力すると、確認用にもう1度パスワードを入力する欄が表示されます。

② **上で入力したものと同じパスワードを入力する。**

③ **パスワードを忘れた場合、思い出すために表示されるヒントを入力する。**

④ **[次へ]をクリックする。**

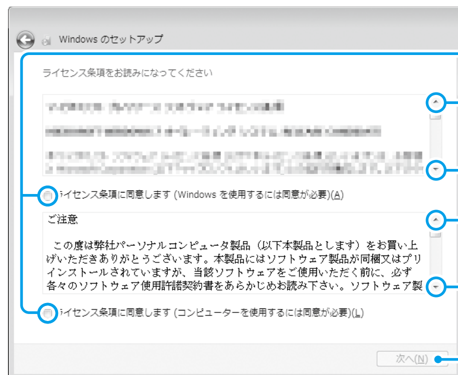
！ご注意
- 入力したパスワードは、メモを取るなどして忘れないようにしてください。入力したパスワードを忘れてしまった場合、リカバリーが必要になります。
- パスワードを入力したときは、パスワードのヒントを入力しないと[次へ]をクリックすることができません。

メモ

ヒント

パスワードはWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。
パスワードの作成／変更／削除について、詳しくは「Windowsパスワードを設定する」（95ページ）をご覧ください。

5 「ライセンス条項」の内容を確認する。



① 2か所の［ライセンス条項に同意します］の□をクリックして☑にする。

どちらか一方でも□を☑にしないと、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

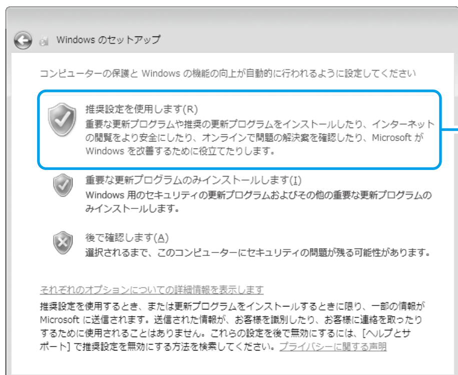
ここをクリックすると文章が上下します。

② 内容を確認したら［次へ］をクリックする。

ヒント

画面左上の◀ボタンをクリックすると前の画面に戻ることができます。

6 コンピューターの保護の設定をする。



［推奨設定を使用します］をクリックする。

7 日付と時刻の設定を確認する。



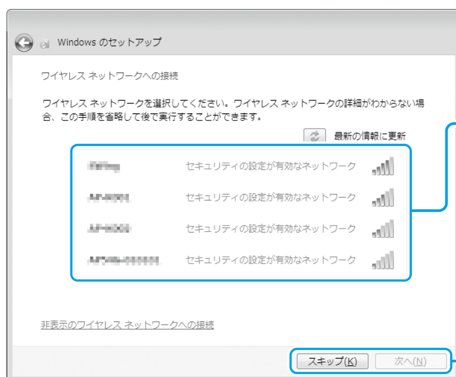
① タイムゾーンおよび日付と時刻を確認する。

② [次へ]をクリックする。

8 無線LANアクセスポイントの準備ができている場合は、ワイヤレスネットワークに接続する。

無線LANアクセスポイントが準備できていない場合は、ここでの接続をスキップすることができます。ワイヤレスネットワークの接続は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。(89ページ)

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。



① 接続する無線LANアクセスポイントを選択する。
必要に応じてセキュリティ キーを入力してください。アルファベットの大文字と小文字は区別されます。

② [次へ]をクリックする。
あとで接続する場合は[スキップ]をクリックしてください。

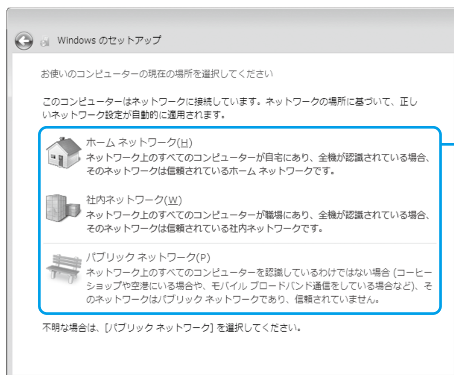
ヒント

「この接続を自動的に開始します」にチェックをすると、次回から、選択した無線LANアクセスポイントを認識したときに自動で接続します。

9 コンピューターを使用する場所を選択する。

設定が完了するまでしばらくお待ちください。設定が完了すると、自動的にデスクトップ画面が表示されます。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。



ヒント

- この画面は、ネットワークに接続されている場合に表示されます。
- コンピューターを使用する場所の設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。

10 「VAIO をはじめる前の準備」を行う。

画面の指示に従って設定などを行ってください。

ヒント

- 「VAIO をはじめる前の準備」は、完了すると次回からは表示されなくなり、デスクトップ画面上のアイコンも削除されます。
- ［VAIO お引越しサポートを起動する］をクリックすると、今までお使いのVAIOからデータや設定などを転送できます。

リカバリーディスクについて

セットアップが完了すると、リカバリーディスク作成を促すバルーンが表示されます。
リカバリーディスクの作成について詳しくは、「リカバリーディスクを作成する」（101ページ）をご覧ください。

パスワードについて

本機にパスワードなどのセキュリティーのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理（有償）が必要になることがありますので、必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理（有償）を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理（有償）でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリック！

カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーでは、「VAIO」をご所有のお客様に「VAIOカスタマー登録」をお願いしています。
ご登録いただくと、「My Sony ID」が発行（「My Sony ID」を既にお持ちの場合は製品の登録情報を追加）され、より充実したご登録者限定のサービス・サポートをご利用いただけます。

VAIOカスタマー登録の特典

① セキュリティーや品質などに関する重要な情報を提供

② VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートメニューを提供

* 各サービス・サポートについて詳しくは、144ページ以降をご覧ください。

- **使い方相談サポート（電話・メール）のご利用1年間無料**
  VAIOご購入日から1年間、使いかたや技術的なお問い合わせのサポート（電話・メール）を無料でご利用いただけます。
- **使い方相談窓口のフリーダイヤル**
  VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」のフリーダイヤルをご利用いただけます。
- **VAIOコールバック予約サービス**
  ホームページから電話サポートを予約いただくと、ご指定の日時にオペレーターからお電話を差し上げます。ご購入後1年間はご利用無料です。
- **VAIOリモートサービス**
  オペレーターが、インターネット経由でお客様のVAIOの画面を確認しながら操作方法などをご案内します。ご購入後1年間はご利用無料です。
- **メールサポート**
  使いかたや技術的な質問をホームページで受付し、電子メールで返信します。ご購入後1年間はご利用無料です。
- **VAIO Hot Street（情報交換サイト）**
  お客様同士でVAIOに関するさまざまな情報を投稿、質問、回答できます。

③ 特典情報やキャンペーンなど、VAIOに関するさまざまな情報を提供

VAIOをより楽しむための様々な優待サービスをご利用いただける権利「My VAIO Pass」（無償）をご提供いたします。詳しくは、「VAIOオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」」（161ページ）をご覧ください。

！ご注意

VAIOカスタマー登録の特典などは、2009年10月時点での情報（予定を含む）です。内容は予告なく変更・終了する場合があります。ご了承ください。

ヒント

- VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」(56ページ)までご連絡ください。
- My Sony IDはソニー共通のお客様IDです。ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスを、ひとつのIDとパスワードで利用できます。また、すでに他のIDをご所有の場合も、それらのIDと「IDリンク(ひも付け)」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
  My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)をご覧ください。

VAIOカスタマー登録での個人情報取り扱いについて

ソニーでは、カスタマー登録時にご提供いただくお客様の個人情報について、適切な取り扱いに取り組んでおります。個人情報の取り扱いについて詳しくは、下記をご参照ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer/agreement.html

VAIOカスタマー登録の方法

!ご注意

- ご登録いただくVAIOをインターネットに接続してから、VAIOカスタマー登録を行ってください。
- VAIO オンラインカスタマー登録を行うには、「コンピューターの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録を行っていただいてから、登録完了までに1 ～ 2時間程度お時間がかかります。ご了承ください。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリーをした後などに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)で行うことができます。
- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、メールアドレスが必要です。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO オンラインカスタマー登録]をクリックする。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

!ご注意

機種によって「VAIO オンラインカスタマー登録」が搭載されていない場合があります。
この場合は「My VAIO」(http://sony.jp/vaio/myvaio/)の「My VAIO メニュー」から「カスタマー登録」をクリックして手順3に進んでください。

2 内容をよく読み、[ご登録ページへ]をクリックする。

登録画面が表示されます。

ヒント

カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、画面を閉じてください。

3 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

！ご注意

- 表示されたIDは、メモをとるなどして忘れないようにしてください。
- VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートをご利用になるには、「My Sony ID」が必要になります。
- ご登録いただいた電話番号は、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」をご利用の際に必要となる場合があります。

ヒント

「My Sony ID」は登録メールアドレスに送信されます。

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク

電話番号：（0466）38-1410（通話料お客様負担）

（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）

受付時間：平日　9時～ 20時

土曜、日曜、祝日　9時～ 17時

（年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。）

！ご注意

- VAIOの使いかたについては、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」までお問い合わせください。
詳しくは「電話で問い合わせる」（149ページ）をご覧ください。
- VAIOの修理については、VAIOカスタマーリンク「修理相談窓口」までお問い合わせください。
詳しくは「修理を依頼されるときは」（155ページ）をご覧ください。

テレビの設定を行う

デジタル放送の設定を行う（地上デジタル＋BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル）

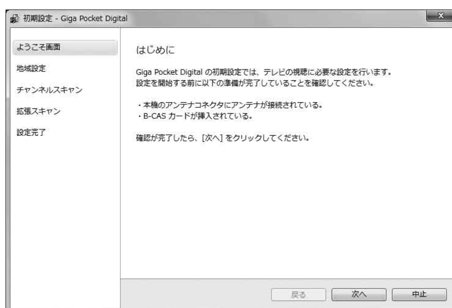
デジタル放送を楽しむには、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを使用します。
「Giga Pocket Digital」ソフトウェアをはじめてお使いになるときは、チャンネル設定など初期設定をする必要があります。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Giga Pocket Digital テレビを見る]をクリックする。

「Giga Pocket Digital」ソフトウェアの初期設定画面が表示されます。

ヒント
デジタル放送の双方向サービスは、インターネットを経由して利用できます。
双方向サービスを利用しない場合は、LANケーブルの接続は不要です。

2 アンテナ接続やB-CASカードの挿入を確認し、[次へ]をクリックする。



3 画面の指示に従って、以下の設定を行う。

- 「地域設定」画面
  お住まいの地域を選択し、郵便番号を7桁で入力してから、［次へ］をクリックします。
- 「チャンネルスキャン」画面
  ［開始］をクリックします。

ヒント
郵便番号は、データ放送で天気予報などの地域密着の情報を受信するために設定します。

4 チャンネルスキャンの結果を確認し、［次へ］をクリックする。



表示されたチャンネルが少ない場合は、［戻る］をクリックして前の画面に戻り、アンテナの接続を確認したうえで再度［開始］をクリックしてください。
それでも少ない場合は、拡張スキャンを行ってください。
引き続き、BSデジタル／110度CSデジタルのチャンネルスキャンを行います。
［チャンネル情報取得］をクリックすると、BS／CSデジタルのチャンネルスキャンが開始されます。
結果が表示されたら、［次へ］をクリックしてください。

ヒント

- CATVのチャンネルをスキャンする場合は、［拡張スキャンを行う］をクリックします。
  CATVのスキャンが開始され、結果が表示されたら［次へ］をクリックしてください。
- 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアでは、CATV事業者側で受信した地上デジタル放送の変調方式を変更せずに再送信するパススルー方式に対応しています。パススルー方式には、周波数を変換するものとそのままのものがありますが、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアはどちらの方式にも対応しています。

5 設定完了画面が表示されたら、[終了]をクリックする。

「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。
表示されない場合は、すでにVAIO オリジナル機能の設定が完了しています。

ヒント
- VAIO オリジナル機能の設定を行うと、ダイジェスト再生をしたり、CMや店舗／商品情報を表示したりして、デジタル放送を楽しむことができます。
- VAIO オリジナル機能の設定を変更するときは、ビデオ一覧画面を表示し、ツールバーの 右にある▼から[VAIO 解析マネージャーの設定]を選択して設定を変更してください。設定については、VAIO 解析マネージャーのヘルプをご覧ください。

コンテンツ解析について

「Giga Pocket Digital」ソフトウェアは、録画した番組コンテンツに対して、VAIO 解析マネージャーを使って録画したコンテンツの解析を行います。（コンテンツ解析）
解析されたコンテンツは、ダイジェスト再生やカタログビュー再生を可能にしたり、付加された情報を使ってコンテンツを管理しやすくしたり、CMや店舗／商品情報の表示をしたりすることができます。
VAIO 解析マネージャーについては、「VAIO 解析マネージャー」のヘルプをご覧ください。

！ご注意
コンテンツ解析を行うには、インターネットに接続しておく必要があります。

セットアップが終わったら

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

❑ リカバリーディスクを作成してください。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用したり、お買い上げ時以外のOSをインストールしたりすると、リカバリー領域からリカバリーができなくなることがあります。そのような場合に備え、リカバリーディスクを作成してください。リカバリーディスクの作成について詳しくは、「リカバリーディスクを作成する」（101ページ）をご覧ください。

❑ Windows Updateを実行してください。

- より安定した状態でVAIOをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。
（(スタート)ボタン－［すべてのプログラム］－［Windows Update］をクリックする。）

❑ VAIO Updateを実行してください。

- 「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（62ページ）
（［ソフトウェアの使いかた］－［VAIO Update］をクリックする。）

❑ 電子メールを使いたい。

- 「Windows Live メール」ソフトウェアを使って、電子メールをやりとりできます。
（(スタート)ボタン－［すべてのプログラム］－［Windows Live］－［Windows Live メール］をクリックする。）

❑ Microsoft Office（Word、Excel）を使いたい。

- 「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（62ページ）
（［ソフトウェアの使いかた］－［Microsoft Office（Word ／ Excel）］をクリックする。）

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の⏻（電源）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

1 **(スタート)ボタンをクリックする。**

スタートメニューが表示されます。

2 [シャットダウン]をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、⏻(電源)ランプが消灯します。

!ご注意

本機の電源を切ったあと、30秒間は電源を入れないでください。

ヒント

お買い上げ時の設定では、⏻(電源)ボタンを押すとスリープモードに移行します。現在作業中の状態をメモリーに保持したまま(ハイブリッドスリープ、お買い上げ時の設定)、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約できます。詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([コンピューター本体の使いかた]－[電源の管理/起動]－[スリープモードにする]をクリックする。)

画面で見るマニュアルの使いかた

「VAIO 電子マニュアル」には、本書よりも詳しい情報を紹介しています。やりたいことがあるけれど、何をどうすればいいのかわからない場合や、トラブルの解決方法を調べる場合などは、「VAIO 電子マニュアル」をご利用ください。
「VAIO 電子マニュアル」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO 電子マニュアルの使いかた

VAIO 電子マニュアルを表示する

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。
「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

VAIO 電子マニュアルの基本操作

1 大項目を選ぶ
「コンピューター本体の使いかた」や「Q&A 集」など、調べたい項目を選びます。

2 目的の情報を選ぶ
表示される一覧から、目的に合った項目を選びます。
さらに表示される一覧から必要な情報を選びます。

3 表示された説明を読む
画面の右側に情報が表示されます。



VAIO 電子マニュアルに表示される項目や内容は、お使いの機種により異なります。

ソフトウェアの探しかた

「VAIO ナビ」を使うと、使用目的にあった項目をクリックするだけで、最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。
やりたいことが決まっているけれど、どのソフトウェアを起動すればいいかわからないときなどに便利です。
「VAIO ナビ」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO ナビの使いかた

VAIO ナビを表示する

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO ナビ]をクリックする。

「VAIO ナビ」が表示されます。

VAIO ナビの基本操作

1 大項目を選ぶ

「写真・ビデオ」や「音楽」など、やりたいことのジャンルを選びます。

2 目的の内容を選ぶ

表示される一覧から、目的に合った項目を選びます。

3 ソフトウェアを利用する

ソフトウェアを起動することや、解説を読むことができます。

ヒント

VAIO ナビに表示される項目や内容は、お使いの機種により異なります。

テレビ（地上デジタル＋BS ／ 110度CS デジタルチューナー搭載モデル）

テレビを見る

本機を操作して、現在放送中のテレビを見ます。

「Giga Pocket Digital」ソフトウェアは、リモコンでもマウス／タッチパネルでも操作できます。ここでは、リモコンを使った操作方法を説明します。

ヒント

デジタル放送についての詳しい操作方法は、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを起動する。

リモコンのテレビボタンを押します。

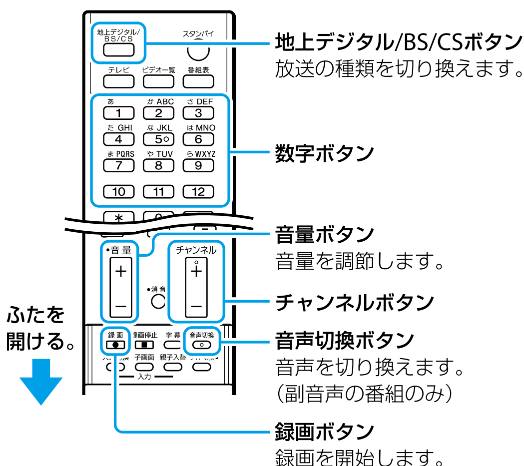


ヒント

- 初回起動時に初期設定画面が表示されたら、画面の指示に従って設定してください。（57ページ）
- （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Giga Pocket Digital テレビを見る］をクリックしても「Giga Pocket Digital」ソフトウェアが起動します。

2 チャンネルを切り換える。

リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネルボタンを押してチャンネルを切り換えます。



ヒント

連動データボタンを押すと、データ放送（番組に関連した情報や地域密着の情報）が表示されます。

！ご注意

緊急警報放送による自動起動には対応しておりません。

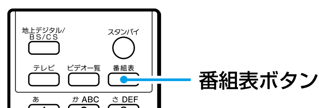
録画予約する

番組表を使ってデジタル放送の番組の録画予約を行うことができます。
ここでは、リモコンを使った操作方法を説明します。

ヒント
- デジタル放送についての詳しい操作方法は、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 録画時のハードディスク使用量の目安は、地上デジタル放送(約17Mbps)の場合、「約7.5GB/1時間」(DRモード)です。

1 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアの番組表を起動する。

リモコンの番組表ボタンを押します。



ヒント
- 初回起動時に初期設定画面が表示されたら、画面の指示に従って設定してください。(57ページ)
- (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[Giga Pocket Digital 番組表を見る]をクリックしても「Giga Pocket Digital」ソフトウェアが起動します。

2 録画予約する番組を選択する。

リモコンの上下左右ボタンで番組を選択し、決定ボタンを押します。
地上デジタル/BS/CSボタンを押すと、番組表を切り換えることができます。



番組の詳細情報画面が表示されます。

ヒント
他の日付の番組表を表示するには、リモコンのカラーボタンを押します。
赤ボタンで次の日の番組表に、青ボタンで前の日の番組表に切り換えます。

3 内容を確認し、予約を選ぶ。

番組詳細情報画面で内容を確認してからリモコンの上下左右ボタンで[予約]を選択し、決定ボタンを押します。



4 予約を確定する。

リモコンの上下左右ボタンで[OK]を選択し、決定ボタンを押します。



録画予約が登録されます。
もう一度決定ボタンを押すと、番組表画面に戻ります。

録画予約についてのご注意

録画開始時刻に本機が次の状態になっている場合、録画は行われません。

- 電源を切っている状態（シャットダウン）
- ログオフの状態（ログオン中にスリープや休止状態に移行した場合、録画は行われます。）

録画した番組を見る

録画したデジタル放送の番組はビデオとして「ビデオ一覧」画面に登録されます。この一覧からビデオを選んで再生します。

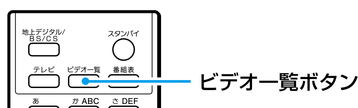
ここでは、リモコンを使った操作方法を説明します。

ヒント

デジタル放送についての詳しい操作方法は、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのビデオ一覧を起動する。

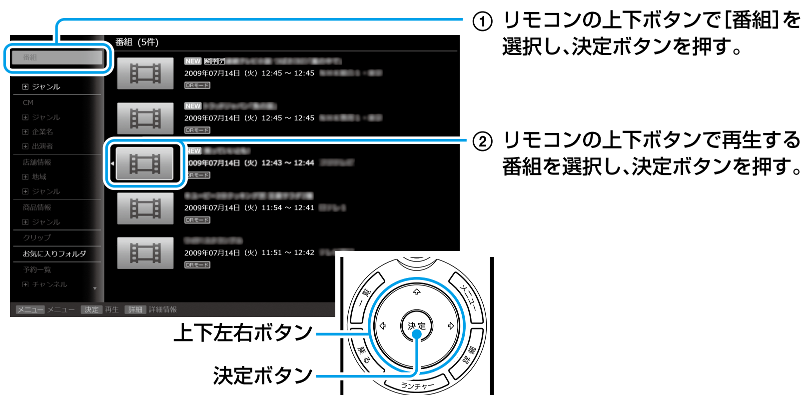
リモコンのビデオ一覧ボタンを押します。



ヒント

- 初回起動時に初期設定画面が表示されたら、画面の指示に従って設定してください。(57ページ)
- (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Giga Pocket Digital ビデオ一覧を見る]をクリックしても「Giga Pocket Digital」ソフトウェアが起動します。

2 再生する番組を選択する。



番組の再生が始まります。

ヒント

[チャンネル]や[ジャンル]を選択して決定ボタンを押すと、画面右側のブラウズエリアの表示が、チャンネルごと、またはジャンルごとに切り換わります。

録画した番組を書き出す

録画した番組を機器・メディアに書き出します。

ヒント
- 書き出しはリモコンで操作できません。
- デジタル放送についての詳しい操作方法は、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

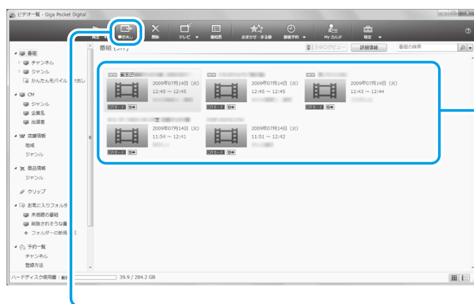
あらかじめ、ブランクメディア(データの書き込まれていないBD、CPRM対応のDVD-RW/DVD-RAM、"メモリースティック")をドライブやスロットに入れてください。"ウォークマン"に書き出す場合は、あらかじめ"ウォークマン"をコンピューターに接続してください。
自動再生画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
本機で使用できるディスクは、「デジタル放送について」(190ページ)をご覧ください。

1 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのビデオ一覧を起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Giga Pocket Digital ビデオ一覧を見る]をクリックします。

ヒント
初回起動時に初期設定画面が表示されたら、画面の指示に従って設定してください。(57ページ)

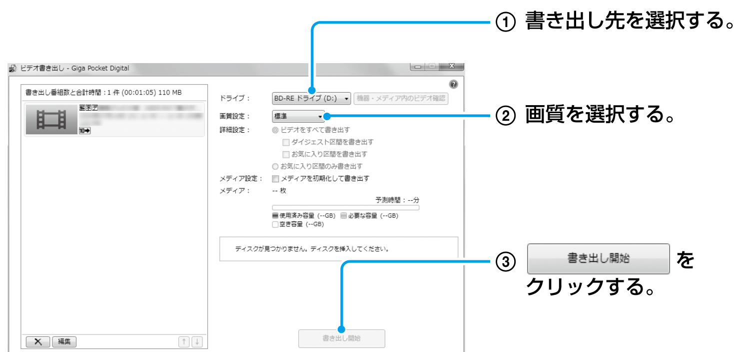
2 書き出すビデオを選択する。



① 一覧から書き出したいビデオを選択する。

② (書き出し)をクリックする。

3 機器・メディアに書き出す。



！ご注意

書き出し可能回数に制限があるビデオを機器・メディアに書き出すと、書き出し可能回数が減少します。

の付いているビデオを書き出すと、移動（ムーブ）になり、ハードディスクから消去されます。

ダビング10について

「Giga Pocket Digital」ソフトウェアは、新しいコピー制御方式「ダビング10」に対応しています。ハードディスクに録画した「ダビング10」の番組は、Blu-ray DiscやCPRM対応のDVD、“メモリースティック”、“ウォークマン”へ9回の書き出しと1回の移動（ムーブ）が可能です。
移動した場合は、本機のハードディスクから自動的に消去されます。
なお、デジタル放送のすべての番組が「ダビング10」に対応するわけではありません。

テレビをもっと楽しむには？

VAIO ナビを使って目的の項目から最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリック！

音楽

音楽を取り込む

お気に入りの音楽CDの曲をVAIOに取り込みます。

1

「Windows Media Player」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Media Player]をクリックします。

ヒント

はじめて起動するときは、ようこそ画面が表示されます。画面の指示に従って初期設定を行ってください。

2

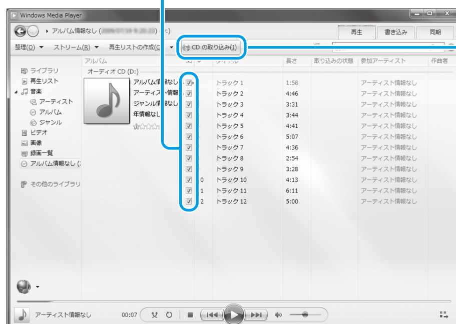
音楽CDをドライブに入れる。

ヒント

「自動再生」画面が表示される場合は、 をクリックして画面を閉じてください。

3

取り込みを開始する。



音楽CDの曲が取り込まれます。

ヒント

- はじめて曲を取り込むときに表示される画面で、取り込み時のオプションを選択できます。内容を確認したら、チェックボックスにチェックを付け、[OK]をクリックしてください。
- インターネットに接続している場合は、アルバム情報を検索・取得することができます。

音楽CDを作る

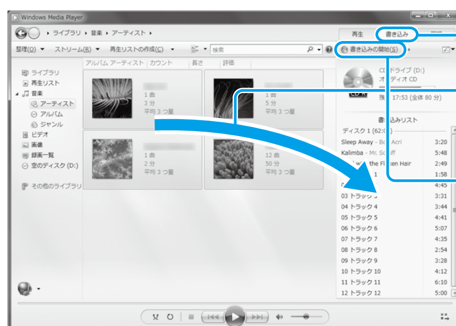
取り込んだ曲やアルバムを選んで、オリジナルの音楽CDを作成できます。

あらかじめ、ブランクメディア(データの書き込まれていないCD-R、CD-RW)をドライブに入れてください。
自動再生画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
本機で使用できるディスクは、「使用できるディスクとご注意」(187ページ)をご覧ください。

1 「Windows Media Player」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Media Player]をクリックします。

2 音楽CDを作成する。



① [書き込み]をクリックする。

② 書き込みたい曲やアルバムをドラッグアンドドロップする。

③ 書き込みの開始(S) をクリックする。

書き込みが始まります。

音楽を楽しむ

取り込んだ曲から時間帯や好みにあわせて、おすすめのコンテンツを楽しめます。

1 「Media Gallery」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Media Gallery]をクリックします。

2 再生したいコンテンツを選択する。



おすすめコンテンツを楽しむには

「Media Gallery」ソフトウェアのホーム画面では、時間や好みにあったおすすめの音楽コンテンツが表示されます。
ホーム画面から、コンテンツを選んで音楽を楽しむこともできます。

音楽をもっと楽しむには？

VAIO ナビを使って目的の項目から最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリック！

写真・ビデオ

写真やビデオを取り込む

撮影した写真やビデオを本機に取り込みます。

1 カメラの電源を入れ、USBケーブルで本機とつなぐ。

取り込み画面が表示された場合は、手順4に進んでください。

ヒント
接続方法については、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

2 「PMB VAIO Edition」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[PMB]をクリックします。

3 [ファイル]メニューから[画像の取り込み]を選択する。

4 画像を取り込む。



取り込み開始(I) をクリックする。

画像の取り込みが始まります。

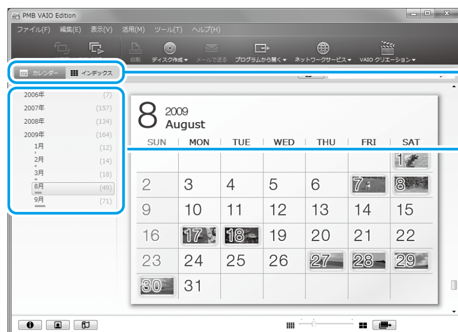
写真やビデオを見る

取り込んだ写真やビデオを表示して楽しみます。

1 「PMB VAIO Edition」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[PMB]をクリックします。

2 見たい画像を選択する。



① タブをクリックして、表示方法を切り替える。

② フォルダーや月アイコンをクリックして、見たい画像を表示する。

サムネイルが表示されます。



画像を大きく表示して見るには、サムネイルをダブルクリックします。

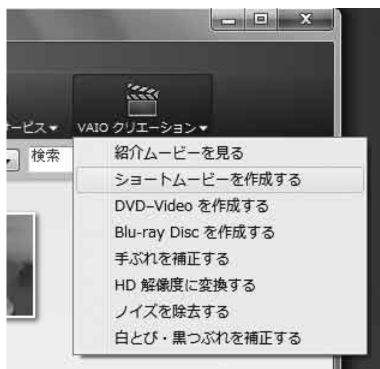
ショートムービーを作成する

取り込んだ写真やビデオから、ショートムービーを作成できます。

1 「PMB VAIO Edition」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[PMB]をクリックします。

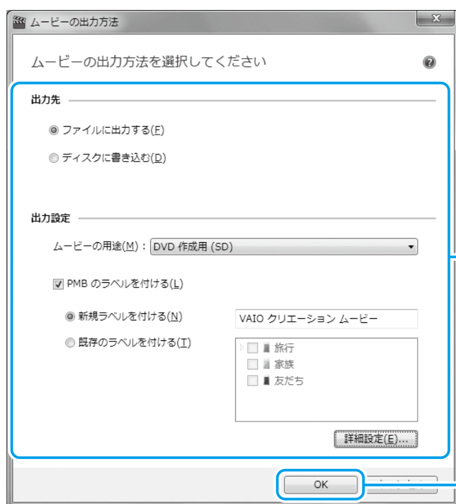
2 ショートムービーに使用する画像を選択し、画面上部の[VAIO クリエーション]－[ショートムービーを作成する]をクリックする。



3 編集する。

① ムービーで使用される画像を確認し、[ムービー新規作成]をクリックする。
② 画面の指示に従って、ムービーのテーマとBGMを選択する。
③ プレビュー画面で、作成したムービーのできあがりイメージを確認し、[ムービー出力]をクリックする。

4 出力する。



① 出力方法を選択する。

② OK をクリックする。

オリジナルムービーが作成されます。

オリジナルBD・DVDを作成する

取り込んだ写真やビデオを編集して、ディスクに書き出すことができます。

あらかじめ、ブランクメディア(データの書き込まれていないBDまたはDVD)をドライブに入れてください。
自動再生画面が表示された場合は、[X] をクリックして画面を閉じてください。
本機で使用できるディスクは、「使用できるディスクとご注意」(187ページ)をご覧ください。

!ご注意
BDに書き込めるのは、ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)モデルのみです。

1 「PMB VAIO Edition」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[PMB]をクリックします。

2 ディスクに書き出す画像を選択し、画面上部の[VAIO クリエーション]－[DVD-Video を作成する]または[Blu-ray Disc を作成する]をクリックする。



ヒント
以降、[DVD-Video を作成する]を選択した場合の手順を説明します。

3 編集する。

① ディスクに書き出す画像を確認し、[DVD 新規作成]をクリックする。
② メニューデザインを選択し、[プレビュー作成]をクリックする。

4 ディスクに書き出す。

できあがりイメージを確認し、[ディスク作成開始]をクリックすると、ディスクへの書き出しが始まります。

写真とビデオを楽しむ

取り込んだ写真やビデオを撮影日時で並んだ画面から選択して、コンテンツを楽しめます。

1 「Media Gallery」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Media Gallery]をクリックします。

2 再生したいコンテンツを選択する。



おすすめコンテンツを楽しむには

「Media Gallery」ソフトウェアのホーム画面では、おすすめの写真とビデオのコンテンツが表示されます。
ホーム画面から、コンテンツを選んで写真やビデオを楽しむこともできます。

写真・ビデオをもっと楽しむには？

VAIO ナビを使って目的の項目から最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリック！

BD・DVD再生

BD・DVDを見る

「WinDVD」ソフトウェアでBDやDVDを再生します。

!ご注意

- 本機でBDやDVDを再生するときは、映像を扱う他のソフトウェアをすべて終了させてください。
- ブルーレイディスクドライブ搭載モデル以外をお使いの場合は、BDを再生できません。
- ブルーレイディスクのタイトルによっては、再生できなかったり、コンピューター本体が正常に動作しなくなったりする場合があります。
  より安定した状態でお使いいただくために、VAIO Updateを実行してからブルーレイディスクの再生をお楽しみください。
- CPRM(著作権保護機能)対応のDVDを再生するには、CPRM Packをインストールする必要があります。
  詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([ソフトウェアの使いかた]－[WinDVD]－[DVDなどのディスクを見る]をクリックする。)

1 「WinDVD」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Corel]－[Corel WinDVD]または[Corel WinDVD BD]をクリックする。

2 再生したいBDまたはDVDをドライブに入れる。

3 再生する。

「WinDVD」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「WinDVD」のヘルプをご覧ください。

BD・DVD再生をもっと楽しむには？

VAIO ナビを使って目的の項目から最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリック！

HDMI ／ VIDEO入力機能でできること

HDMI ／ VIDEO入力機能とは

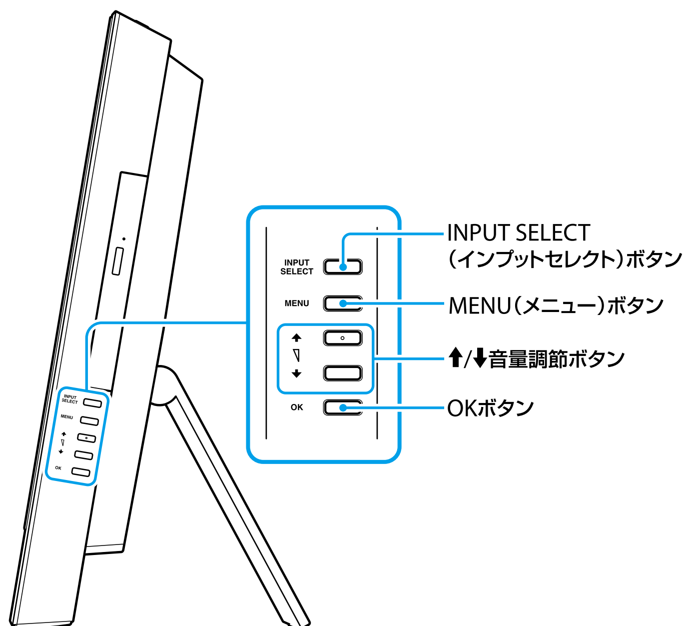
HDMI（High-Definition Multimedia Interface）とは、デジタル機器間で映像／音声信号をデジタルのまま1本のケーブルで送ることができるインターフェースです。高品質な映像や音声が楽しめます。デジタル画像信号の暗号化記述を使用した著作権保護技術であるHDCPにも対応しています。
HDMI ／ VIDEO入力機能とは、HDMI出力を持つHDDレコーダーなどの機器を本機のHDMI INPUT端子につないだり、VIDEO機器を本機のVIDEO INPUT端子につないで、本機で映像や音声を楽しむ機能です。
この機能を使うと、コンピューター本体を起動させることなくHDMI ／ VIDEO機器の映像や音声を楽しむことができます。本体右側面には音量を上下させるなどのHDMI ／ VIDEO入力機能専用の操作ボタンも装備しています。

ヒント

HDMI ／ VIDEO機器との接続について詳しくは、「HDMI ／ VIDEO機器を接続する（HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル）」（39ページ）をご覧ください。

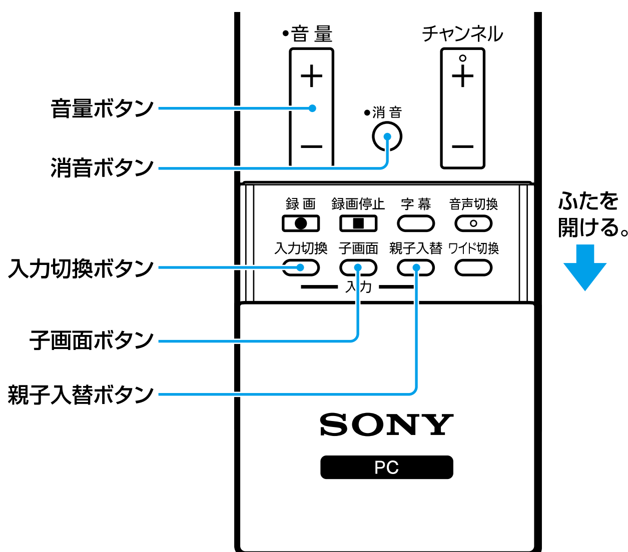
HDMI ／ VIDEO入力機能で使うボタン

HDMI ／ VIDEO入力機能で使うボタンは下図のとおりです。



ボタン名	機能
INPUT SELECT（インプットセレクト）ボタン	コンピューター本体表示とHDMI ／ VIDEO入力を切り換えます。 ヒント HDMI ／ VIDEO入力時はINPUT SELECTボタンとHDMI ／ VIDEOランプが点灯します。
MENU（メニュー）ボタン	メニュー画面が表示されます。
⬆ ／ ⬇音量調節ボタン	HDMI ／ VIDEO入力時に押すと、接続しているHDMI ／ VIDEO機器の音量を調節できます。メニュー画面表示中に押すと、項目を選べます。 ！ご注意 コンピューター本体の音量は調節できません。
OKボタン	メニュー画面で項目を決定するときに使用します。

HDMI ／ VIDEO入力時に使用できるリモコンボタン



- **音量ボタン**
  音量を調節します。
- **消音ボタン**
  一時的に音を消します。もう1度押すと音が出ます。
- **入力切換ボタン**
  画面表示をコンピューター本体表示→HDMI入力→VIDEO入力の順に切り換えます。
- **子画面ボタン**
  子画面を表示します。また、子画面の表示をコンピューター本体表示→HDMI入力→VIDEO入力→子画面非表示の順に切り換えます。
- **親子入替ボタン**
  子画面の表示に親画面と子画面の映像を入れ替えて表示します。

！ご注意
HDMI ／ VIDEO入力時の音量設定は、コンピューター本体表示時とはそれぞれ別々に保持されます。入力切り換えを行った場合、前回ご使用時に設定した音量になりますのでご注意ください。

HDMI ／ VIDEO 機器からの入力に切り換える

HDMI ／ VIDEO機器の画面を表示するには

1 **本機のHDMI INPUT端子またはVIDEO INPUT端子にHDMI ／ VIDEO機器を接続する（39ページ）。**

2 **本機のHDMI INPUT端子またはVIDEO INPUT端子に接続したHDMI ／ VIDEO機器の電源を入れる。**

INPUT SELECTボタンとHDMI ／ VIDEOランプが緑色に点灯します。
点灯しない場合は、INPUT SELECTボタンを押して、HDMI ／ VIDEO機器の画面に切り換えてください。

ヒント
HDMI ／ VIDEO入力機能を利用するときは、本機の⏻（電源）ボタンを押す必要はありません。

HDMI ／ VIDEO機器の音量を調節するには

1 **INPUT SELECTボタンを押して、本機のディスプレイにHDMI ／ VIDEO機器の画面を表示させる。**

コンピューター本体の画面が表示されたときは、もう一度INPUT SELECTボタンを押すとHDMI ／ VIDEO機器の画面が表示されます。

2 **本機右側面の⬆ ／ ⬇音量調節ボタンで音量を調節する。**

ヒント
リモコンの音量ボタンでも音量を調節できます。

！ご注意
- コンピューター本体の音量は調節できません。
- キーボードの音量調節ボタンではHDMI ／ VIDEO機器の音量を調節できません。

ヒント
コンピューター本体表示時の音量調節について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［コンピューター本体の使いかた］－［音声］－［音量を調節する］をクリックする。）

HDMI／VIDEO入力機能のディスプレイ設定を変更する

MENU（メニュー）ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。メニュー画面ではディスプレイ設定を変更できます。

ディスプレイメニューの言語を日本語に変更するには

ディスプレイ設定のメニュー画面は、初期設定では英語で表示されます。次の手順でディスプレイ設定のメニュー画面の言語を日本語に変更します。

1 **MENU（メニュー）ボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

2 **↑／↓音量調節ボタンで「OPTION」を選択して、OKボタンを押す。**

項目を選ぶ画面が表示されます。

3 **↑／↓音量調節ボタンで「LANGUAGE」を選択して、OKボタンを押す。**

言語を選ぶ画面が表示されます。

4 **↑／↓音量調節ボタンで「日本語」を選択して、OKボタンを押す。**

その他のメニュー項目を変更するには

自動入力切替えの設定や設定のリセットなどを行うときは、次の手順で操作してください。
HDMI ／ VIDEO入力時にのみ設定が変更できる項目は、HDMI ／ VIDEO入力時にのみ設定が反映されます。コンピューター本体表示時には反映されません。

1 MENU（メニュー）ボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。
HDMI ／ VIDEO入力時にのみ設定が変更できる項目の場合は、MENU（メニュー）ボタンを押す前に、INPUT SELECTボタンでHDMI ／ VIDEO入力の画面に切り換えてください。

2 ↑ ／ ↓音量調節ボタンで項目を選択して、OKボタンを押す。

項目を選ぶ画面、または設定を選ぶ画面が表示されます。
項目を選ぶ画面が表示されたときは、↑ ／ ↓音量調節ボタンで項目を選択して、OKボタンを押してください。

メニュー画面に表示される主な項目と設定は、以下のとおりです。

項目	設定
オプション － 自動入力切替え	自動ON（入）：HDMI ／ VIDEO入力画面とコンピューター本体表示画面を自動的に切り換える。 自動OFF（切）：HDMI ／ VIDEO入力画面とコンピューター本体表示画面を手動で切り換える。 ヒント ［自動OFF（切） 省エネ］の設定を選ぶと、［自動OFF（切） ノーマル］の設定を選んだときに比べ、消費電力をさらに減らすことができます。ただし、画面表示に多少時間がかかります。
オプション － オールリセット	すべての項目を初期設定に戻す。
オプション － 入力無効	HDMI：INPUT SELECTボタンを押したときにHDMI機器を選択しない。 VIDEO：INPUT SELECTボタンを押したときにVIDEO機器を選択しない。 無：INPUT SELECTボタンを押したときに、すべてのHDMI ／ VIDEO入力機器を選択できるようにする。

3 ↑ ／ ↓音量調節ボタンで設定を選択して、OKボタンを押す。

インターネットを始める

インターネットとは

インターネットは、電話回線などで結ばれたコンピューター同士がネットワークで結ばれ、全世界のネットワークを相互に接続したものです。インターネットを利用することにより、ホームページを見たり電子メールをやり取りすることができます。電子メールのやり取りには、「Windows Live メール」ソフトウェアを使います。（ (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Live]－[Windows Live メール]をクリックする。）

インターネットに接続するまでの流れ

手順1

接続する回線の種類を決める

「インターネット接続サービスの種類」を参考にして、接続する回線を決めます（88ページ）。



手順2

プロバイダーと契約する

手順1で決めた回線のサービスを提供しているプロバイダーを選び、契約します。契約が完了すると、プロバイダーからインターネット接続に使用するマニュアルや資料、回線装置などが郵送されてきます。



手順3

回線装置などを接続・設定する

プロバイダーから送られてきたマニュアルに従って、回線装置などを接続し、必要な設定をします。

!ご注意

接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダーから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。





手順4(無線LANを使用しない場合)
本機を接続する
「インターネット接続用機器につなぐ」をご覧になり、本機を接続します(32ページ)。

手順4(無線LANを使用する場合)
本機を設定する
「無線LANで通信する」をご覧になり、無線LANに必要な設定をします(89ページ)。

!ご注意
- はじめてインターネットに接続するときは、第三者からコンピューターを守るためのセキュリティー対策を必ず行ってください。
- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダーもあります。
- 接続料金はプロバイダーにより異なります。

インターネット接続サービスの種類

インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダーにお問い合わせください。

FTTH(光)
光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

CATVインターネット
ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいはFTTH(光)と同程度で接続ができます。
すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

ADSL
一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
FTTH(光)ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

その他の接続サービス
- 一般電話回線
  一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。
- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

インターネット接続に関するお問い合わせ

インターネット接続に関するお問い合わせ先は、お客様の知りたい内容によって異なります。

知りたい内容	お問い合わせ先
プロバイダー接続情報 （アカウント名、パスワード、DNSサーバーなど）	プロバイダー
メール設定情報 （メールアドレス、メールアカウントなど）	プロバイダー
コンピューター側の設定	VAIOカスタマーリンク

無線LANで通信する

「インターネットに接続するまでの流れ」の手順3まで終了し（87ページ）、アクセスポイントの電源が入っていて動作している状態で行ってください。
設定について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の［コンピューター本体の使いかた］－［LAN ／無線LAN］と、Windowsのヘルプをご覧ください。

1

デスクトップ画面右下の通知領域にある（VAIO Smart Network）アイコンをクリックして、無線LANが有効になっていることを確認する。

無効になっている場合は有効に設定してください。

2

デスクトップ画面右下の通知領域にあるネットワーク（または）アイコンをクリックする。

「現在の接続先」画面が表示されます。

3 画面のリストから接続先の無線LANアクセスポイントを選び、[接続]をクリックする。

接続されると、選択した無線LANアクセスポイントの欄に「接続」と表示されます。
リストに接続先の無線LANアクセスポイントが見つからない場合は、(更新)をクリックしてください。
セキュリティー キーを入力する画面が表示されたときは、必要に応じてセキュリティー キーを入力し、[OK]をクリックしてください。
入力時はアルファベットの大文字と小文字が区別されますのでご注意ください。

ヒント
セキュリティー キーを入力していったん接続すると、その無線LANアクセスポイントが登録され、次回以降接続するときはセキュリティー キーを入力せずに接続できます。

4 タスクバーの(Internet Explorer)アイコンをクリックする。

VAIOホームページが表示されたら、インターネットに接続されています。表示されない場合は、「VAIO 電子マニュアル」の[コンピューター本体の使いかた]－[LAN／無線LAN]と、Windowsのヘルプをご覧ください。

接続先を新規に作るには

新規のワイヤレスネットワークに接続する場合は、接続先を作成します。

1 デスクトップ画面右下の通知領域にあるネットワーク(またはアイコンをクリックする。

「現在の接続先」画面が表示されます。

2 [ネットワークと共有センターを開く]をクリックする。

「ネットワークと共有センター」画面が表示されます。

3 [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックする。

4 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します]を選んで、[次へ]をクリックする。

5 お使いになるアクセスポイントに合わせて各項目を設定し、[次へ]をクリックする。

接続先が追加されます。
切り替え先の無線LANアクセスポイントに接続すると、接続されたメッセージが通知領域に表示されます。

- 「セキュリティの種類」に「認証なし(オープン システム)」以外を選択した場合は、「セキュリティ キーまたはパスフレーズ」の入力が必要です。
- アクセスポイントを認識したときに自動で接続したいときは、[この接続を自動的に開始します]のチェックボックスをオンにします。
- アクセスポイントのネットワーク名(SSID)について、ステルスモードまたはクローズドシステムをお使いの場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]のチェックボックスをオンにします。

無線LANの通信を終了するには

「VAIO Smart Network」画面で、「無線 LAN」の「Off」をクリックします。
無線LAN機能がオフになり、WIRELESS(ワイヤレス)ランプが消灯します。

!ご注意
「VAIO Smart Network」画面で他のワイヤレス機能を選択している場合は、WIRELESS(ワイヤレス)ランプは点灯したままです。

インターネットのセキュリティーについて

コンピューターを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピューターを守るためのセキュリティーについてご紹介いたします。

コンピューターウイルスとは

コンピューターウイルスとは、コンピューターに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピューターウイルスが実行される（これを感染と呼びます。）と、ファイルが勝手に消去されたり内容が改変されたり、保存していた個人情報がインターネットを通じて勝手に送信されるなど、さまざまな被害にあってしまいます。
コンピューターウイルスの感染経路や被害の例について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[インターネット]－[インターネットについてのご注意]－[インターネットのセキュリティーについて]をクリックする。）

コンピューターウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピューターウイルスに感染することはほとんどなくなります。

コンピューターウイルス対策用のソフトウェアを使用する
コンピューターウイルス対策用ソフトウェアは、コンピューター内にコンピューターウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピューターウイルス対策用ソフトウェアとして、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアを設定して、定期的にウイルス定義ファイルを更新してください。
また、お使いの機種によってはスパイウェア対策を行う「Spy Sweeper」ソフトウェアも用意されています。

！ご注意
複数のコンピューターウイルス対策用ソフトウェアを同時に使用すると、正常に動作しない場合があります。「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェア以外のコンピューターウイルス対策用ソフトウェアを使用する場合は、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアをコントロールパネルからアンインストール（削除）してください。削除方法について詳しくは、Windowsのヘルプとサポートをご覧ください。
コンピューターウイルス対策用ソフトウェアについて詳しくは、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
なお、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアを削除後の本機の動作保証はいたしません。

Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピューターウイルスは、コンピューターウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。

Windowsのセットアップでコンピューターの保護の設定を有効にしていると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

！ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバーの更新はおすすめしません。ドライバーの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバーを更新する場合は、VAIOサポートページ上で提供されるドライバーを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOサポートページをご覧ください。
Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/windows/update/

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピューターに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

！ご注意

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

その他セキュリティーについて

セキュリティーやコンピューターウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。

ソニーでは、セキュリティーやウイルスに関する最新情報やよくある質問を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。

VAIOサポートページ ウイルス・セキュリティー情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
VAIOカスタマーリンクモバイル（お知らせ）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/



また、セキュリティーに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティー専用窓口
電話番号：0120-70-8103（フリーダイヤル）
※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、
　(0466)30-3016（通話料お客様負担）
受付時間
平日：9時～18時
土曜、日曜、祝日：9時～17時
年末年始は、土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

セキュリティーソフトウェアのお問い合わせ先について

マカフィー・PCセキュリティセンター

1　マカフィー・テクニカルサポートセンター
- 製品のインストールに関するお問合せ
- マカフィー製品の使いかた、設定方法
- マカフィー製品に絡むコンピューターの障害

2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
- ユーザー登録方法
- 契約情報の確認、更新
- キャンペーンに関するご相談

電話番号：
1　マカフィー・テクニカルサポートセンター
（0570）060-033
（03）5428-2279（IPフォン・光電話のかたはこちらへ）
2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
（0570）030-088
（03）5428-1792（IPフォン・光電話のかたはこちらへ）
※いずれのセンターも通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

受付時間：
1　マカフィー・テクニカルサポートセンター
年中無休　9時～21時
2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
月曜～金曜　9時～17時（祝日、祭日は除く）
電子メール：
＜お問合せ専用Webフォーム＞
マカフィー・テクニカルサポートセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/tscontact.asp
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/cscontact.asp
ホームページ：
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/

Spy Sweeper

ウェブルート・ソフトウェア　カスタマーサポートセンター
電話番号：（0570）055250
受付時間：月曜～日曜：10時～12時、13時～19時（年末年始を除く）
電子メール：JPcustomer@webroot.com
http://www.webroot.co.jp/

i-フィルター 5.0

デジタルアーツ株式会社　サポートセンター
電話番号：月曜～金曜：（03）3580-5678
土曜、日曜、祝日：（0570）00-1334（デジタルアーツ株式会社指定休業日を除く）
受付時間：月曜～金曜：10時～18時
土曜、日曜、祝日：10時～20時（デジタルアーツ株式会社指定休業日を除く）
ホームページ：
よくある質問：http://www.daj.jp/faq/
ユーザーサポートお問い合わせフォーム：
http://www.daj.jp/ask/

パスワードを設定する

Windowsパスワードを設定する

Windowsログオン時のパスワードを設定します。
パスワードを設定すると、電源を入れたり、スリープモードまたは休止状態から復帰したりするときにパスワードの入力が必要になり、他の人に本機を使用されることを防ぐことができます。

!ご注意
Windowsパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。

ヒント
ドメインユーザーとしてパスワードを設定する場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

Windowsパスワードを登録する

1 （スタート）ボタン－［コントロール パネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 ［ユーザー アカウントと家族のための安全設定］または［ユーザー アカウント］をクリックする。

3 ［ユーザー アカウント］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

4 ［アカウントのパスワードの作成］をクリックする。

5 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントの入力」に入力してください。

6 ［パスワードの作成］をクリックする。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードリセットディスクを作成することができます。
詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

パスワードで使用できる文字について

パスワードには、以下の文字を使うことができます。

文字（アルファベットの大文字）
A, B, C, D, E ...

文字（アルファベットの小文字）
a, b, c, d, e ...

数字
0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9

記号（文字または数字として定義されないもの）

` ~ ! @ # $ % ^ & * ( ) _ - + = { } [ ] ¥ | : ; " ' <
> , . ? /

Windowsパスワードを変更する

1　（スタート）ボタンー［コントロール パネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2　［ユーザー アカウントと家族のための安全設定］または［ユーザー アカウント］をクリックする。

3　［ユーザー アカウント］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

4　［個人用パスワードの変更］をクリックする。

5　「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6　「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント

パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントの入力」に入力してください。

7　［パスワードの変更］をクリックする。

Windowsパスワードを削除する

1　（スタート）ボタンー［コントロール パネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2　［ユーザー アカウントと家族のための安全設定］または［ユーザー アカウント］をクリックする。

3　［ユーザー アカウント］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

4　［個人用パスワードの削除］をクリックする。

5　「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6　［パスワードの削除］をクリックする。

増設する

メモリーを取り付ける／はずす

メモリーを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。
また、2か所以上のスロットにメモリーモジュールを装着すると、デュアルチャンネル転送モードになり、さらにパフォーマンスが向上します。
お使いの機種のメモリーについては、別紙「主な仕様」をご覧ください。

メモリーを増設するときのご注意

- メモリーの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリーの増設を行った場合には、内部端子の接続不備や破損、メモリーの接続が不十分なことにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリー増設の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリー増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリー増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリー増設の際に水などの液体や異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリーモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリーモジュールの販売元にご相談ください。

メモリーを取り付けるには

!ご注意

- 本機後面のメモリーカバーを取りはずすと、メモリーモジュールを取り付けるスロットが上下2段に配置されています。1枚だけメモリーを取り付ける場合は、上側のスロットを空けて、必ず下側のスロットに取り付けてください。
- メモリーモジュールの取り付けは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリーモジュールを取り付けると、メモリーモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリーモジュールが破損しないように、メモリーモジュールを取り付けるときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリーモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。

- メモリーモジュールを持つときは半導体や端子に触れないようにしてください。
- メモリーモジュールには、向きがあります。メモリーモジュールのエッジ端子の切り欠き部分とスロットの端子(溝の内側)部分の突起の位置を正しく合わせてください。無理に逆向きにメモリーモジュールをスロットに押し込むと、メモリーモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

1　本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび本機に接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

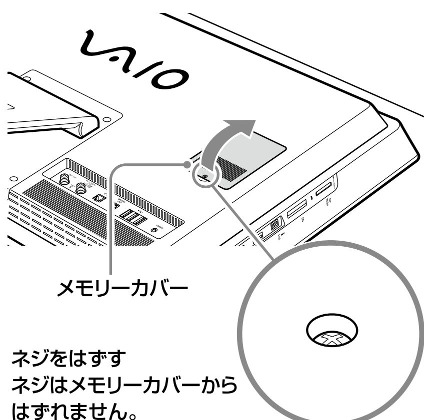
2　本機前面を下にして置く。

!ご注意

- 本機に傷がつかないように布などをしいてください。
- 本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

3　メモリーカバーを取りはずす。

ネジをはずして、メモリーカバーを取りはずします。ネジはメモリーカバーからはずれません。



4　メモリーモジュールを取り付ける。

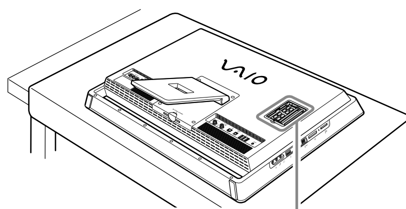
メモリーモジュールにはエッジ端子部分に切り欠きがあります。

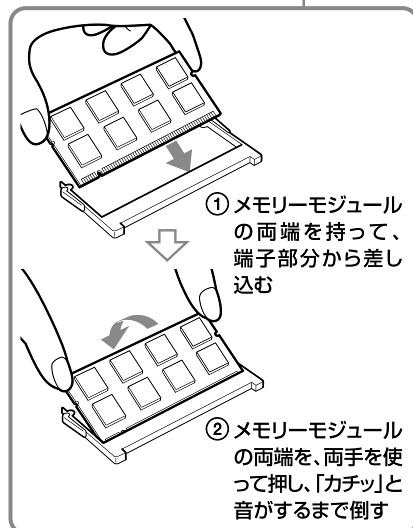
① メモリーモジュールのエッジ端子部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝に合わせて、奥までしっかりと差し込む。

!ご注意

エッジ端子部分を傷つけないようにご注意ください。

② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリーモジュールをゆっくりと倒す。
メモリーモジュールの両端が固定されます。
このとき、メモリーモジュールの黒いICの部分を触らないでください。

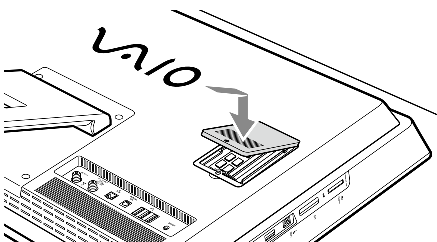




!ご注意

- メモリーモジュール以外の部品や基板などには触れないようにご注意ください。
- メモリーを取り付ける際は、内部に異物を落とさないようにしてください。故障の原因となります。
- メモリーモジュールを1枚だけ取り付ける場合は、必ず下側に取り付けてください。

5 メモリーカバーを元に戻し、ネジで留める。



6 手順1で取りはずした周辺機器と電源コードを接続し、本機の電源を入れる。

メモリー容量を確認するには

メモリーモジュールを取り付けた際は、以下の手順に従ってメモリー容量を確認してください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。

「VAIO の設定」画面が表示されます。

2 [システム情報]をクリックする。

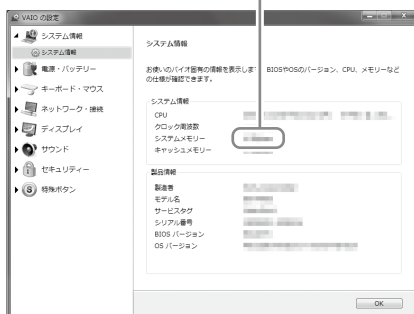
3 [システム情報]をクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

4 「システムメモリー」の項目が増設後のメモリー容量になっていることを確認する。

メモリーの容量が正しければ、メモリーの増設は完了しました。
メモリーの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリーモジュールを取りはずし、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。

ここを確認する。



メモリーを取りはずすには

次の手順でメモリーモジュールをはずし、スロットからゆっくり抜き取ります。

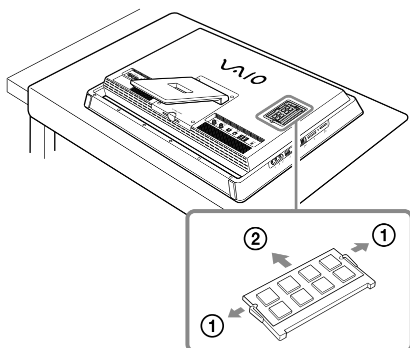
!ご注意

本機に傷がつかないように布などをしいてください。

1 「メモリーを取り付けるには」の手順1 ～ 3を行う。

2 メモリーモジュールを取りはずす。

① メモリーモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。
② メモリーモジュールを矢印の方向にゆっくり引き抜く。



3 「メモリーを取り付けるには」の手順5 ～ 6を行う。

！ご注意

- メモリーモジュールの取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリーモジュールを取りはずすと、メモリーモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリーモジュールが破損しないように、メモリーモジュールを取りはずすときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
  - メモリーモジュールを持つときは半導体や端子に触れないようにしてください。
  - メモリーモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

バックアップ

バックアップの必要性

バックアップとは、コンピューターに保存されたデータをコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。
本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピューターウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。
バックアップについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[増設／ BIOS／バックアップ／リカバリー]－[バックアップについて]－[バックアップとは]をクリックする。）

リカバリーディスクを作成する

リカバリーディスクについて

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリー」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリーを行います。

- コンピューターウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリーには、リカバリーディスクを使用する場合があります。リカバリーディスクは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ず作成してください。

！ご注意

下記のような操作を行った場合に、ハードディスクのリカバリー領域の情報を書き替えてしまい、リカバリー領域からリカバリーできなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- 「VAIO リカバリーセンター」を使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリーディスクによるリカバリーが必要となりますが、リカバリーディスクを作成していないと、リカバリーディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリーディスクを作成することをおすすめします。

リカバリーディスクのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリーディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/recoverydisc/

* ホームページからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です。（54ページ）

！ご注意

- 本機で作成したリカバリーディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリーディスクを使うと、暗号化していないハードディスク上のデータを自由に操作することができます。
  ハードディスクのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクの暗号化機能を使うなどして保護してください。

リカバリーディスクを作成するには

リカバリーディスクを作成するには、未使用の書き込み可能なディスクが必要です。本機には付属しておりませんので別途ご用意ください。

！ご注意

- ハードディスク上の空き容量が少ない場合は、リカバリーディスクを作成できません。
- Blu-ray Disc、DVD-RAM、CD-RまたはCD-RWはリカバリーディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
- お使いの機種によっては、お買い上げ直後の状態でも空き容量が足りないため、DVD+R DLおよびDVD-R DLでリカバリーディスクを作成できない場合があります。
- ディスクの記録面に触れたり、汚したりしないようにしてください。書き込みや読み取りエラーの原因になります。

ヒント

リカバリーディスクを作成する前に、VAIO Updateを実行して本機をアップデートすることをおすすめします。
VAIO Updateについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［ソフトウェアの使いかた］－［VAIO Update］をクリックする。）
VAIO Updateが搭載されていないモデルをお使いの場合は、VAIOサポートページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）からお客様が選択されたモデルに該当するアップデートプログラムをダウンロードし、インストールしてください。
また、本機をリカバリーした際には再びVAIO Updateを実行してください。

本機を使用する準備ができたら、はじめに以下の手順に従ってリカバリーディスクを作成してください。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO リカバリーセンター］をクリックする。

「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。



（実際の画面とは異なる場合があります。）

2 画面左側の[リカバリーディスクの作成]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

3 内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

ディスクの種類選択の画面が表示されます。

4 使用するディスクを選択する。

ヒント
画面下部のチェックボックスにチェックを付けると、リカバリーディスクの作成完了後に、ディスクが正しく作成されたかどうかの確認を行います。チェックを付けることをおすすめします。(チェックを付けない場合に比べて処理に時間がかかります。)

5 [次へ]をクリックする。

ヒント
外付けドライブなど複数のディスクドライブが接続されている場合は、ドライブの選択画面が表示されます。使用するドライブを選択して[次へ]をクリックしてください。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6 選択した種類のディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

リカバリーディスクの作成が始まり、現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

!ご注意
- リカバリーディスクの作成状況は、更新されるまでしばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリーディスクの作成中には、ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクがドライブから自動的に出てきます。

7 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

!ご注意
ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

すべてのリカバリーディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリーディスクの作成が完了するとメッセージが表示されます。

8 [完了]をクリックする。

これでリカバリーディスクの作成は終了です。

リカバリー(再セットアップ)

リカバリーする

リカバリーとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリー」といいます。次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリーを行います。

- コンピューターウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

本機は、リカバリーディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリー領域からリカバリーすることができます。

リカバリー領域とは

リカバリー領域とは、リカバリーを行うために必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリー領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリー領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリー領域からリカバリーできなくなる場合があります。

リカバリーの種類

リカバリー方法を次の2種類から選択することができます。通常は、「C ドライブのリカバリー」をおすすめします。

❑ C ドライブのリカバリー

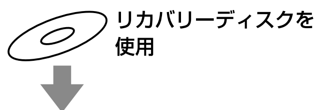
C:ドライブにあるすべてのデータを削除した上で、お買い上げ時の状態に戻します。

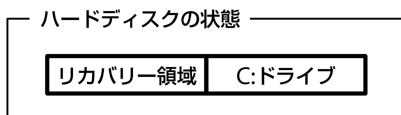


C:ドライブのみデータが削除され、リカバリー領域や、追加で作成したパーティションのデータは削除されません。

❑ お買い上げ時の状態にリカバリー

ハードディスク上のすべてのドライブを削除し、パーティションの構成をリカバリー領域も含めてお買い上げ時の状態に戻します。また、パーティションサイズを変更したい場合もこちらを選択してください。





ハードディスク上にあるすべてのデータが削除されます。

!ご注意

- リカバリーで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです(一部のソフトウェアを除く)。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。

付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリー領域を使ってリカバリーしたり、リカバリーディスクの作成が行えないことがあります。
そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリーディスクを作成してください。（101ページ）

リカバリー前に確認してください

- 本機をリカバリーした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリーする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
- 電源以外のすべての周辺機器をはずしてから、作業を行ってください。リカバリーに外付けドライブが必要な場合は、ドライブを接続してください。
周辺機器は、リカバリーが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリー後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリー後に、もう一度設定し直してください。
- リカバリーする際は、必ず最後までリカバリーを行ってください。リカバリーが完了していない状態で本機を使用した場合、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリーができなくなる場合があります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。万一パスワードを忘れてリカバリーできなくなったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

著作権保護されている音楽データなどをバックアップする際のご注意

著作権保護されているデータ（音楽再生ソフトウェアで管理している音楽データ）をバックアップするために、これらのデータを取り込んだ時に使用したソフトウェアの専用バックアップツールが用意されている場合があります。
本機をリカバリーする場合、これらのデータはあらかじめ専用バックアップツールを使ってバックアップしてください。
専用バックアップツールをお使いにならずに、本機をリカバリーし、データを復元しても、著作権保護されているデータは復元できない場合がありますのでご注意ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリーするには

Windowsが起動しない状態でリカバリーするには、以下の2種類の方法があります。

- リカバリーディスクを使ってリカバリーする
リカバリー領域のデータを破損または削除してしまっている場合に、リカバリーディスクを使ってリカバリーすることができます。ただし、リカバリー領域からリカバリーするよりも時間がかかります。
- リカバリー領域からリカバリーする
ハードディスクのリカバリー領域からリカバリーするため、リカバリーディスクを使うよりも速くリカバリーすることができます。

ヒント

Windowsが起動する状態でリカバリーする場合は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[増設／BIOS ／バックアップ／リカバリー] − [リカバリー（再セットアップ）] − [リカバリーする] − [Windowsからリカバリーするには] をクリックする。）

リカバリーディスクを使ってリカバリーするには

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリーディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブート マネージャー」画面が表示されます。

2 矢印キーで「VAIO リカバリーセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

3 画面左側の[C ドライブのリカバリー]または[お買い上げ時の状態にリカバリー]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ヒント

- バックアップしたいデータがある場合は、[VAIO データレスキューツール]をクリックし、バックアップしてください。（108ページ）
- [VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックすると、リカバリーを行う前にハードウェア（CPU、メモリー、ハードディスクドライブ）の検査を行うことができます。
- リカバリー領域を削除していない場合は、複数のリカバリーディスクのうち、一部を使用せずにリカバリーが完了することがあります。

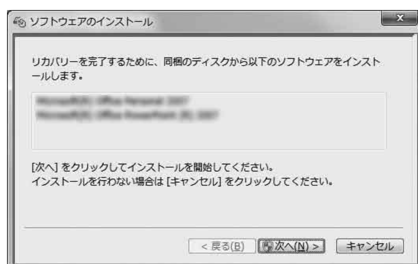
Windowsのリカバリーが完了すると、本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

！ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

4 画面の指示に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでシステムのリカバリーが完了しました。Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。



！ご注意

- Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。
- Officeは以下の手順でインストールします。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。
② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXE の実行]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[ユーザー設定]をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。
④ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから[マイ コンピューターからすべて実行]をクリックする。

⑤ [今すぐインストール]をクリックする。
インストールが開始されます。
⑥ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。
⑦ Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の[OK]をクリックする。
引き続き、画面の指示に従いOffice PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順②から⑥と同じ手順でインストールしてください。

リカバリーが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。
（108ページ）

リカバリー領域からリカバリーするには

1　本機の電源を入れる。

2　VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。

ブートオプション（Boot Options）を編集する画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
以降、リカバリーディスクを使ったリカバリーの手順3からの操作と同様です。

リカバリーが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。
（108ページ）

VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする

VAIO データレスキューツールとは

VAIO データレスキューツールは、Windowsが起動しなくなった場合にも、データのバックアップができるツールです。
データのレスキュー方法には以下の2種類があります。

- かんたんデータレスキュー
  ハードディスク上のレスキュー可能なデータをすべてレスキューし、外付けハードディスクに保存します。
- カスタムデータレスキュー
  指定したファイルのみをレスキューし、ハードディスクやリムーバブルメディア、CD ／ DVDなどのディスクに保存します。

VAIO データレスキューツール使用時のご注意

- レスキューデータの保管・管理には十分注意してください。
- VAIO データレスキューツールは、ハードディスク上のすべてのデータのバックアップを保障するものではありません。データの損失について弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクの暗号化機能を使用している場合は、暗号化機能を解除して使用してください。

レスキュー（バックアップ）するには

！ご注意

- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブでデータをレスキューする場合は、VAIO データレスキューツールを起動する前にドライブを接続してください。
- レスキューデータをCDやDVDに保存する場合は、あらかじめフォーマットされているディスクを使用してください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリーディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャー」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
ブートオプション（Boot Options）を編集する画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順3に進む。

2 矢印キーで「VAIO リカバリーセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

3 画面左側の［VAIO データレスキューツール］をクリックし、右側に表示された画面の［開始］をクリックする。

以降、表示される画面の指示に従って操作してください。

ヒント

レスキュー方法で、［カスタムデータレスキュー］を選択した場合、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

！ご注意

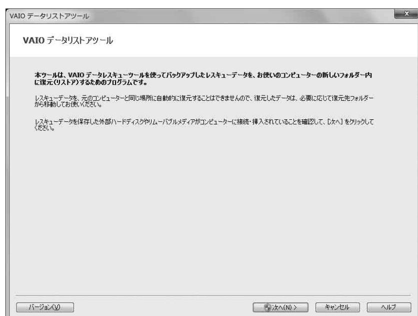
- VAIO データレスキューツールを使用中に64時間が経過すると、自動的に書き込みが中断され、本機が再起動します。
中断された作業を再開するには、再起動後再び上記の手順2から3の操作を行い、［中断した作業を再開する］チェックボックスにチェックを付けて、［次へ］をクリックしてください。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブは、データのレスキューが完了するまで取りはずさないでください。
- データをレスキューした場合、選択されたデータの保存先によって、ファイルが分割されたりリネームされている場合があるので、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしたデータは、VAIO データリストアツールを使って復元してください。
- VAIO データレスキューツールでは、データの保存先としてDVD-R DLはお使いになれません。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブはUSBまたはi.LINK接続のものをお使いください。

復元するには

レスキューデータを復元するにはVAIO データリストアツールを使います。
VAIO データリストアツールとレスキューデータの復元方法について詳しくは、VAIO データリストアツールのヘルプをご覧ください。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO データリストアツール］をクリックする。

「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。



2 内容を確認したら、［次へ］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

レスキューデータの検索画面が表示されます。

3 レスキューデータの検索先を選択し、［次へ］をクリックする。

レスキューデータが検索されます。

4 表示された一覧から復元するデータを選択し、［次へ］をクリックする。

ヒント

［内容の確認］をクリックすると、選択しているデータに含まれるフォルダーやファイルの一覧を確認することができます。

5 復元先のフォルダーを確認し、［次へ］をクリックする。

「復元方法の選択」画面が表示されます。

6 復元方法を選択して［次へ］をクリックする。

復元方法には以下の2種類があります。

- おまかせリストア
  メールデータや文書データなど、データの種類を選択して、まとめて復元します。
- ファイルを指定してリストア
  ファイルを個別に指定して復元します。

7 手順に従って進み、［開始］をクリックする。

復元作業が開始されます。
作業が完了すると、完了画面が表示されます。

8 続けて別のレスキューデータの復元をするには［最初の画面に戻る］を、復元を終了するには［終了］をクリックする。

！ご注意

音楽再生ソフトウェアで管理している音楽データや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど、著作権保護されているデータを復元するには、そのデータを取り込んだときに使用したソフトウェアの専用バックアップツールをお使いください。専用バックアップツールをお使いにならない場合は、著作権保護されているデータの動作保証はいたしません。

ヒント

復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダーから移動してお使いください。

困ったときはどうすればいいの？

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、次のいずれかの解決方法をお試しください。また、メッセージなどが表示されている場合は書き留めておいてください。お問い合わせのときに、必要になることがあります。

1 取扱説明書（本書）で調べる

「よくあるトラブルと解決方法」をご覧ください。（112ページ）

コンピューターが動作しないときは、まず取扱説明書（本書）をご覧ください。
コンピューターが動作するときは、より詳しい情報が掲載されている「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

ハードウェアの簡易診断について

ハードウェアを簡単にチェックするためのソフトウェアとして、ハードウェア診断ツールがインストールされています。起動するには、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO リカバリーセンター］をクリックして、表示された画面で［VAIO ハードウェア診断ツール］をクリックしてください。

2 電子マニュアルを調べる

取扱説明書（本書）より詳しい情報が掲載されている「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（141ページ）

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリックしてください。



「Windows ヘルプとサポート」をご覧ください。（143ページ）

「Windows ヘルプとサポートを見る」（143ページ）をご覧ください。

各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。（143ページ）

！ご注意

本マニュアルの「サービス・サポート」の記載内容は、2009年10月時点での情報（予定を含む）です。
内容は予告なく変更・終了する場合があります。ご了承ください。

3 VAIOサポートページで調べる

「VAIOサポートページで調べる」をご覧ください。（144ページ）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

インターネットに接続できるときは、「VAIOサポートページ」で、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報を調べられます。



4 電話で問い合わせる

1～3の方法でも問題が解決しない場合は、電話でお問い合わせください。（149ページ）

❑ VAIOの使いかたに関するお問い合わせ

VAIOに関する使いかたなどのお問い合わせは、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」で承ります。
電話番号や営業時間など詳しくは、「電話で問い合わせる」（149ページ）をご覧ください。

❑ ソフトウェアに関するお問い合わせ

本機に付属のソフトウェアの場合、VAIOサポートページの「付属ソフトウェアに関するお問い合わせ」をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/software.html
本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

よくあるトラブルと解決方法

Q&A一覧

この説明書に掲載されているQ&Aは以下になります。

電源／起動（116ページ）

- 電源が入らない（本機の⏻（電源）ランプが点灯しないとき）
- 電源を入れると、本機の⏻（電源）ランプは点灯するが、画面に何も表示されない
- 電源が切れない
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない
- ドライバーをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった
- スリープモードに移行できない

パスワード（119ページ）

- Windowsのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった
- パワーオン・パスワード（BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワード）を忘れてしまった
- Windowsのユーザーアカウントのパスワードを設定、変更したい。または削除して起動時にパスワードを入力しないようにしたい

画面／ディスプレイ（120ページ）

- 画面に何も表示されない
- 画面の色がきれいに表示されない
- 画面が固まって、ポインターやウィンドウなどすべてのものが動かない
- 画面の輝度（明るさ）を調整したい
- 画像が乱れる
- 画面にドット欠損（輝点・滅点）がある

文字入力／キーボード（122ページ）

- キーボードを押したとおりに文字が入力できない
- キーボードが使えない
- Caps Lock、Num Lkなどのキーが有効になっているかどうか知りたい

マウス（125ページ）

- マウスを動かしてもポインターが動かない
- マウスが使えない

ハードディスク(127ページ)

- 誤ってハードディスクを初期化してしまった
- ハードディスクの内容を誤って消してしまった
- ハードディスクの空き容量を知りたい
- ハードディスクから異音がする
- リカバリー領域の容量を知りたい

CD / DVD / BD(129ページ)

- ディスクの読み込み・再生ができない、ドライブがディスクを認識しない

インターネット(129ページ)

- インターネットに接続できない
- 無線LANが使えない

デジタル放送(地上デジタル+BS / 110度CSデジタルチューナー搭載モデル)(130ページ)

- 地上デジタル放送が受信できない/ときどき映らない/一部のチャンネルが映らない/画像が乱れる
- BSデジタル・110度CSデジタル放送が受信できない/ときどき映らない/一部のチャンネルが映らない/画像が乱れる
- デジタル放送の映像が映らない
- チャンネルボタンで選局できない
- デジタル放送のチャンネルが切り替わらない
- 番組表に表示されるデジタル放送の番組が少ない
- 検索をしたときに表示される番組数が少ない
- 音声が出ない/音声がおかしい
- メニューで選べない項目がある
- 「B-CASカードを読み取れません。カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターにお問い合わせください。」と表示される
- 「この番組はコピープロテクションにより録画できません」と表示される
- 録画が途中で終わっている
- 予約したのに録画されていない
- 以前録画した番組コンテンツがなくなっている
- 番組の詳細情報が表示されない
- CM情報が表示されない
- 店舗/商品情報が表示されない
- 正常に再生できない
- 再生画面に映像が表示されない、または「未対応のディスプレイに接続されています」と表示される
- ダイジェスト再生やカタログビューができない

- CM、店舗、商品の詳細情報をインターネットで検索できない
- 「競合する機能が起動されているため、表示を中止しています。」というメッセージが表示されてしまった

HDMI ／ VIDEO入力機能（HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル）（136ページ）

- HDMI ／ VIDEO機器の画面が表示されない
- ディスプレイ設定メニューで選択できる項目が少ない
- ⬆ ／ ⬇音量調節ボタンで音量調節ができない
- キーボードで音量が調節できない
- キーボードで輝度が調節できない
- コンピューター本体を表示できない
- HDMI ／ VIDEOランプが消えない
- コンピューター本体でHDMI ／ VIDEO機器の映像を取り込みたい
- DISPLAY OFFボタンを押すと、音声が消えてしまう
- コンピューター本体表示時にDISPLAY OFFボタンを押してディスプレイの表示を消しても、音声が消えない
- コンピューター本体の電源を切っている状態、またはスリープの状態で、HDMI ／ VIDEO機器の映像が表示されてしまう

外部機器からの録画（138ページ）

- DV（デジタルビデオ）機器の映像を録画する方法がわからない
- HDV機器からキャプチャーされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう
- HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

FeliCa（139ページ）

- FeliCa機能が使えない

内蔵カメラ（MOTION EYE）（140ページ）

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用中にスリープモードに移行すると、本機の動作が不安定になる

エラーメッセージ（140ページ）

- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

その他のQ&A

ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「VAIO 電子マニュアル」もあわせてご覧ください。

1　（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」画面が表示されます。



2　[Q&A集]をクリックする。

表示されたメニューから見たい項目をクリックして、各項目の情報をご覧ください。

電源／起動

Q 電源が入らない（本機の⏻（電源）ランプが点灯しないとき）

次の点を確認したうえで、それぞれの操作をしてください。

A 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
接続について詳しくは、「コンセントに接続する」（41ページ）をご覧ください。

A 電源コードのプラグが本機にしっかりと奥まで差し込まれているか確認してください。

A すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
接続について詳しくは、「接続する」（31ページ）をご覧ください。

A スイッチ付きテーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッチが入っているかどうか、また、テーブルタップのコードが壁の電源コンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。

A 電源コードやLANケーブルなど本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、電源を入れてください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源を入れると、本機の⏻（電源）ランプは点灯するが、画面に何も表示されない

A DISPLAY OFFランプがオレンジ色に点灯している場合は、DISPLAY OFFボタンを押して画面を表示させてください。
DISPLAY OFFランプやDISPLAY OFFボタンが点灯している間は画面は表示されません。DISPLAY OFFボタンを押し、DISPLAY OFFランプが消えていることを確認して、画面を表示させてください。
DISPLAY OFFランプやDISPLAY OFFボタンの場所について、詳しくは「各部の説明」（165ページ）をご覧ください。

A HDMI ／ VIDEOランプが点灯していないか確認してください。（HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル）
HDMI ／ VIDEOランプが点灯している間はHDMI ／ VIDEO入力を表示します。コンピューター本体表示をする場合は、INPUT SELECTボタンを押してください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻（電源）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（電源）ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻（電源）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（電源）ランプが消灯するのを確認したあと、電源コードやLANケーブルなど本機に接続されているケーブルなどをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、再度電源を入れ直す。

A USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

Q 電源が切れない

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認したうえで、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアをすべて終了してから、再び電源を切る操作をしてください。

A プリンターやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。
Windowsは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。

A 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認してください。

A （スタート）ボタンー［シャットダウン］をクリックしても電源が切れない場合は、Altキーを押しながらF4キーを数回押して「Windowsのシャットダウン」画面を表示させ、リストから［シャットダウン］を選択して［OK］をクリックしてください。

A 画面が固まったり、動かなくなった場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックしてください。
詳しくは、「画面が固まって、ポインターやウィンドウなどすべてのものが動かない」（121ページ）をご覧ください。

A 「設定を保存しています」または「シャットダウンしています」などと表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

② それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

A 「電源が切れない」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。

ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックする。
- 本機の⏻（電源）ボタンを4秒以上押したままにする。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A Windowsの準備をしようとすると「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示される場合、「Windowsのセットアップ」画面が表示される前に電源を切ってしまった可能性があります。「Windowsが起動しない状態でリカバリーするには」（105ページ）に従って、リカバリーを行ってください。

A 「Remove disks or other media, Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System Not Found」と表示される場合、フロッピーディスクやCD/DVDなどのディスク、ハードディスクやフラッシュメモリーなどの起動可能なUSB機器が接続されていないか確認してください。

起動可能なUSB機器が接続されている場合は、いったんUSB機器を取りはずしてから、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリー機能や自作のリカバリーディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリーしてください。

詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた]－[ハードディスク]－[パーティションサイズの変更について]をクリックする。）

A 「Checking file system on C:」と表示される場合、起動するまでしばらくお待ちください。

A 「Windows Error Recovery」と表示される場合、「Start Windows Normally」が選択されていることを確認し、Enterキーを押してください。

Q ドライバーをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった

A 次の手順に従ってSafe（セーフ）モードで起動し、ドライバーを再インストールしてください。

① 本機の⏻（電源）ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF8キーを押す。

② 「詳細ブート オプション」が表示されたら、↑／Pg Upキーまたは↓／Pg Dnキーを押して［セーフ モード］を選択し、Enterキーを押す。

③ Windowsが起動したら、（スタート）ボタン－［コントロール パネル］－［システムとセキュリティ］－［デバイスマネージャー］をクリックする。

④ 「デバイスマネージャー」画面で、インストールやアップデートをしたデバイスを選択し、右クリックすると表示されるリストの［プロパティ］をクリックしてプロパティー画面を表示し、［ドライバー］タブをクリックする。

⑤ ［ドライバーを元に戻す］をクリックし、正常に起動していたときのドライバーをインストールする。

⑥ 本機を通常の起動方法で再起動する。

Q スリープモードに移行できない

A プリンターユーティリティーなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にしてください。

A スクリーンセーバーの種類によっては、表示中はスリープモードに移行できないことがあります。
「3D テキスト」など、Windows標準のスクリーンセーバーに変更してください。

パスワード

Q Windowsのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピューターの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー（Administratorsに属するユーザー）が作成されている場合、別の「コンピューターの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピューターの管理者」アカウントなど、管理者権限を持つユーザーが作成されていない場合、パスワード設定を解除することはできません。「リカバリーする」(104ページ)の手順に従って、リカバリーを行ってください。

Q パワーオン・パスワード(BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワード)を忘れてしまった

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Q Windowsのユーザーアカウントのパスワードを設定、変更したい。または削除して起動時にパスワードを入力しないようにしたい

A 詳しくは「Windowsパスワードを設定する」(95ページ)をご覧ください。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない

A 次の点をお確かめください。

- 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
  接続について詳しくは「コンセントに接続する」(41ページ)をご覧ください。
- 本機の電源が入っているか確認してください。
- DISPLAY OFFランプが点灯していないか確認してください。
  DISPLAY OFFランプやDISPLAY OFFボタンが点灯している間は画面は表示されません。
  DISPLAY OFFボタンを押し、DISPLAY OFFランプが消えていることを確認して、画面を表示してください。
  DISPLAY OFFランプやDISPLAY OFFボタンの場所について、詳しくは「各部の説明」(165ページ)をご覧ください。
- HDMI ／ VIDEOランプが点灯していないか確認してください。(HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル)
  HDMI ／ VIDEOランプが点灯している間はHDMI ／ VIDEO入力を表示します。コンピューター本体表示をする場合は、INPUT SELECTボタンを押してください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻（電源）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（電源）ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻（電源）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（電源）ランプが消灯するのを確認したあと、電源コードをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

Q 画面の色がきれいに表示されない

A 画面の色数の設定が［True Color（32ビット）］になっているか確認してください。
詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［コンピューター本体の使いかた］－［画面／ディスプレイ］－［画面の解像度／色数を変更する］をクリックする。）

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。

（スタート）ボタン－［シャットダウン］をクリックして電源を切り、本機の⏻（電源）ボタンを押して起動し直してください。

A 画像を扱うソフトウェアによっては、画面の色合いの設定を勝手に変更してしまうものがあります。
画面の色補正設定を無効にするか、ソフトウェアの画面設定の項目を無効にしてください。
詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［コンピューター本体の使いかた］－［画面／ディスプレイ］－［画面の色補正を設定する］をクリックする。）

Q 画面が固まって、ポインターやウィンドウなどすべてのものが動かない

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、［タスクマネージャーの起動］をクリックする。
「Windowsタスクマネージャー」画面が表示されます。
「Windowsタスクマネージャー」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、［タスクの終了］をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻（電源）ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻（電源）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。 電源が切れると⏻（電源）ランプが消灯します。 ⏻（電源）ランプがオレンジ色に点灯した場合は、いったん手を離し、再び⏻（電源）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

！ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面の輝度（明るさ）を調整したい

A Fnキーを押しながらF5キーまたはF6キーを押すと、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。

Q 画像が乱れる

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、本機から離してください。

Q 画面にドット欠損（輝点・滅点）がある

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です）。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

文字入力／キーボード

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない

A 数字キーで数字が入力できない場合は、通知領域の（ナムロック）のアイコンが灰色で表示されていないか確認してください。
灰色で表示されているときは、数字キーは矢印キーやコレクションキーと同じ働きをします。Num Lkキーを押して、（ナムロック）のアイコンを緑色にさせてから数字を入力してください。

A 入力モードを確認してください。
日本語入力モードと英字入力モードがあります。
言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、



英字入力モードのときは「A」になっています。

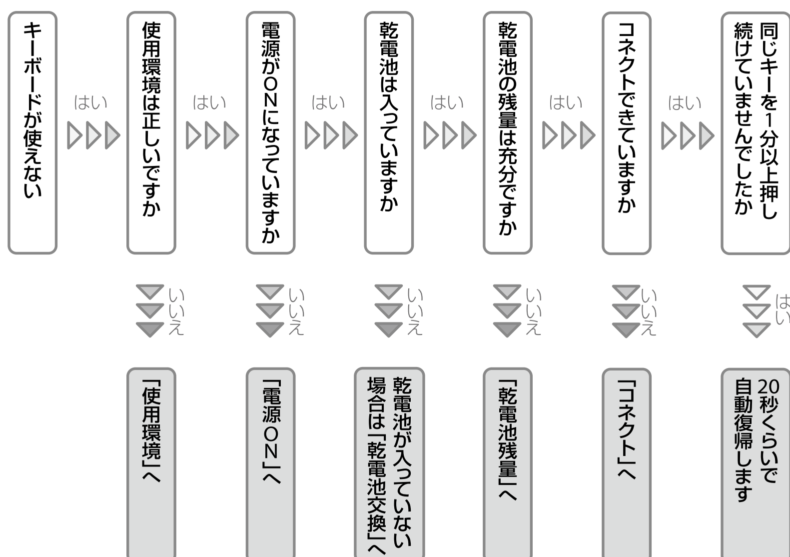


日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角|漢字キーで切り換えられます。

A 「Caps Lock」ランプが点灯していないか確認してください。
「Caps Lock」ランプが点灯していると、Shiftキーを押していないときでも大文字が入力されます。
Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押して、「Caps Lock」ランプが消えているのを確認してください。

Q キーボードが使えない

A キーボードが使えないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上、それぞれの操作をしてください。



- **使用環境**
  本機とキーボードの距離は約10m以内でご使用ください。キーボードの近くに金属があると、FeliCaカードとの通信に影響を与えることがあります。
  キーボードは2.4GHz帯の電波を使用しています。無線LANなど同じ2.4GHz帯の電波を使用する無線機器を近くでお使いになると、正常に動作しないことがあります。

!ご注意

本体とキーボードを近距離（10cm以内）で使用すると、通信に影響を及ぼし、キー入力やFeliCa通信が不安定になることがあります。キーボードを金属から離し、本体との距離を離す（15cm以上）ことをおすすめします。

- **電源ON**
  本機に付属のキーボードは、乾電池の消耗を抑えるために電源スイッチが付いています。本機を長時間使用しない場合は、電源をオフにすることをおすすめします。また、ご使用の際には必ずオンになっていることをご確認ください。
- **乾電池交換**
  「キーボードを準備する」（41ページ）をご覧ください。

!ご注意

- 乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。
- 残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。

- **乾電池残量**
  キーボードの乾電池の残量が充分かどうかは、キーボードにあるローバッテリーランプで確認できます。
- **コネクト**
  本機とキーボードのコネクトができていない可能性があります。
  キーボードのFnキーを1度押して、キーボードの Ψ（コネクト）ランプがゆっくり点滅する場合は、コネクトされていないので、次の手順で再度コネクトをし直してください。
  ① キーボードの電源スイッチがONになっているか確認する。
  ② キーボードのCONNECT（コネクト）ボタンを押す。
  キーボードの Ψ（コネクト）ランプがすばやく点滅します。
  ③ キーボードの Ψ（コネクト）ランプがすばやく点滅している間に、本機のCONNECT（コネクト）ボタンを押す。
  コネクトが完了すると Ψ（コネクト）ランプが消灯します。

Q Caps Lock、Num Lkなどのキーが有効になっているかどうか知りたい

A それぞれ以下の方法で確認できます。

- Caps Lock（キャプスロック）
  キーボードの（キャプスロック）ランプが点灯している。
- Num Lk（ナムロック）
  通知領域の（ナムロック）のアイコンが緑色で表示されている。
- Scr Lk（スクロールロック）
  通知領域の（スクロールロック）のアイコンが緑色で表示されている。

ヒント

(ナムロック)のアイコンと(スクロールロック)のアイコンを常にデスクトップ画面右下の通知領域に表示させるには、以下のように設定します。

① デスクトップ画面右下の通知領域のをクリックして、「カスタマイズ...」をクリックする。
「タスクバーに表示するアイコンと通知の選択」画面が表示されます。
② (ナムロック)のアイコンもしくは(スクロールロック)のアイコンの動作を「アイコンと通知を表示」に変更する。

マウス

Q マウスを動かしてもポインターが動かない

A 「マウスが使えない」(126ページ)を確認してください。

A 次の手順で本機の電源を入れ直してください。

① (Windows)キーを押してスタートメニューを表示させ、→キーを押して[シャットダウン]を選択し、Enterキーを押す。
② 電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻(電源)ボタンを押す。

それでも電源が切れないまたは再起動しない場合は、次の手順で操作してください。

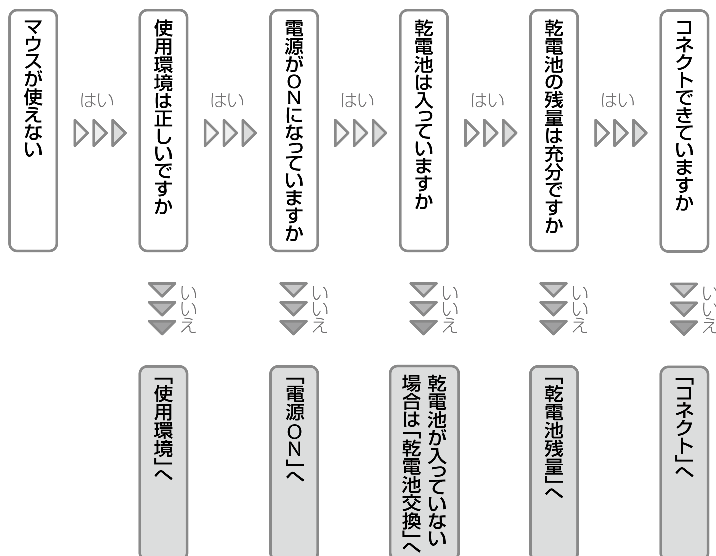
① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、↓キーや→キーを押して(シャットダウン)ボタンを選び、Enterキーを押す。

A CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどに、ポインターが動かなくなってしまった場合は、本機を再起動してください。
CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、CD-ROMなどのディスクを再生しているソフトウェアを強制的に終わらせ、本機を再起動させてください。

A 「画面が固まって、ポインターやウィンドウなどすべてのものが動かない」(121ページ)をご覧ください。

Q マウスが使えない

A マウスが使えないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。



- **使用環境**
  本機とマウスの距離は約10m以内でご使用ください。
- **電源ON**
  本機に付属のマウスは、乾電池の消耗を抑えるために電源スイッチが付いています。
  本機を長時間使用しない場合は、電源をオフにすることをおすすめします。また、ご使用の際には必ずオンになっていることをご確認ください。
- **乾電池交換**
  「マウスを準備する」(43ページ)をご覧ください。

！ご注意

- 乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。
- 残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。

- **乾電池残量**
  マウスの乾電池の残量が充分かどうかは、マウスの表面にあるローバッテリーランプで確認できます。マウスの乾電池の残量が充分でない場合は、ローバッテリーランプが点滅します。

- **コネクト**

  本機とマウスのコネクトができていない可能性があります。次の手順で再度コネクトをし直してください。

  ① マウスの電源スイッチがONになっているか確認する。

  ② マウスのCONNECT(コネクト)ボタンを押す。

  ③ マウスのCONNECT(コネクト)ボタンを押したあと、10秒以内に本機のCONNECT(コネクト)ボタンを押す。

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。
ハードディスク内のリカバリー機能や、ご自分で作成したリカバリーディスクを使って、本機をリカバリーする必要があります(104ページ)。

Q ハードディスクの内容を誤って消してしまった

A 削除したファイルが、「ごみ箱」の中に残っていないか確かめてください。
「ごみ箱」の中にない場合は、ファイルを復元できません。

A Windowsが正常に動作しなくなった場合は、本機をリカバリーする必要があります(104ページ)。

Q ハードディスクの空き容量を知りたい

A (スタート)ボタン－[コンピューター]をクリックしてください。
「コンピューター」画面が表示され、空き容量が確認できます。

Q ハードディスクから異音がする

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。

これは正常な処理であり、故障ではありません。

ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。

ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システム ツール]－[ディスク デフラグ ツール]をクリックする。

「ディスク デフラグ ツール」画面が表示されます。

② 最適化するドライブを選択し、[ディスクの最適化]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

最適化(デフラグ)が開始されます。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。

これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

Q リカバリー領域の容量を知りたい

A 次の手順で確認してください。

① (スタート)ボタンをクリックし、[コンピューター]を右クリックして[管理]をクリックする。

「コンピューターの管理」画面が表示されます。

② [記憶域]の[ディスクの管理]をクリックする。

ディスク 0にリカバリー領域とC ドライブのサイズが表示されます。

ヒント

表示される数値は、1GBを10億バイトで計算した場合のものです。Windowsのシステムでは1GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。

CD ／ DVD ／ BD

Q ディスクの読み込み・再生ができない、ドライブがディスクを認識しない

A 本機で使用可能なディスクか確認してください（187ページ）。

A ディスクが正しくドライブに入っているか確認してください。
ディスクは文字が書いてある面を手前に向けて入れてください。
ディスクの入れかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［コンピューター本体の使いかた］－［CD ／ DVD ／ BD］－［ディスクを入れる／取り出す］をクリックする。）

A ディスクに汚れや傷がないか確認してください。

A 本機での動作を保証しているドライブかどうか確認してください。
本機での動作を保証しているドライブは、以下になります。

- お買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのVAIO専用ドライブ

A 後からインストールしたディスクの再生・書き込みソフトウェアを削除してください。
お買い上げ時にプリインストールされているソフトウェア以外のディスク再生・書き込みソフトウェアなどを追加でインストールしている場合、正常にディスクが認識されないことやディスクに書き込めないことがあります。
この場合は、追加したソフトウェアを一度削除（アンインストール）してご確認ください。削除の方法は、ソフトウェアのヘルプまたはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

A CPRM（著作権保護機能）対応のDVDを再生するには、WinDVD CPRM Packをインストールする必要があります。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［ソフトウェアの使いかた］－［WinDVD］－［DVDなどのディスクを見る］をクリックする。）

インターネット

Q インターネットに接続できない

A プロバイダーとの契約を確認してください。
インターネット接続するには、プロバイダーと契約する必要があります（87ページ）。

A 機器の接続や設定を確認してください。
契約したプロバイダーにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダーから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。
本機とLANケーブルの接続について詳しくは、「インターネット接続用機器につなぐ」(32ページ)をご覧ください。

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([Q&A集]－[インターネット]で[インターネット接続]または[ホームページ]をクリックする。)

Q 無線LANが使えない

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([Q&A集]－[コンピューター本体]－[LAN／無線LAN]をクリックする。)

デジタル放送(地上デジタル＋BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル)

Q 地上デジタル放送が受信できない／ときどき映らない／一部のチャンネルが映らない／画像が乱れる。

A 地上デジタルのアンテナ端子に、地上デジタルに対応したUHFアンテナのアンテナ線をしっかりつないでください。

A 地上デジタルのUHFアンテナの位置・方向・角度を調整してください。

A ケーブルテレビによる地上デジタル放送の再送信の場合は、対応した方式か確認してください。
本機は同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式に対応しています。
トランスモジュレーション方式には対応していません。

A ご使用の地上デジタルアンテナの受信状況が良好か確認してください。
以下を確認してください。
- 一般のテレビに接続して受信できるか?
- 分配器を使用している場合は、分岐前のケーブルを接続して受信できるかどうか?

アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。
この場合は、別売りのアンテナブースターをご使用ください。

A 電波が強すぎたり、弱すぎたりする場合があります。
アッテネーターの設定により、正常に映ることがあります。
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[受信設定]をクリックし、画面右側に表示された「地上アッテネーターの設定」の設定を変更後、[適用]をクリックしてください。

A 地上デジタルのチャンネルスキャンを行ってください。
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[受信設定]をクリックし、画面右側に表示された[初期スキャン]をクリックしてください。

A 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。

Q BSデジタル・110度CSデジタル放送が受信できない/ときどき映らない/一部のチャンネルが映らない/画像が乱れる。

A BSデジタル・110度CSデジタルのアンテナ端子に、衛星アンテナのアンテナ線をしっかりつないでください。
アンテナや分配器、分波器、ブースターなどが、BSデジタル・110度CSデジタルに対応していないと受信できません。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。

A 衛星放送のチャンネルのアンテナレベルを確認しながら、衛星アンテナの位置・方向・角度を調整してください。
アンテナレベルの表示を確認するには、「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[受信設定]をクリックし、画面右側に表示された[アンテナレベルを表示]をクリックしてください。
衛星放送のチャンネルは、BS1 ～ BS23、ND2 ～ ND24です。

A 衛星アンテナの前方に障害物がないか確認してください。
強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。

A 衛星アンテナの電源設定を、正しく設定してください。
衛星アンテナへ電源供給する場合は、衛星アンテナ電源の設定を[入]に設定してください。
マンションなどの共同受信システムの場合は、[切]に設定してください。
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[衛星アンテナ電源]をクリックし、画面右側に表示された「衛星アンテナ電源の設定」を正しく設定し、適用してください。

A 有料のBSデジタルや110度CSデジタルのチャンネルの場合、受信契約(加入申し込み)を行い、受信契約をしたB-CASカードを入れてください。

A 雨や雪が降ると映りが悪くなることがあります。
また、お住まいの地域が晴れていても、送信する放送衛星会社の地域で雨や雪が降っていると映りが悪くなることがあります。天候の回復をお待ちください。

A ご使用の衛星デジタルアンテナの受信状況が良好か確認してください。
以下を確認してください。

- 一般のテレビに接続して受信できるか?
- 分配器を使用している場合は、分岐前のケーブルを接続して受信できるかどうか?

アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。
この場合は、別売りのアンテナブースターをご使用ください。

A 電波が強すぎたり、弱すぎたりする場合があります。
アッテネーターの設定により、正常に映ることがあります。
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[受信設定]をクリックし、画面右側に表示された「衛星アッテネーターの設定」の設定を変更後、[適用]をクリックしてください。

A 降雨対応放送の場合は、画質や音質が通常放送に比べ低下した状態で受信します。

A 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。

Q デジタル放送の映像が映らない。

A B-CASカードが正しい向きで挿入されているか確認してください。
有料放送の場合、受信契約をしたB-CASカードを入れてください。

A 放送休止中の番組やチャンネルではないかを確認してください。

Q チャンネルボタンで選局できない。

A 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを起動してください。
それでも選局できない場合は、チャンネルスキャンを行ってください。

A リモコンの数字ボタンに割り当てるチャンネルを設定してください。
チャンネル設定は、「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[視聴]-[チャンネル一覧]をクリックし、画面右側に表示された設定エリアで行ってください。

Q デジタル放送のチャンネルが切り替わらない。

A 録画実行中はチャンネルを切り換えられないことがあります。

Q 番組表に表示されるデジタル放送の番組が少ない。

A 視聴中の放送局以外の番組情報を取得できないことがあります。
「番組情報自動取得」を設定しておけば、自動的に番組情報を取得します。
番組情報自動取得は、「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から［視聴］をクリックし、画面右側に表示された「番組情報自動取得」で設定してください。

A お買い上げ時や長時間コンピューターを起動していなかった場合など、番組情報が取得されていない場合があります。
番組表を表示しているときに［更新］を選択して、番組情報を取得し直してください。

Q 検索をしたときに表示される番組数が少ない。

A お買い上げ時、または長時間電源コードを抜いた状態のときは、次に電源を入れたあとは、番組表に表示される番組が少ないことがあります。
休止状態、電源オフ状態では、放送局が送信する番組情報をデータ取得できないためです。

Q 音声が出ない／音声がおかしい。

A 消音の設定になっていないか確認してください。

A 二か国語放送などで、副音声や第2音声になっていないか確認してください。

A 音量を確認してください。

A Bluetoothヘッドホンおよびスピーカーや USBオーディオ機器から音声は出力されません。

Q メニューで選べない項目がある。

A 灰色表示されている項目は選べません。
お使いの状態によっては、選べない場合があります。

Q 「B-CASカードを読み取れません。カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターにお問い合わせください。」と表示される。

A B-CASカードが奥までしっかり入っているか、入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度正しい向きで入れ直してください。

A B-CASカードが破損している可能性があります。
B-CASカードが破損している場合は、ご覧になっているデジタル放送の放送局またはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。

Q 「この番組はコピープロテクションにより録画できません」と表示される。

A 録画できない番組です。

Q 録画が途中で終わっている。

A ハードディスクの残量がなくなると、録画が途中で停止します。
不要なコンテンツを削除してハードディスクの空き容量を増やしてください。

Q 予約したのに録画されていない。

A 次の場合は、予約録画は正常に行われないことがあります。

- 録画中に停電があった
- 録画開始時刻にコンピューターの電源が切れていた
- 録画中にコンピューターの電源を切るか、スリープまたは休止状態にしてしまった
- 電源プランの設定で、スリープ解除タイマーの許可が無効になっている
- 予約を削除してしまった
- 予約時間の間近にコンピューターの時計を操作した
- 著作権が保護されている番組を録画した
- コンピューターの日付や時刻が正しく設定されていない
- B-CASカードが挿入されていなかった

A 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアやiCommandで正常に録画予約が行われても、ハードディスクの残量が少ない場合は録画が行われないことがあります。

Q 以前録画した番組コンテンツがなくなっている。

A 録画を予約した際に設定した自動削除禁止期間を過ぎたコンテンツは、保存先に指定されたドライブの空き容量が不足した場合に自動的に削除されます。

Q 番組の詳細情報が表示されない。

A 録画状況などにより、放送波から番組の詳細情報が取得できなかった場合などは表示されないことがあります。

Q CM情報が表示されない。

A 新しいCMなどは、すぐに情報が提供されていないことがあります。

Q 店舗/商品情報が表示されない。

A 新しい店舗や商品などは、すぐに情報が提供されていないことがあります。

A お住まいの地域によっては、店舗/商品情報が提供されない場合があります。

Q 正常に再生できない。

A ビデオ録画時に負荷が高くなりすぎたなど、録画時に問題があった可能性があります。

Q 再生画面に映像が表示されない、または「未対応のディスプレイに接続されています」と表示される。

A 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを使用中にコンピューターをスリープ状態にすると、スリープから復帰させた後は再生画面に映像が表示されないことがあります。
その場合は、再生画面を一度終了させ、再度起動してから再生し直してください。

A アナログディスプレイやHDCP規格非対応など、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアがサポートしていないディスプレイに接続されている可能性があります。
再生画面を一度終了させ、サポートしていないディスプレイを本機から取りはずしてから、再度再生画面を起動して再生をし直してください。

A 外部ディスプレイでの再生は、拡張モードのみに対応しています。
再生画面を一度終了させ、外部ディスプレイの設定を拡張モードに変更してから、再度再生画面を起動して再生をし直してください。

Q ダイジェスト再生やカタログビューができない。

A ダイジェスト再生、カタログビューは、VAIO 解析マネージャーでコンテンツ解析が完了しないと利用することができません。
VAIO 解析マネージャーでのコンテンツ解析について詳しくは、VAIO 解析マネージャーのヘルプをご覧ください。

A ダイジェスト再生は、VAIO 解析マネージャーで設定されている番組に対応しています。詳しくは、VAIO 解析マネージャーのヘルプをご覧ください。

Q CM、店舗、商品の詳細情報をインターネットで検索できない。

A インターネットの接続設定を確認してください。

Q 「競合する機能が起動されているため、表示を中止しています。」というメッセージが表示されてしまった。

A 編集中、書き出し中、およびチャンネルスキャン中は、テレビの視聴やビデオの再生はできません。

HDMI ／ VIDEO入力機能（HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル）

Q HDMI ／ VIDEO機器の画面が表示されない

A INPUT SELECTボタンやHDMI ／ VIDEOランプが緑色に点灯しているか確認してください。INPUT SELECTボタンやHDMI ／ VIDEOランプが緑色に点灯していない場合は、INPUT SELECTボタンを押してください。

A HDMI ／ VIDEO機器の電源が入っているか確認してください。

A ケーブルが本機とHDMI ／ VIDEO機器にしっかり接続されているか確認してください。

A DISPLAY OFFランプが点灯していないか確認してください。
DISPLAY OFFランプが点灯している間は画面は表示されません。
DISPLAY OFFランプが点灯している場合は、DISPLAY OFFボタンを押して、DISPLAY OFFランプを消灯させてください。

Q ディスプレイ設定メニューで選択できる項目が少ない

A コンピューター本体表示時は、設定できる項目が限定されます。HDMI ／ VIDEO入力に切り換えて、再度MENU（メニュー）ボタンを押してください。

Q ⬆／⬇音量調節ボタンで音量調節ができない

A コンピューター本体表示時は⬆／⬇音量調節ボタンで音量を調節できません。HDMI／VIDEO入力に切り換えてください。

Q キーボードで音量が調節できない

A HDMI／VIDEO入力時は、キーボードでHDMI／VIDEO機器の音量を調節することはできません。
本機右側面の⬆／⬇音量調節ボタンで音量を調節してください。

Q キーボードで輝度が調節できない

A HDMI／VIDEO入力時は、キーボードでディスプレイの輝度を調節することはできません。HDMI／VIDEO入力時にMENU（メニュー）ボタンを押して表示されるメニュー画面から設定してください。

Q コンピューター本体を表示できない

A INPUT SELECTボタンを押してください。

A コンピューター本体が起動しているか確認してください。

Q HDMI／VIDEOランプが消えない

A INPUT SELECTボタンを押してください。
HDMI／VIDEO機器の電源が入っている場合は、HDMI／VIDEO機器の電源を切ってください。

Q コンピューター本体でHDMI／VIDEO機器の映像を取り込みたい

A HDMI／VIDEO機器の映像を取り込むことはできません。

Q DISPLAY OFFボタンを押すと、音声が消えてしまう

A HDMI／VIDEO入力時にDISPLAY OFFボタンでディスプレイの表示を消すと音声も消えます。

Q コンピューター本体表示時にDISPLAY OFFボタンを押してディスプレイの表示を消しても、音声が消えない

A コンピューター本体表示時は、DISPLAY OFFボタンでディスプレイの表示を消しても、音声は消えません。
HDMI ／ VIDEO入力時はディスプレイ表示と音声の両方が消えます。

Q コンピューター本体の電源を切っている状態、またはスリープの状態で、HDMI ／ VIDEO機器の映像が表示されてしまう

A HDMI ／ VIDEO入力機能は、コンピューター本体の電源状態とは関係なく動作させることができます。
HDMI ／ VIDEO機器の表示を消すには、HDMI INPUT端子またはVIDEO INPUT端子に接続したHDMI ／ VIDEO機器の電源を切るか、DISPLAY OFFボタンを押します。

外部機器からの録画

Q DV（デジタルビデオ）機器の映像を録画する方法がわからない

A 「Click to Disc」ソフトウェアを使ってハードディスクへ映像を取り込むことができます。
また、DV機器の映像から直接DVDを作成することができます。

Q HDV機器からキャプチャーされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう

A シーンの途中に録画の開始点、終了点がないことを確認してください。

A HDV機器のヘッドが汚れています。
クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A コンピューターの設定を確認してください。
お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Q HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

A HDV機器のヘッドが汚れています。
クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A コンピューターの設定を確認してください。
お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

FeliCa

Q FeliCa機能が使えない

A FeliCaカード／携帯電話の位置を確認してください。

本機の (FeliCaプラットフォームマーク)に合わせて置いてください。
それでも反応しない場合は、カードを数ミリ移動させるか、数ミリ浮かせてください。

!ご注意

携帯電話の形状によっては、FeliCa通信できないことがあります。

A FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)などに不具合がある可能性があります。
「FeliCaポート自己診断」ツールを使用して不具合があるかどうか確認します。

① 通知領域にある (オン)を右クリックして表示されたメニューから[ポーリングの停止]を選択する。

② (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[FeliCaポート]ー[FeliCaポート自己診断]をクリックする。

③ 画面に表示された内容を確認し、[次へ]をクリックする。
診断が開始され、結果が表示されます。
FeliCaポートに不具合があった場合は、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。
また、お手持ちのFeliCaカードに不具合があった場合は、FeliCaカード発行者にお問い合わせください。

A 通知領域のアイコンが (オン)になっているか確認してください。

(オン)になっていない場合は、 (オフ)を右クリックして表示されたメニューから[ポーリングの開始]を選択ください。

または、 (オフ)をクリックしてもオンにすることができます。

A FeliCaカードが滑って正しい位置に置かれていない場合があります。

同梱のすべり止めシートを (FeliCaプラットフォームマーク)に合わせて貼り付けてください。カードが滑りにくく、簡単に置けるようになります。

詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([コンピューター本体の使いかた]ー[FeliCa]ー[FeliCaカードを使う]をクリックする。)

内蔵カメラ(MOTION EYE)

Q 内蔵カメラ(MOTION EYE)を使用中にスリープモードに移行すると、本機の動作が不安定になる

A 内蔵カメラ(MOTION EYE)または外付けUSBカメラの使用中には、スリープモードに移行させないでください。

A 自動的にスリープモードに移行してしまう場合は、設定を変更してください。詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([コンピューター本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[電源オプションを変更する]をクリックする。)

エラーメッセージ

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 「電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない」(118ページ)を確認してください。

VAIO内の情報を調べる

「VAIO 電子マニュアル」で検索する

「VAIO 電子マニュアル」では、取扱説明書(本書)より詳しい情報を掲載しています。
「VAIO 電子マニュアル」を起動して、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。
検索機能を使うと、「VAIO 電子マニュアル」の情報だけでなく、付属ソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネット接続時はVAIOサポートページからも情報を検索できます。

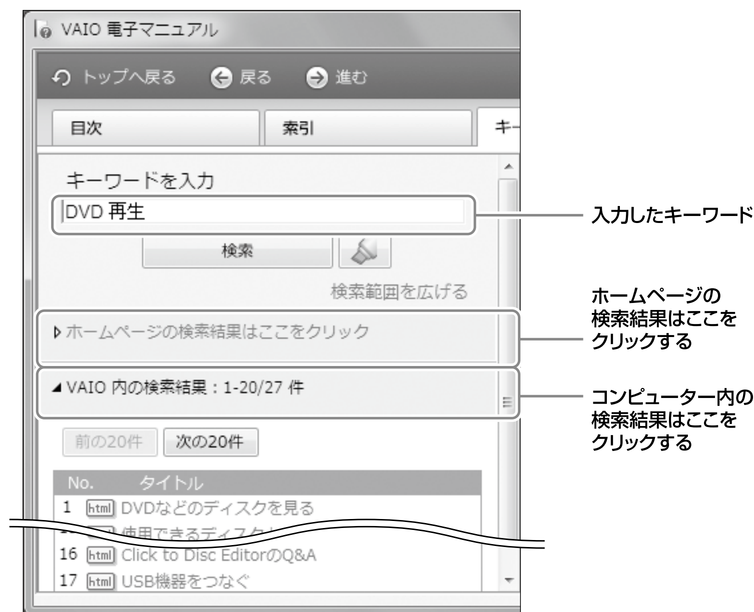
1 **(スタート)ボタン-[すべてのプログラム]-[VAIO 電子マニュアル]をクリックする。**

「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

2 **トップページまたは「キーワード検索」ページの検索窓に、調べたいキーワード(単語)を入力し、[検索]をクリックする。**

画面左側に検索結果が表示されます。

入力欄に複数のキーワード(単語)をスペースで区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。
(例：DVD　再生)



[次の20件]をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
[前の20件]をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」やヘルプのトピックは、画面右側に表示されます。
VAIOサポートページの内容は別画面で表示されます。



Windows ヘルプとサポートを見る

（スタート）ボタン－［ヘルプとサポート］をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と、各種サポートツールを実行できます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。
また、「VAIO 電子マニュアル」の［ソフトウェアの使いかた］－［ソフト紹介／問い合わせ先］－［付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先］の表にあるソフトウェア名をクリックして表示される画面には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

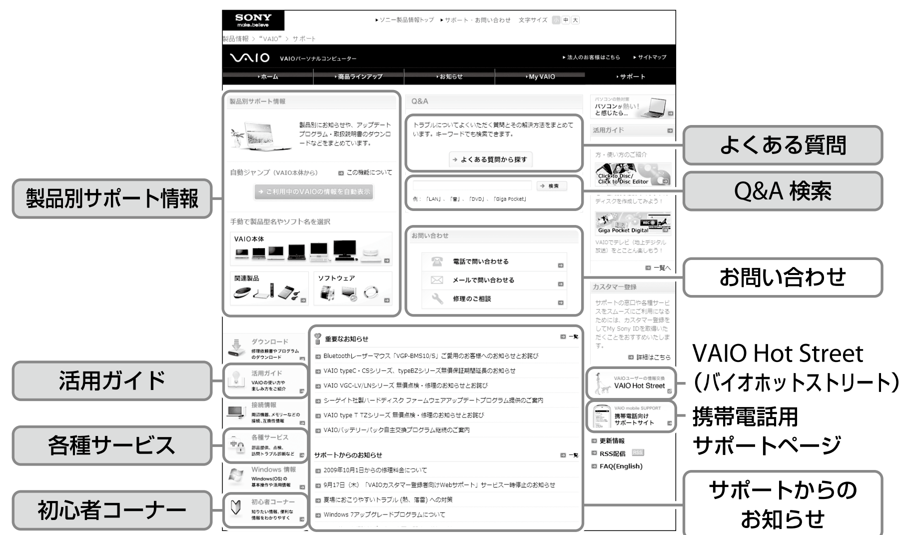
ヒント
ヘルプとは、ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

VAIOサポートページで調べる

VAIOサポートページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

トラブルの解決方法を豊富な事例から調べることができます。セキュリティーの最新情報やアップデートプログラムなど、VAIOを快適に使うための情報も提供しています。

!ご注意
VAIOサポートページの構成やデザインなどの内容は、2009年10月現在のものです。内容は随時更新されます。



各項目について、詳しくは145ページ～ 148ページをご覧ください。

VAIOサポートページを見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Internet Explorer]をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、(お気に入りセンター)から[VAIOサポートページ]－[1 トップページ(トラブル解決・使い方情報)]をクリックして表示します。

＜製品別サポート情報＞

お知らせやアップデートプログラムなどを掲載しているページです。お客様がお持ちのVAIOに関する情報のみに絞り込んで閲覧することができます。

自動ジャンプ（VAIO本体から）

➜ ご利用中のVAIOの情報を自動表示





ヒント

VAIOサポートページ内の［自動ジャンプ］ボタンや［ご利用中のVAIOの情報を自動表示］ボタンを押すと、製品別サポート情報にワンクリックでアクセスできます。

＜よくある質問＞

画面について、キーボードについて、テレビ視聴について、特定のソフトウェアについてなど、カテゴリー別にまとめています。

＜Q&A検索＞

トラブルの解決方法をキーワードで検索して調べることができます。

ヒント

うまく検索できない場合は、入力するキーワードを別の言葉に置き換えて再度お試しください。また、検索画面に書かれている注意点をご確認ください。

＜活用ガイド＞

VAIOならではの活用方法やオリジナルソフトウェアの操作方法、お役立ち情報などをご紹介しています。

＜各種サービス＞

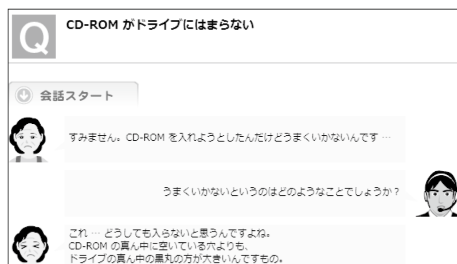
VAIOをさらに役立てる、便利に使うためのサービスや、設置設定、点検サービスなどをご案内しています。有料のサービスにつきましては、詳しくは「各種有料サービスのご案内」（162ページ）をご覧ください。

※一部のサービスでは、VAIOのカスタマー登録を行ったMy Sony IDが必要です。

<初心者コーナー>

初心者・初級者の方が知りたい情報をイラストを交え、わかりやすくご紹介しています。





VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話用VAIOサポートページ）

最新のサポート情報を携帯電話からご覧いただけます。VAIO本体からVAIOサポートページを閲覧できないときや、ソニーでお預かりしているVAIOの修理状況を確認したいときなどにご利用ください。

！ご注意

- 修理状況の確認は、VAIOカスタマーリンクへ直接修理を依頼された場合にのみご利用いただけます。
詳しくは、「「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について」（158ページ）をご覧ください。
- 対応端末は、i-mode、EZweb、Yahoo!ケータイです。

❑ メニュー

- お知らせ
  - 重要なお知らせ
  - ウイルス・ワーム情報
  - マイクロソフト・セキュリティ情報
- Q&A
  - よくある質問
  - 初心者コーナー
- サポート系コンテンツ
  - VAIOの修理について
  - VAIO Hot Streetモバイル
- お楽しみコンテンツ
  - お楽しみリンク集

❑ アクセス方法

- URLからアクセス
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/
- QRコードからアクセス



（バーコード（QRコード）読み取り対応機種のみ）



本機をセットアップする
ソフトウェアを使ってみよう
HDMI／VIDEO入力機能
インターネット／メール
セキュリティー
増設／バックアップ／リカバリー
困ったときは／サービス・サポート
各部名称／注意事項

VAIO Hot Street（VAIOユーザーの情報交換サイト）

VAIOをお持ちのお客様同士で、さまざまな活用情報を交換できるサイトです。
わからないことを質問しあったり、VAIOに関する意見や情報を投稿することができます。
自分は投稿せずに閲覧するだけという使いかたもできます。

!ご注意

- 閲覧以外のご利用には、VAIOカスタマー登録を行っていただいた際に発行するMy Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。
- 投稿内容に関して、ソニーは一切保証いたしません。

ヒント

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Internet Explorer］をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、（お気に入りセンター）から［VAIOサポートページ］－［3 VAIO Hot Street（情報投稿サイト）］をクリックして表示することもできます。

投稿を見る
VAIOの製品型名やキーワードなど、お好きな方法で投稿を簡単に探せます。

投稿・質問する
質問や投稿はこちらからお気軽に。



人気投稿ランキング

電話で問い合わせる

使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」では、VAIOに関する技術的なお問い合わせを電話で承っております。

「使い方相談窓口」のご利用について

「使い方相談窓口」は、VAIOをご購入された日から1年間は無料でご利用いただけます（VAIOカスタマー登録が必要）。2年目以降のお客様によるご利用は有料です。

❑ 無料と有料の区分

VAIOご購入日から1年間	無料 （カスタマー登録が必要）
VAIOご購入日から 2年目以降	有料 （1案件：2,100円）

❑ お支払方法

クレジットカードでのお支払いとなります。ご利用可能なカード会社は、VISA/MasterCard/JCB/AMERICAN EXPRESS/ダイナースです。

❑ VAIOサポートチケット（3回チケット）

3案件分のサポートをお得な料金でご利用いただける、3回チケットもご用意しています。詳しくはオペレーターにご相談ください。

3回チケット：5,250円（税込）

※チケットの有効期限は、チケットの購入日から1年間です。

※VAIOサポートチケットは電子チケットです。紙のチケットがお手元に届くわけではありません。あらかじめご了承ください。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

VAIOサポートページ「電話で問い合わせ」

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/

！ご注意

- 「使い方相談窓口」をご利用いただく前に、VAIOサポートページ「使い方相談サポートご利用規約」をお読みください。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/terms.html
- 音声ガイダンスの操作手順に従ってクレジットカード情報をご入力いただく場合があります。ただし、ご入力いただいた時点では課金されません。
  お問い合わせが有料となる場合は、課金の前にオペレーターよりご案内いたします。

お問い合わせの前にご確認ください

❑ お試しください

「VAIO 電子マニュアル」やVAIOサポートページで、VAIOの操作やトラブルの解決方法をご確認ください。

詳しくは、「VAIO内の情報を調べる」（141ページ）、「VAIOサポートページで調べる」（144ページ）をご覧ください。

❑ 付属ソフトウェアのお問い合わせについて

付属のソフトウェアに関するお問い合わせは、「ソフトウェアに関するお問い合わせ」（111ページ）をご覧ください。

それ以外のソフトウェアについては、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

❑ VAIOカスタマー登録をご確認ください

VAIOカスタマー登録がお済みのお客様に、VAIOご購入日から1年間は、使いかたの相談や技術的なお問い合わせのサポートを無料でご提供しております。また、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」のフリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。

VAIOカスタマー登録の際にご登録いただいた電話番号で、発信者番号通知にてお電話をいただくと、自動的にご登録を確認できます。

非通知設定でおかけいただく場合などは、音声ガイダンスに従って、ご登録の電話番号の入力をお願いいたします。

VAIOカスタマー登録について、詳しくは「カスタマー登録する」（54ページ）をご覧ください。

❑ 以下の内容をご用意ください（② ～ ④は該当する場合のみ）

① 本機の型名（保証書または、本機IDラベルに記載されています。）

② 本機に接続している周辺機器名（メーカー名と型名）

③ エラーメッセージが表示された場合は、表示されたエラーメッセージ

④ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン

ヒント

IDラベルについて詳しくは、「各部の説明」のIDラベル（166ページ）をご確認ください。

❑ お問い合わせやご意見、個人情報の取扱いについて

お問い合わせ内容や商品に関するご意見は、商品開発およびサービス・サポート向上の参考とさせていただく場合があります。

また、ご質問などに適切に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。

お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

電話番号：(0120) 60-3399 (フリーダイヤル)

(ロクゼロ　サンサンキュウキュウ)

※VAIOカスタマー登録がお済みではないお客様、携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、(0466) 30-3000(通話料お客様負担)

受付時間 平日：9時～ 18時　土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

- **フリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。**
- **VAIOカスタマー登録がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。**

!ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。電話番号や受付時間は変更になる場合があります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点などについては、お答えいたしかねる場合があります。

ヒント

音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク

電話番号：(0466) 38-1410 (通話料お客様負担)

(ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ)

受付時間： 平日　9時～ 20時
土曜、日曜、祝日　9時～ 17時
(年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。)

!ご注意

- VAIOの使いかたについては、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」までお問い合わせください。
- VAIOの修理については、「修理相談窓口」までお問い合わせください。詳しくは「修理を依頼されるときは」(155ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況（使い方相談窓口）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/

電話受付の混雑状況を、VAIOサポートページで公開しています。

❑ かんたんアクセス（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOサポートページのトップページ（最初の画面）を表示し、「電話で問い合わせる」のリンクをクリックする。

VAIOコールバック予約サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/callback.html

ご希望の日時に、VAIOカスタマーリンク（コールセンター）からお客様へお電話を差し上げるサービスです。日時の予約はインターネットで受け付けております。

予約受付：VAIOサポートページからご予約可能

❑ かんたんアクセス（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

① VAIOサポートページのトップページ（最初の画面）を表示し、「電話で問い合わせる」のリンクをクリックする。

② 表示された画面で「コールバック予約サービス」のリンクをクリックする。

！ご注意

- 本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要です。該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。
- VAIOご購入日から1年間、本サービスを無料でご利用いただけます。詳しくは「使いかたに関するお問い合わせ」（149ページ）をご覧ください。
- 本サービスは、VAIO本体やVAIOアクセサリーの使いかたに関するお問い合わせにご利用いただけます。

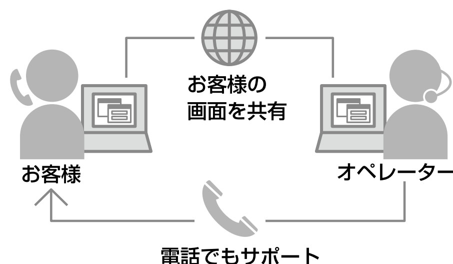
ヒント

VAIOサポートページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」（144ページ）をご覧ください。

VAIOリモートサービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/remote.html

オペレーターがインターネット経由でお客様のVAIOの画面を確認しながら、トラブルの内容を確認したり、使いかたなどをご案内するサービスです。
「電話の説明だけではわかりにくい」「自分の状況をうまく説明できない」というかたは、ぜひお試しください。



!ご注意
本サービスは、事前に「VAIOコールバック予約サービス」からのお申し込みが必要です。なお、お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合があります。

❑ かんたんアクセス(詳しい内容やサービスのご利用はこちらから)

① VAIOサポートページのトップページ(最初の画面)を表示し、「電話で問い合わせる」のリンクをクリックする。

② 表示された画面で「VAIOリモートサービス」のリンクをクリックする。

ヒント
VAIOサポートページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」(144ページ)をご覧ください。

メールで問い合わせる／FAXで取り寄せる

メールで問い合わせる

（http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/mail/）

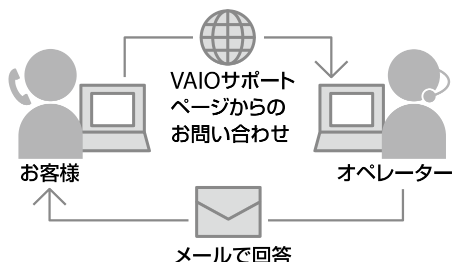
VAIOサポートページで質問を受け付け、電子メールで回答を差し上げるサービスです（VAIOの使いかたなど技術的な質問に限ります）。

本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要です。

VAIOご購入日から1年間は、無料でご利用いただけます。2年目以降のお客様には、「VAIOサポートチケット（有料）」をご購入いただくことで、本サービスをご利用いただけます。

「VAIOサポートチケット」について詳しくは、「電話で問い合わせる」の「VAIOサポートチケット」（149ページ）をご確認ください。

※なお、当面の間、VAIOご購入日から2年目以降のお客様にも本サービスを無料でご利用いただけます。無料でご利用可能な期間の終了につきましては、後日、VAIOサポートページなどでお知らせいたします。



！ご注意

- 本サービスをご利用の際、該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。
- VAIOご購入日とは、VAIO本体に付属の保証書に記載されている「お買上げ日」となります。VAIOカスタマー登録の際にご入力ください。
- サポート対象製品は、VAIO本体、VAIO本体に付属のOSおよびソニー製ソフトウェア、一部のVAIOアクセサリーです。

❑ かんたんアクセス（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOサポートページのトップページ（最初の画面）を表示し、「メールで問い合わせる」のリンクをクリックする。

ヒント

VAIOサポートページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」（144ページ）をご覧ください。

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、VAIOに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。

なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

FAX情報サービス

FAX番号：(0466)30-3040

！ご注意

一部の機種では提供されません。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

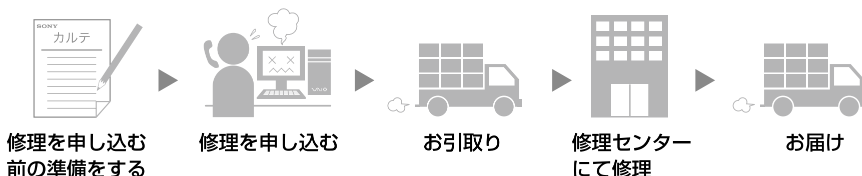
ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作で直ることがあります。修理を依頼される前に、下記のご確認をお願いします。

- 「VAIO 電子マニュアル」や「VAIOサポートページ」などで、お使いのVAIOの症状に合うものがないかご確認ください。詳しくは、「VAIO内の情報を調べる」(141ページ)、「VAIOサポートページで調べる」(144ページ)をご覧ください。
- VAIO Updateを利用して、お使いのVAIOが最新の状態かご確認ください。VAIOをアップデート(最新状態に)することにより、お客様のお困りの症状を解決できることがあります。VAIO Updateについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([ソフトウェアの使いかた]－[VAIO Update]をクリックする。)

ヒント

VAIOサポートページの「故障とお考えの前に」(http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/qa.html)でも、故障と間違いやすい症状や解決方法などについてご案内しています。修理を依頼する前にご確認ください。

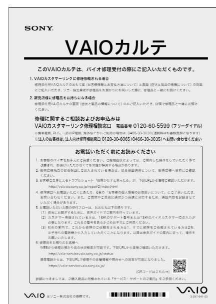
修理の流れ



修理を申し込む前の準備

❑ 保証書やVAIOカルテ、筆記用具をご用意ください

保証書とVAIOカルテは本機に付属しています。「VAIOカルテ」を紛失された場合は、VAIOサポートページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/download/karte/)またはFAX情報サービス(154ページ)より入手できます。筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。



ヒント

弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証に加入されている場合は、そちらの保証内容も確認されることをおすすめします。

❑ ご注意ください

- 修理時の代替機はご用意しておりません。
- 保証期間中でも有料になる場合があります。詳しくは保証書の「無料修理規定」をご覧ください。
- ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になります。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは「VAIOカルテ」をご覧ください。
- 修理のために交換した故障部品はお客様に返却しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- お買い求めいただいたVAIOの保証書規定は日本国内のみ有効です。

ヒント

VAIOサポートページで修理規約についてご説明しています。ご確認ください。

❑ データのバックアップをおとりください

修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりください。

弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

データのバックアップをとる方法は、「バックアップ」（101ページ）をご覧ください。

！ご注意

OSが起動しないなど、バックアップができない場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

❑ 修理料金の目安（VAIOサポートページ）

製品別、症状や故障個所別に、修理料金の目安を確認できます。修理に出される前などにお役立てください。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/price.html

❑ VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況（修理ご相談）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/

修理相談窓口の混雑状況をVAIOサポートページで公開しています。お電話の前にご確認ください。

❑ その他

不具合症状などの確認のために操作をお願いする場合があります。ご使用のVAIOをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。

修理を申し込む

「VAIOカスタマーリンク修理相談窓口」

電話番号：（0120）60-5599（フリーダイヤル）

（ロクゼロ　ゴーゴーキュウキュウ）

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は（0466）30-3030（通話料お客様負担）

受付時間：平日：9時～ 20時

土曜、日曜、祝日：9時～ 17時

※年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

!ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。
- 電話番号や受付時間は変更になる場合があります。

ヒント

- 音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。
- 通常、平日は17時まで、土曜、日曜、祝日は15時までにお電話いただければ、翌日お引取りいたします。（一部機種・地域を除く。2009年10月現在）

法人向け修理相談窓口のご案内

「VAIOビジネスクライアントサポートデスク」（法人のお客様専用）

電話番号：（0120）30-6065（フリーダイヤル）

（サンゼロ　ロクゼロロクゴー）

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は（0466）30-3035（通話料お客様負担）

受付時間：平日：10時～ 18時（土日祝日休み）

① 修理窓口に電話をかける

故障症状を確認し、修理が必要な場合、修理品のお引取り手配をいたします。

- オペレーターがお伝えする修理受付番号をお手持ちのVAIOカルテにご記入ください。
- 修理品のお引取り時間を翌日以降で以下の4つの時間帯よりお選びください。
  ① 9時～ 12時／ ② 12時～ 15時／ ③ 15時～ 18時／ ④ 18時～ 20時（④は平日のみ）

!ご注意

- 上記は2009年10月現在で選択可能な時間帯です。
- 一部機種、一部地域では、ご利用できない時間帯があります。
- ご希望の日時、引取り場所などを調整させていただく場合があります。

お引取り

① お引取りまでの準備

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ
- 保証書(保証期間中のみご用意ください。)
- 必要な付属品類

② お引取り

ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へ引き取りに伺います。

ヒント

- 修理品のお引取り、梱包材の用意や梱包作業、修理後のお届けは、ソニー指定の配送業者が無料で行います。
- 修理品本体は玄関にて手渡しできるよう配線をはずしてご用意ください。
- VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様には、VAIOサポートページおよび携帯電話向けサポートサイトで修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。
  詳細については「修理/お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」(158ページ)をご覧ください。

お届け/お支払い(有料の場合のみ)

① お届け

修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けします。

!ご注意

修理品お届け後の本機の設置、設定は、お客様にて行ってください。

② お支払い(有料のみ)

修理料金のお支払い方法を「現金払い」で希望されたかたは、お届けした際に配送業者に修理費用をお支払いください。

「修理/お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について

VAIOサポートページおよび携帯電話向けサポートサイトでは、VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様に、修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。

!ご注意

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

VAIOサポートページで確認する

修理の進み具合に応じて、「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をVAIOサポートページ「修理／お預かり品状況確認」でご案内しています。

❑ アクセス方法

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/index_2.html

❑ かんたんアクセス（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

① VAIOサポートページのトップページ（最初の画面）を表示し、「修理のご相談」のリンクをクリックする。

② 表示された画面で「お預かり後の確認」のリンクをクリックする。

ヒント

VAIOサポートページへのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」（144ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話向けサポートページ）で確認する

修理品の進捗状況（7段階）および修理完了予定日のご案内、修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付、お客様への問い合わせ連絡、見積時／修理完了時のご案内を携帯メールにお知らせするサービスなどをVAIOカスタマーリンクモバイル「修理お預かり情報」でご提供しています。

！ご注意

- 見積案内メール、修理完了案内メールを受信するには、事前にモバイルサイトでの携帯メールアドレスのご登録が必要です。
  なお、修理内容に応じて弊社が必要と判断した場合には、お電話にてご連絡させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- メール受信制限を設定している場合は、@sony.co.jp および @jp.sony.comからのメールが受信できるように設定してください。

❑ アクセス方法

① VAIOカスタマーリンク モバイルの「修理お預かり情報」にアクセスする。

- URLからアクセス
  https://vcl.e-service.vaio.sony.co.jp/
- QRコードからアクセス
  （バーコード（QRコード）読み取り対応機種のみ）



② 「ログイン」を選択し、修理受付番号と電話番号を入力する。

ヒント

ログインでは、修理受付の際にお伝えした修理受付番号（10桁）と、お伺いした「ご連絡先電話番号」を入力します。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピューターの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りに伺い、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」（155ページ）をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

その他のサービスとサポート

VAIOオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://sony.jp/vaio/myvaio/
ウェブ検索、ニュース、天気予報などに加え、毎日便利にご利用いただける機能が満載です。ぜひご活用ください。
また、ログインボタンからMy Sony IDを使ってログインすると、お客様の登録製品情報やソニーポイント残高などが表示されます。

！ご注意
2009年10月現在の情報になります。



（2009年10月現在）

❑ My VAIO Pass（無償）

VAIOカスタマー登録（54ページ）をしていただいたお客様に無料で提供する優待プログラムです。お得な優待キャンペーンや、対象サービスご利用によるソニーポイントのプレゼント（5 ～ 10%）など、さまざまな特典を受けることができます。
なお、My VAIO Passの有効期限はMy VAIOでログインするたびに1年間延長されます。

優待メニューの一例

- VAIOアクセサリーのご購入で、5%分のソニーポイントをプレゼント

❑ My VAIO Passプレミアム（有償）

ワンランク上の優待プログラム「My VAIO Passプレミアム」なら、ソニーポイントのプレゼント率がさらにアップ。
また、プレミアムメンバー限定の無料コンテンツや優待販売、プレゼントキャンペーンなども随時ご提供します。

優待メニューの一例

- VAIOアクセサリーのご購入で、10%分のソニーポイントをプレゼント

* 「ソニーポイント」とは、ソニーグループ共通のポイントプログラムです。貯めたポイントは、ソニーグループの多彩な商品やサービスの購入などにご利用いただけます。

各種有料サービスのご案内

お客様のスキルや目的、状況に合わせた各種有料サービスメニューが用意されています。
各種サービスはVAIOオーナー向けサイトMy VAIO（http://sony.jp/vaio/myvaio/）からご覧ください（一部サービスを除く）。

！ご注意

2009年10月現在の情報になります。

❑ VAIO設置設定サービス

http://sony.jp/vaio/setting/
スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。

ソニーデジホームサポートデスク
電話番号
（0570）073-111（一般及び携帯電話）
（0466）38-4569（PHS・IP電話）
受付時間
月～金：10：00 ～ 18：00
土日祝：10：00 ～ 17：00
（※但し、弊社指定のメンテナンス日を除く）

❑ セミナー・個人レッスン

http://sony.jp/vaio/lesson/

セミナー

VAIOの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。

ITエンターテインメントセミナー事務局
電話番号
（0570）075-111（一般及び携帯電話）
（0466）38-4568（PHS・IP電話）
受付時間
月〜金：10：00 〜 18：00
土日祝：10：00 〜 17：00
（※但し、弊社指定のメンテナンス日を除く）

個人レッスン

VAIOの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExcelなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。
お申し込み、講座内容や料金等詳細については、ホームページをご覧いただくか、ソニーデジホームサポートデスクまでお問い合わせください。ソニーデジホームサポートについて詳しくは、「VAIO設置設定サービス」（162ページ）をご覧ください。

❑ 部品提供サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/parts/

VAIOをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品を有料で提供いたします。

購入可能な部品例

キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプターやバッテリーなど。

ご注文方法

- ソニーサービスステーション（SS）でのご注文（SS窓口で受け取りの場合お支払いは部品代のみ。）
- ホームページより部品をご注文（対象機種のみ）
（部品代＋送料・代引き手数料1,155円（税込））

！ご注意

本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要です。該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。

❑ VAIOカスタマイズサービス

http://sony.jp/vaio/customize/

VAIO本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスです。
1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。
メモリーやハードディスクのアップグレード、キーボードの交換などのメニューをご用意しています。（対象機種のみ）

❑ アップデートディスク送付サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/updatedisc/

ネットワーク経由でのアップデートが困難なお客様に、お使いの機種に応じたアップデートディスクを有料で送付するサービスです。

！ご注意

- ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。
- 本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要です。該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。

❑ リカバリーディスク送付サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/recoverydisc/

VAIOを再セットアップするときに必要なディスクを有料で送付するサービスです。

ご提供するリカバリーディスクは、VAIOにプリインストールされている「リカバリー作成ツール」からお客様ご自身で作成することができるディスクと同等のものです。

！ご注意

本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要です。該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。

❑ 訪問修理サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/onsite/

お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお応えするサービスです。（対象は一部機種を除いたデスクトップ型VAIOのみ）

ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行います。

技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。

サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前にVAIOサポートページをご確認ください。

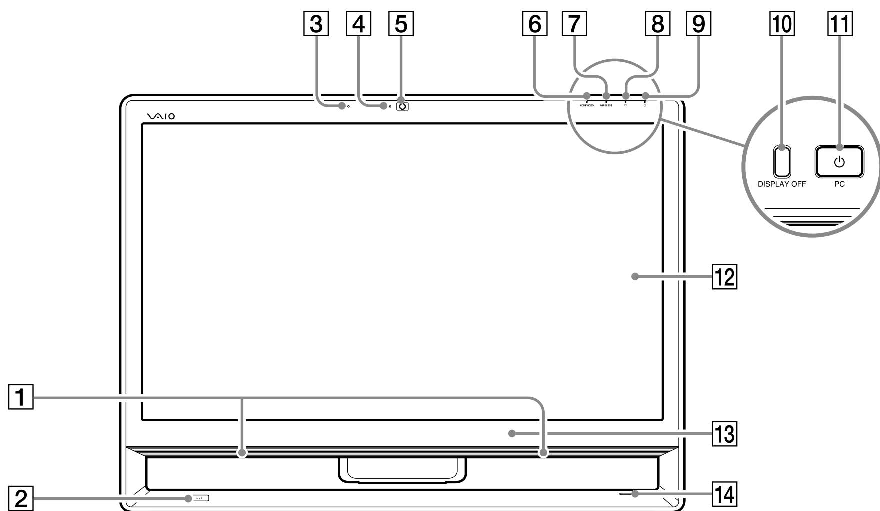
❑ 点検サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/inspection/

ご所有のVAIOをソニーでお預かりし、製品の出荷時に行う各種機能検査と同等の検査や、内部クリーニングを施してご返却する、有償のサービスです。

各部の説明

本体前面



1 内蔵スピーカー

音楽CDやDVD再生時に音が出ます。

2 FeliCaポート(FeliCa対応リーダー／ライター)

FeliCa対応のカードなどを読み取ります。

3 内蔵マイク

「Skype」などのソフトウェアを使ってテレビ電話などを楽しむときに利用します。

4 内蔵カメラ(MOTION EYE)ランプ

内蔵カメラ(MOTION EYE)起動中に点灯します。

5 内蔵カメラ(MOTION EYE)

「Skype」などのソフトウェアを使ってテレビ電話などを楽しむときに利用します。

6 HDMI ／ VIDEO(HDMI ／ビデオ)ランプ(HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル)

HDMI ／ VIDEO入力時に緑色に点灯します。

7 **WIRELESS(ワイヤレス)ランプ**
ワイヤレス機能(無線LAN機能/Bluetooth機能)が使える状態のときに、緑色に点灯します。

!ご注意

複数のワイヤレス機能が搭載されている場合は、ひとつ以上のワイヤレス機能が使える状態のときに点灯します。なお、「VAIO Smart Network」ソフトウェアでワイヤレス機能のデバイスが有効になっていない場合、WIRELESS(ワイヤレス)ランプは点灯しません。

8 **(ディスク)アクセスランプ**
CD/DVDなどのディスクやハードディスクにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

9 **(電源)ランプ(46ページ)**
本機の電源が入っている間は、緑色に点灯します。スリープモード時には、オレンジ色に点灯します。

10 **DISPLAY OFF(ディスプレイオフ)ボタン/ランプ**
ディスプレイのバックライトを消したいときに押します。DISPLAY OFFボタンを押すと、DISPLAY OFFランプがオレンジ色に点灯します。
就寝中にテレビ番組を録画するとき(地上デジタル+BS/110度CSデジタルチューナー搭載モデル)や、ビデオコンテンツをDVDに書き込むときなどに使用します。

!ご注意

- DISPLAY OFFボタンを押した状態にするとディスプレイのバックライトは消えますが、画面表示自体は消えないので、明るいところではうっすらと画面が見えます。
- HDMI/VIDEO入力時は音声も消えます。

11 **(電源)ボタン(46ページ)**
本機の電源を入れるときに押します。
本機の動作中にこのボタンを押すと、スリープモードに入ります。(お買い上げ時の設定)

12 **液晶ディスプレイまたはタッチパネル**
コンピューターの画面を表示します。タッチパネル搭載モデルでは画面をタッチすることでコンピューターを操作することができます。

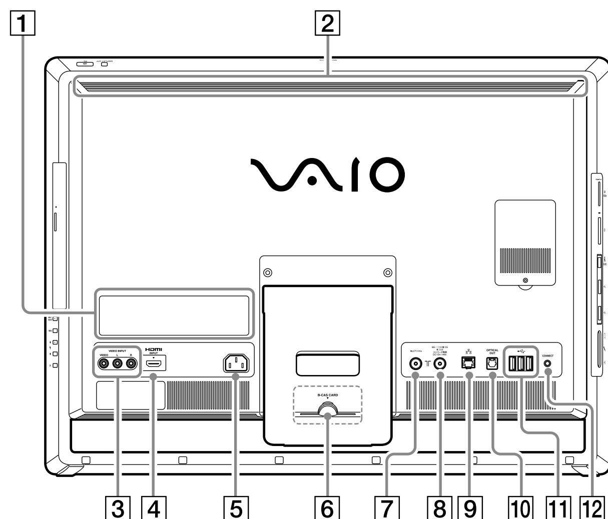
13 **リモコン受光部**(リモコン付属モデル)
リモコンの信号を受けます。

14 **IDラベル**
型名が記載されています。

液晶ディスプレイについて

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本体後面



1 **機銘板ラベル**

型名などが記載されています。

2 **排気口**

本体内部の熱が排気されます。

3 VIDEO INPUT(VIDEO**入力**)**端子**(HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル)(40ページ)

- VIDEO(**映像入力**):

  ゲーム機などの映像出力端子とつなぎます。

- L ／ R(**音声入力**):

  ゲーム機などの音声出力端子とつなぎます。

4 HDMI INPUT(HDMI**入力**)**端子**(HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル)(39ページ)

HDDレコーダーなどのHDMI機器をつなぎます。

5 AC**電源入力端子**(41ページ)

付属の電源コードをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

6 B-CAS**カード挿入口**(地上デジタル+BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル)(33ページ)

B-CASカードを挿入します。

7 ㆜ **地上デジタル(アンテナ)端子**(地上デジタル+BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル)(35ページ)

アンテナをつなぎます。本機で地上デジタル放送を見るときに使います。

8 ⫪ BS ／ 110度CS IF入力端子（地上デジタル＋BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル）（36ページ）
BS ／ 110度CSデジタル放送のアンテナをつなぎます。

9 (LAN)端子（32ページ）
ネットワーク（LAN）とつなぎます。

!ご注意
LAN端子には指定以外のLANケーブルや電話回線を接続しないでください。

10 OPTICAL OUT（光デジタル出力）端子
AVアンプなどのデジタル機器につなぎます。
本機で再生する音楽CDなどの音声を、つないだデジタル機器に出力するときに使います。

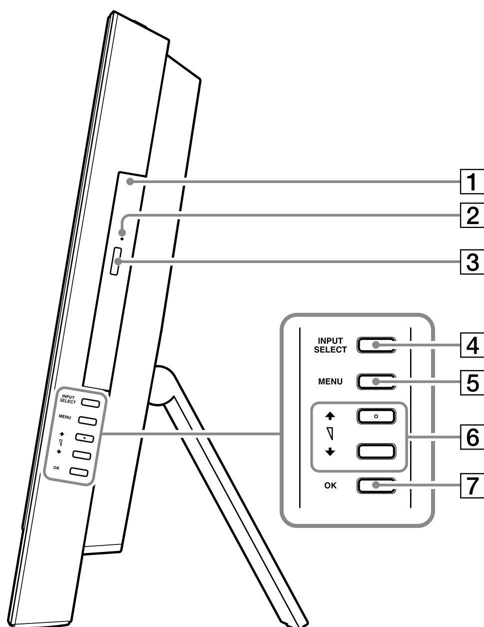
11 (USB)端子
USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント
本機のUSB端子は、USB2.0規格（High-speed/Full-speed/Low-speed）に対応しています。
USB2.0規格は、USB（Universal Serial Bus）の新しい規格で、USB1.1規格（Full-speed/Low-speed）より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応している端子には、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

12 CONNECT（コネクト）ボタン
付属のワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスを本体に認識させるために使用します。

!ご注意
使用中に、本体後面の上部排気口の温度が上がることがあります。これらの部分に触れるときは、充分ご注意ください。

本体右側面



1 **ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)、BD-ROMドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)またはDVDスーパーマルチドライブ**
Blu-ray DiscやCD、DVDのデータを読み込んだり、書き込んだりします(187ページ)。
以降、ドライブと略します。
ディスクの入れかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([コンピューター本体の使いかた]－[CD ／ DVD ／ BD]－[ディスクを入れる／取り出す]をクリックする。)

2 **マニュアルイジェクト穴**
ドライブに挿入されたディスクを強制的に排出させるときに使用します。針金のようなもの(太めのクリップで代用可)を穴に押し込んでください。

3 **イジェクトボタン**
ドライブからディスクを取り出すときに押します。

4 **INPUT SELECT(インプットセレクト)ボタン**(HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル)
コンピューター本体表示とHDMI ／ VIDEO入力を切り換えます。



HDMI ／ VIDEO入力時はINPUT SELECTボタンとHDMI ／ VIDEOランプが点灯します。

本機をセットアップする
ソフトウェアを使ってみよう
HDMI ／ VIDEO入力機能
インターネット／メール
セキュリティー
増設／バックアップ／リカバリー
困ったときは／サービス・サポート
各部名称／注意事項

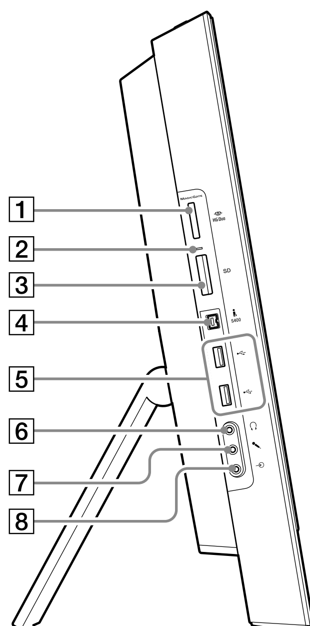
5 MENU（メニュー）ボタン（HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル）
メニュー画面が表示されます。

6 ↑/↓音量調節ボタン（HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル）
HDMI ／ VIDEO入力時に押すと、接続しているHDMI ／ VIDEO機器の音量を調節できます。
メニュー画面表示中に押すと、項目を選べます。

！ご注意
コンピューター本体の音量は調節できません。

7 OKボタン（HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル）
メニュー画面で項目を決定するときに使用します。

本体左側面



1 **“メモリースティック デュオ”スロット**
“メモリースティック デュオ”をそのまま挿入します。

2 **メモリーカードアクセスランプ**
“メモリースティック デュオ”やSDメモリーカードにアクセスしているときに点灯します。

3 **SDメモリーカードスロット**
SDメモリーカードを挿入します。

4 i S400(i.LINK)端子

i.LINK対応機器をつなぎます。

5 (USB)端子

USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント

本機のUSB端子は、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。
USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応している端子には、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

6 (ヘッドホン出力)端子

市販のヘッドホンをつなぎます。

7 (マイク入力)端子

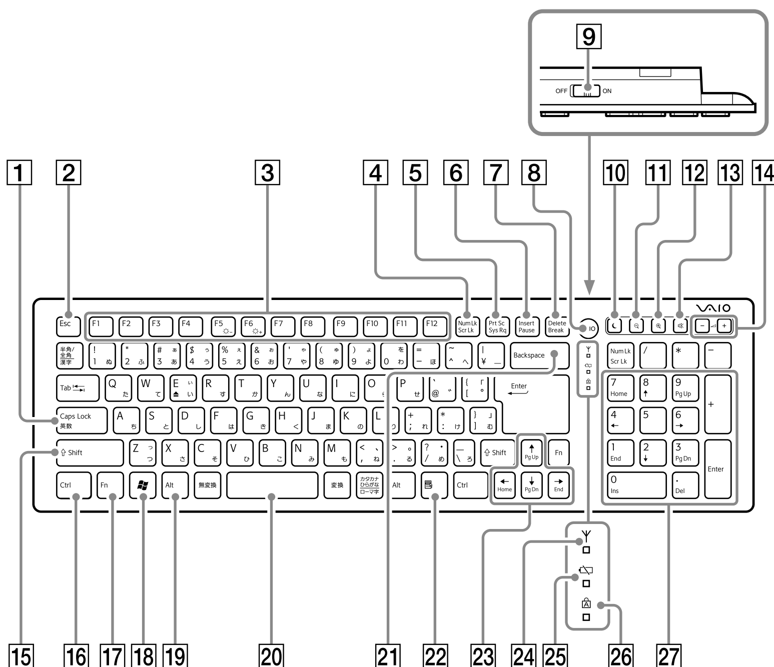
市販のステレオマイクをつなぎます。

8 (ライン入力)端子

オーディオ機器の出力端子とつなぎます。

キーボードの各部名称

表面



1 **Caps Lock(キャプスロック)キー**

Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押し、Ⓐ(キャプスロック)ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。
もう一度、Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押すと、Ⓐ(キャプスロック)ランプが消灯し、アルファベットの小文字入力に戻ります。

2 **Esc(エスケープ)キー**

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

3 **ファンクションキー**

使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

4 **Num Lk(ナムロック)キー／ Scr Lk(スクロールロック)キー**

- Num Lk(ナムロック)キーとして使用する
  テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lk(ナムロック)キーを押すと、デスクトップ画面右下の通知領域に (ナムロック)のアイコンが緑色で一時的に表示されます。もう一度Num Lk(ナムロック)キーを押すと、アイコンが灰色に変わります。
- Scr Lk(スクロールロック)キーとして使用する
  使用するソフトウェアによって働きが異なります。
  Fnキーを押しながらScr Lk(スクロールロック)キーを押すと、デスクトップ画面右下の通知領域に (スクロールロック)のアイコンが緑色で一時的に表示されます。もう一度Fnキーを押しながらScr Lk(スクロールロック)キーを押すと、アイコンが灰色に変わります。

ヒント

(ナムロック)のアイコンと(スクロールロック)のアイコンを常にデスクトップ画面右下の通知領域に表示させるには、以下のように設定します。

① デスクトップ画面右下の通知領域の をクリックして、「カスタマイズ...」をクリックする。
「タスクバーに表示するアイコンと通知の選択」画面が表示されます。
② (ナムロック)のアイコンもしくは(スクロールロック)のアイコンの動作を「アイコンと通知を表示」に変更する。

5 **Prt Sc(プリントスクリーン)キー**

表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。Altキーを押しながらこのキーを押すと、選択されているウィンドウだけを取り込みます。取り込んだ画像は「ペイント」などのソフトウェアで保存、加工、印刷できます。

6 **Insert(インサート)キー**

文字入力モードを切り換えます。文字を入力するとき、このキーを押すごとにカーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り換えることができます。
使用するソフトウェアによっては働かない場合があります。

7 **Delete(デリート)キー**

カーソルの右側の文字を消します。

8 **VAIOボタン**

このキーを押すだけで、好みのソフトウェアなどを起動します。

9 **電源スイッチ**
キーボードの電源を入／切します。長時間使用しないときは、「OFF」にすることをおすすめします。

10 **(スリープ)ボタン**
本機の電源が入っているときに押すと、スリープモードに切り換わります。

11 **(ズームアウト)ボタン**
画面に表示されている文章、画像、アイコン一覧などを縮小します。

12 **(ズームイン)ボタン**
画面に表示されている文章、画像、アイコン一覧などを拡大します。

13 **(消音)ボタン**
音を消すときに押します。

!ご注意
HDMI ／ VIDEO入力時にHDMI ／ VIDEO機器の音を消すことはできません。（HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル）

14 **(音量調節)ボタン**
音量を調節するときに押します。＋側を押すと大きくなり、－側を押すと小さくなります。

!ご注意
HDMI ／ VIDEO入力時にHDMI ／ VIDEO機器の音を消すことはできません。（HDMI ／ VIDEO入力機能搭載モデル）

15 **Shift(シフト)キー**
文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。また、文字キーと他の機能キーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

16 **Ctrl(コントロール)キー**
文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくはWindowsのヘルプまたは各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

17 **Fn(エフエヌ)キー**
キーボード上で青字で表示されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

18 **Windows(ウィンドウズ)キー**
Windowsのスタートメニューが表示されます。
他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

19 **Alt(オルト)キー**
文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。使用するソフトウェアなどによって働きが異なります。詳しくはWindowsのヘルプまたは各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

⑳ スペースキー
文字を入力しているとき、このキーを押すと、スペースを挿入できます。

㉑ Backspace(バックスペース)キー
カーソルの左側の文字を消します。

㉒ アプリケーションキー
マウスで右ボタンを押したときと同じ働きをします。

㉓ 矢印キー
画面上のカーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示するときなどに使います。Fn(エフエヌ)キーと組み合わせて使うと、Pg Up(ページアップ)キーやPg Dn(ページダウン)キーなどとして使えます。

㉔ Ψ(コネクト)ランプ
キーボード裏面のCONNECT(コネクト)ボタンを押すと、Ψ(コネクト)ランプが点滅します。点滅中に本機のCONNECT(コネクト)ボタンを押すと、キーボードを本機に認識させることができます。
コネクトが完了すると消灯します。

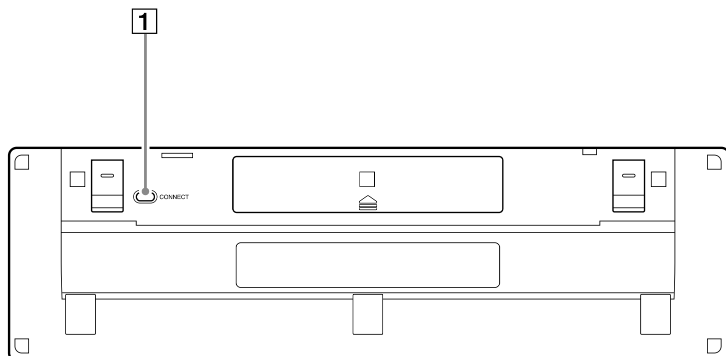
㉕ (ローバッテリー)ランプ
キーボードの乾電池の残量が充分でない場合に点滅します。
乾電池の交換方法について詳しくは、「キーボードを準備する」(41ページ)をご覧ください。

㉖ (キャプスロック)ランプ
Caps Lock(キャプスロック)が有効になっている場合に点灯します。

㉗ 数字キー
Num Lk(ナムロック)キー／ Scr Lk(スクロールロック)キーを押し、Num Lock(ナムロック)が有効になっている状態のときは、数字を入力できます。有効になっていないときは、矢印キーなど、キーの表面下側に印刷されている機能と同じ働きをします。
5キーに突起がついています。

ヒント
- FキーとJキーに突起がついています。
- キーボードは、何も操作されない状態が20分以上続くと、省電力モードになります。このとき、各種ランプはすべて消灯します。

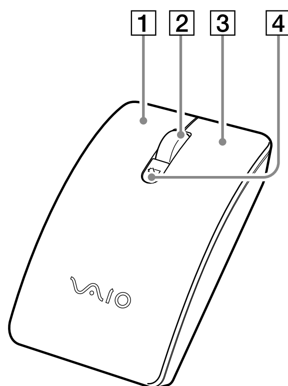
裏面



1 CONNECT(コネクト)ボタン
キーボードを本機に認識させるために使用します。

マウスの各部名称

表面



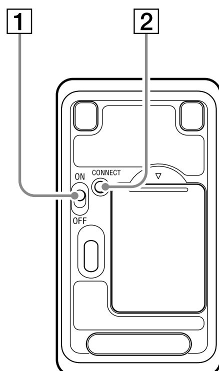
1 **左ボタン(47ページ)**
文書や画像、ソフトウェアなどを選んだりするときに押します。マウスを使うときは、主にこのボタンを使います。

2 **ホイールボタン**
ウィンドウのスクロールをするときなどに、このボタンを使うと、左ボタンを使うよりも楽に操作できます。
また、ホイールをクリックするとオートスクロール機能を使うことができます。

3 **右ボタン**
文書や画像をコピーするなど、さまざまな操作や設定をすぐに行うためのメニューを表示するときに押します。

4 **(ローバッテリー)ランプ**
マウスの乾電池の残量が充分でない場合に点滅します。
乾電池の交換方法について詳しくは、「マウスを準備する」(43ページ)をご覧ください。

裏面



1 **電源スイッチ**
マウスの電源を入/切します。

2 **CONNECT(コネクト)ボタン**
マウスを本機に認識させるために使用します。

オプティカルマウスとは

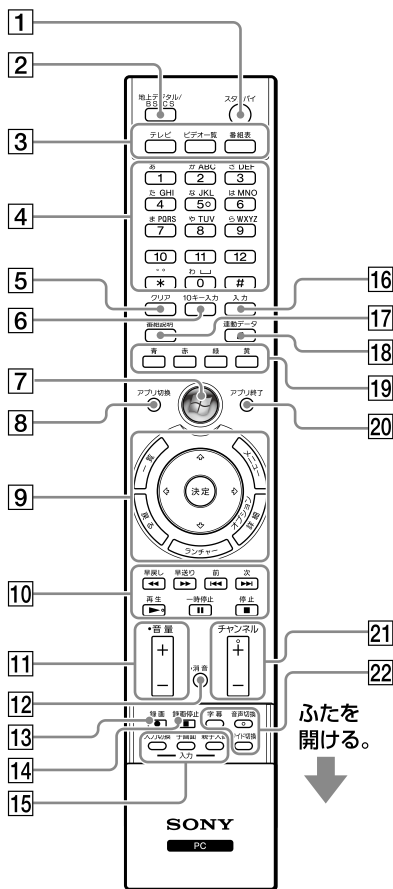
オプティカルマウスは、マウス底面からの赤い光により照らし出されている陰影をオプティカルセンサーで検知し、マウスの動きを判断しています。このため、机の上はもちろんのこと、衣類の上や紙の上でも使用することができます。
ただし、次のような表面では正しく動作しない場合があります。

- 透明な素材(ガラスなど)
- 光を反射する素材(光沢のあるビニールや鏡など)
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの(雑誌や新聞の写真など)
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光沢があるマウスパッドや机など

!ご注意

- マウスポインターが正常に動かないときは、上記の条件に該当しない表面(机、紙、マウスパッドなど)でマウスを操作してみてください(上記の条件に該当する一部のマウスパッドでは、マウスが正常に動作しない場合があります)。
- オプティカルマウスのセンサー部分を汚したり、傷つけたりしないでください。

リモコンの各部名称（リモコン付属モデル）



1 **スタンバイボタン**

本機の動作中に押すと、スリープモードになります。再び押すと、スリープモードから復帰します。

!ご注意

次の場合は、スリープモードには入れません。

- 録画中
- DVDの作成中
- 録画予約処理中（予約録画開始前など）
- リモート録画予約の通信中（リモート録画予約機能を設定している場合）

2 **地上デジタル／ BS ／ CSボタン**

地上デジタル→BSデジタル→110度CSデジタル放送の順に切り換えます。

3 **画面切り換えボタン**
「Giga Pocket Digital」ソフトウェアの、テレビ／ビデオ一覧／番組表画面を表示します。操作について詳しくは、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 **チャンネル数字／文字入力ボタン**
チャンネルを選択したり、文字を入力するときに使います。
5ボタンに突起が付いています。

ヒント
お使いのソフトウェアによっては、チャンネル数字ボタンの割り当てを変更できます。詳しくはソフトウェアのヘルプをご覧ください。

5 **クリアボタン**
文字入力時に文字を消去したい場合に使います。

6 **10キー入力ボタン**
ダイレクト選局（3桁入力）でチャンネルを切り換えることができます。

7 **Windowsボタン**
Windows Media Centerを起動します。

8 **アプリ切換ボタン**
手前に表示されているソフトウェアを他のソフトウェアに切り換えたい場合に使います。

9 **操作ボタンA**

- **一覧ボタン**
  「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを使っているときに、チャンネルやコンテンツの一覧を表示します。操作について詳しくは、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- **戻るボタン**
  「戻る」が選択状態になるか、ひとつ前の画面に戻ります。
- **ランチャーボタン**
  「VAIO Gate」ソフトウェアを表示したり非表示にしたりします。
- **オプション／詳細ボタン**
  カーソルを合わせた対象のプロパティーなどを表示します。
- **メニューボタン**
  メニューを表示したり非表示にしたりします。
- **上下左右ボタン**
  画面上の選択範囲を移動します。
- **決定ボタン**
  選択されている項目を決定します。

⑩ **操作ボタンB**

- **早戻しボタン**
  早戻しします。
- **早送りボタン**
  早送りします。
- **前ボタン**
  再生時に前のチャプターに戻ります。
- **次ボタン**
  再生時に次のチャプターに進みます。
- **再生ボタン**
  録画した番組を再生します。
  ボタンに突起が付いています。
- **一時停止ボタン**
  再生を一時停止します。
- **停止ボタン**
  再生を停止します。

⑪ **音量ボタン**
音量を調節します。

⑫ **消音ボタン**
一時的に音を消します。もう1度押すと音が出ます。

⑬ **録画ボタン**
テレビ番組の録画を開始します。

⑭ **録画停止ボタン**
録画を停止します。

⑮ **HDMI ／ VIDEO入力操作ボタン**
HDMI ／ VIDEO入力機能を使用する場合に使います。

！ご注意

HDMI ／ VIDEO入力機能非搭載モデルの場合、このボタンを押しても本機を操作することはできません。

- **入力切換ボタン**
  画面表示をコンピューター本体表示→HDMI入力→VIDEO入力の順に切り換えます。
- **子画面ボタン**
  子画面を表示します。また、子画面の表示をコンピューター本体表示→HDMI入力→VIDEO入力→子画面非表示の順に切り換えます。
- **親子入替ボタン**
  子画面の表示中に親画面と子画面の映像を入れ替えて表示します。

⑯ **入力ボタン**
Windows Media Centerでキーワード検索などを行う場合に、文字を入力したあと決定するときに使います。

17 **番組説明ボタン**
視聴中の番組の番組名や出演者などの情報を表示します。

18 **連動データボタン**
データ放送(番組に関連した情報や地域密着の情報など)を表示します。

19 **カラーボタン**
データ放送や双方向サービスなどを利用する場合に使います。

20 **アプリ終了ボタン**
手前に表示しているソフトウェアを終了します。「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを終了する場合などに使います。

21 **チャンネルボタン**
チャンネルを切り換えるときに使います。
+ボタンに突起が付いています。

22 **操作ボタンC**

- **字幕ボタン**
  デジタル放送の字幕を表示します。
- **音声切換ボタン**
  複数の音声がある番組を見ているときに音声を切り換えることができます。
  ボタンに突起が付いています。
- **ワイド切換ボタン**
  デジタル放送の画面表示を、ノーマル/フル/ズームの順で切り換えることができます。

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。
「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。
まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。本機の故障の原因となります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。

使用に適さない場所について

次のような場所で本機を使用すると故障の原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所。
- 振動する場所や不安定な場所。
- ほこり、湿気の多い場所。
- 風通しが悪い場所。
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品をさします。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です)。また、見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。
- 本機タッチパネル表面は機器の構造上、温度が上がることがありますが故障ではありません(タッチパネル搭載モデル)。
- タッチパネル表面には、強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対に割れないわけではありません。したがって、取り扱いには充分ご注意ください。割れた場合、ガラスの小片が飛び散ることがあり危険です(タッチパネル搭載モデル)。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。
そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記憶ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク（アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置）が内蔵されています。何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買上げ時に搭載されているハードディスクは取りはずさないでください。

また、万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップをとることをおすすめします。
ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。
データの損失については、一切責任を負いかねます。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 本機内蔵の無線LAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。
- 無線LANではセキュリティーの設定をすることが非常に重要です。セキュリティー対策を施さず、あるいは無線LANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。詳細については、http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.htmlをご覧ください。

- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- 2.4 GHz帯の無線LAN機能と5 GHz帯の無線LAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE 802.11gは、IEEE 802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE 802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- 緊急で無線LAN機能を停止させる必要がある場合は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた]－[LAN ／無線LAN]－[無線LANで通信する]をクリックする。）
- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためBluetooth対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- Bluetooth規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- Bluetooth一般の特性として、複数のBluetooth機器を接続した場合は、帯域の問題により、Bluetooth機器の性能が落ちる場合があります。
- Bluetooth Audio機器と接続して動画を再生すると、Bluetooth機能の性質上、音声が映像とずれて再生される場合があります。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は録画できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

デジタル放送の著作権保護とB-CASカードについて（地上デジタル＋BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル）

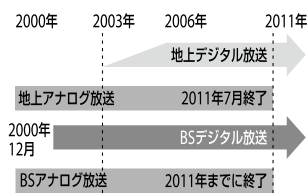
デジタル放送を視聴するときは、B-CASカードを必ず挿入してください。

- 番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用します。B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送が視聴できません。
- デジタル放送には、コピー制御信号が加えられています。放送局が定めた範囲でコピーできますが、著作権者等に無断で販売したりインターネットで公衆に送信したりすると、著作権侵害になります。

アナログ放送からデジタル放送への移行について（地上デジタル＋BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル）

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。
該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年7月*に、BSアナログ放送は2011年*までに終了することが、国の方針として決定されています。

* 2008年3月現在の情報です。



ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

お手入れ

本機／マウスのお手入れ

- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

！ご注意

ゴミや汚れを拭き取る際、強く拭くとキズがつくおそれがあります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。クリーニングクロスが同梱されている場合は同梱のクリーニングクロスを使用してください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

キーボードのお手入れ

キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

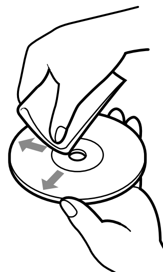
!ご注意

- 本機の電源を切ってからキーボードを掃除してください。
- お手入れをするときは必ず乾電池を抜いてください。

- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

レンズ前面のプレートのお手入れ

内蔵カメラ(MOTION EYE)のレンズ前面のプレートのほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。
汚れがひどいときは、レンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。傷がつきやすいので、強くこすらないでください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピューターを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。

データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスク内のリカバリー機能や自作のリカバリーディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。

データを消去するには以下の方法があります。

- 本機に搭載されているVAIO データ消去ツールを使って、ハードディスクのデータを完全に消去する
  詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた]－[ハードディスク]－[ハードディスクのデータを完全に消去する]をクリックする。）
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOサポートページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクを破壊する
  ハードディスク上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

使用できるディスクとご注意

使用できるディスク

◎：再生、記録可能

○：再生のみ可能、記録不可

－：再生、記録不可

ディスクの種類	DVDスーパーマルチドライブ	ブルーレイディスクドライブ (DVDスーパーマルチ機能搭載)	BD-ROMドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）
CD-ROM	○	○	○
Video CD	○	○	○
Music CD	○	○	○
CD Extra	○	○	○
CD-R ／ RW	◎ *5	◎ *5	◎ *5
DVD-ROM	○	○	○
DVD-Video	○	○	○
DVD-R ／ RW	◎	◎	◎
DVD+R ／ RW	◎	◎	◎
DVD+R DL（Double Layer）	◎	◎	◎
DVD-R DL（Dual Layer）	◎	◎	◎
DVD-RAM *1 *2	◎	◎	◎
BD-ROM	－	○	○
BD-R ／ RE *3	－	◎ *4	○

＊1 DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

＊2 DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6Gバイト）の書き込みには対応していません。DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

＊3 BD-RE Ver.1.0、カートリッジタイプのディスクはご使用できません。

＊4 BD-R Part1 Ver.1.1/1.2/1.3（1層 25Gバイト、2層 50Gバイト）、BD-RE Part1 Ver.2.1（1層 25Gバイト、2層 50Gバイト）の書き込みに対応しています。

＊5 Ultra Speed CD-RWのディスクは書き込みできません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応していません。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状のディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW ／ DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ CD-R ／ CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。

- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生・録音を前提として設計されています。
  DualDisc及び著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはCD規格に準拠していないことから、本製品ではご使用いただけない場合があります。
- CPRMに対応したDVD-RW ／ DVD-RAMを再生するには、インターネットに接続している必要があります。
- トレイを引き出した状態でトレイに荷重がかからないようご注意ください。またディスク着脱の際には、荷重がかからないよう、トレイを片手で支えながら作業をおこなってください。
- ブルーレイディスクでは著作権保護されたコンテンツを録画・編集・再生するために著作権保護技術AACSを採用しています。ブルーレイディスクを継続的にお使いいただくためには、定期的にAACSキーを更新することが必要です。
  AACSキーは録画・編集・再生ソフトウェアが表示するメッセージに従いインターネットに接続することで更新することができます。更新しない場合には、著作権保護されたコンテンツの録画・編集・再生ができなくなる可能性があります。
  なお、著作権保護されていないコンテンツの録画・編集・再生には支障はありません。本機にインストールされて提供されたブルーレイディスク録画・再生ソフトウェアは製品出荷開始後5年間はAACSキーの更新を行うことができます。それ以降の対応につきましては弊社ホームページでご案内します。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはBD-ROMドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）
- 本機では、ソフトウェアを用いてブルーレイディスクを再生（デコード）しています。このため、ディスクによっては操作、および機能に制限があったり、CPU性能などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり、コマ落ちすることがあります。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはBD-ROMドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）
- 映画などのBD-ROMコンテンツには、地域（リージョンコード）の設定が必要です。選択した地域と異なる設定のディスクは再生できません。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはBD-ROMドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R ／ CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL ／ DVD-R DL ／ DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- 本機で作成したBD-R ／ BD-REは、BD-RE Ver.1.0対応のブルーレイレコーダーでは再生できません。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。

書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピューターのCPUやハードディスクに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティーや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティーなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやマウスの操作をすると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入／切しないでください。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しないでください。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピューターやネットワークにアクセスしないでください。
- ACアダプターまたは電源コードの取り付け／取りはずしを行わないでください。

デジタル放送について（地上デジタル＋BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル）

対応している放送の種類

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送

！ご注意

- 本機は同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式に対応しています。トランスモジュレーション方式には対応していません。
- アナログ放送には対応していません。

デジタル放送の機能

本機は以下の機能に対応しています。

- EPG（電子番組表）
- 字幕放送
- データ放送
- 双方向（データ放送）サービス

！ご注意

- 字幕はブルーレイディスクにのみ書き出しできます。ただし、再生機器によっては字幕が再生できないことがあります。
- 電話回線が必要な双方向（データ放送）サービスはご利用できません。

デジタル放送を書き出せるディスク

ハードディスクドライブに録画したデジタル放送の番組は、以下のディスクに書き出せます。

- BD-R ／ BD-RE（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）
- CPRM対応のDVD-RW ／ DVD-RAM

！ご注意

- 「使用できるディスクとご注意」（187ページ）もあわせてご確認ください。
- デジタル放送の番組を直接ディスクに録画することはできません。
- CPRM対応のDVD-Rに番組を書き出すことはできません。
- デジタル放送の番組をBD-R ／ BD-REに書き出した場合、BD-RE Ver.1.0対応のブルーレイディスクレコーダーでは再生できません。
- デジタル放送の番組を書き出したディスクは、お使いの再生機器によっては再生できないことがあります。

CPRMについて

CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化・復号化する技術です。
デジタル放送の番組をDVDに書き出す場合は、パッケージに「デジタル放送対応」や「CPRM対応」などの記載があるディスクをご使用ください。

索引

* 別紙「主な仕様」をご覧ください。

【ナ行】

【ハ行】

【マ行】

【ヤ行】

【ラ行】

【ワ行】

【A】

【B】

【C】

【D】

【F】

【H】

【I】

【L】

【M】

【O】

【S】

【U】

【V】

【W】

商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- 、"Memory Stick"、"メモリースティック"、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、"メモリースティック PRO"、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG"、"メモリースティック マイクロ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。
  i.LINKとi.LINKロゴ" "はソニー株式会社の商標です。
- "ウォークマン"、"WALKMAN"およびそのロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- "AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- "PetaMap"および「ペタマップ」は、ソニースタイル・ジャパン株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、クウジット株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所が開発し、クウジット株式会社がライセンスを行っている技術です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy（エディ）」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ICOCAは、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PiTaPaは、株式会社スルッとKANSAIの登録商標です。
- TOICAは、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。
- nimocaは、西日本鉄道株式会社の登録商標です。
- Kitacaは、北海道旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- SUGOCAは、九州旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- 「iモード」、「おサイフケータイ」および「トルカ」は株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「かざしてポン！」および「かざポン」はフェリカネットワークス株式会社の商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Centrino、Centrino Inside、Intel Viiv、Intel Viiv ロゴ、Intel vPro、Intel vPro ロゴ、Celeron、Celeron Inside、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Core Inside、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、Viiv Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Inside は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporationの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Outlook、PowerPoint、Office ロゴ、Encarta、Encartaロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- NVIDIA、NVIDIAロゴ、GeForceは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの商標または登録商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号 はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- TDKはTDK株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、Lightroom、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- Equaliser for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) Sonnox Ltd.
- QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピューターに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、VAIOを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

VAIOの最新サポート情報を提供

VAIOサポートページ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/



VAIOをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。
（詳しくは144ページをご覧ください。）

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO

http://sony.jp/vaio/myvaio/



ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とVAIOの各種サービスをご覧いただけます。

VAIOの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://sony.jp/vaio/



VAIOのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

電話番号はお間違いのないようご注意ください。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

ロクゼロ サンサンキュウキュウ

（0120）60-3399

（フリーダイヤル）

※ VAIOカスタマー登録がお済みではないお客様、携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、（0466）30-3000（通話料お客様負担）

受付時間

平日：9時～18時

土曜、日曜、祝日：9時～17時

年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

- **フリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。**
- **VAIOカスタマー登録がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。**
- **お電話の前に本機の型名をご確認ください。（保証書または本機IDラベルに記載されています。本機IDラベルについては、本機の液晶ディスプレイ右下をご覧ください。）**

お電話でのお問い合わせについて、詳しくは「電話で問い合わせる」（149ページ）をご覧ください。

有料サービス

My VAIO（http://sony.jp/vaio/myvaio/）では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ セミナー・個人レッスン

VAIOの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制できめ細かく学べる各種セミナーやご自宅でじっくり学べる訪問個人レッスンをご用意しています。

■ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート（初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など）を行うサービスです。

※ このほかにも有料メニューをご用意しています。
詳しくはMy VAIO（http://sony.jp/vaio/myvaio/）をご覧ください。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」
電話番号（0120）60-3399

※フリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。
※VAIOカスタマー登録がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、
「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。
※お電話の前に本機の型名をご確認ください。

詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOサポートページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://sony.jp/vaio/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

4-177-093-**01** (1)

